

# 郡山市ふれあい科学館年報

— 平成27年度版 —



有料入館者200万人達成記念セレモニー



一般番組スペシャル「Aurora Wonder」



第6回国際科学映像祭 ドームフェスタ



皆既月食観望会



サイエンスフェスティバル(夏休み)



スペースパーク企画展「錯覚美術館」

郡山市ふれあい科学館指定管理者

公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社



# 目次

はじめに	5 調査・研究・発表
Ⅰ 施設のあらまし	(1) 天文関連協議会調査…………… 60
1 設置目的…………… 1	(2) 天文関連先進館調査…………… 60
2 運営方針…………… 2	(3) 天文関連最新情報調査…………… 60
3 施設概要…………… 3	(4) 展示協議会等調査…………… 60
4 組織概要…………… 5	(5) 展示系学術発表…………… 61
5 歴代館長…………… 6	6 その他
6 沿革…………… 6	(1) 運営協力…………… 62
Ⅱ 平成27年度事業活動実績	(2) ボランティア活動の推進…………… 63
1 宇宙劇場運営	(3) 博物館実習プログラム…………… 70
(1) プラネタリウム番組投映…………… 14	(4) インターンシップ(就業体験)受入れ…………… 70
(2) 音楽コンサート…………… 22	Ⅲ 平成27年度広報・サービス活動
2 展示ゾーン運営	1 広報PR活動
(1) 体験型展示物の運転…………… 24	(1) 広報戦略活動…………… 71
(2) 科学の実験ショー・実験工作教室等…………… 24	(2) 広報紙及び雑誌・看板等…………… 71
(3) パソコン工房…………… 28	2 営業活動…………… 72
(4) 実験工房…………… 29	Ⅳ 平成28年度事業活動計画
(5) 団体利用向け科学教室…………… 30	1 宇宙劇場運営…………… 73
(6) Nゲージ鉄道ジオラマショー…………… 30	2 展示ゾーン運営…………… 77
(7) 学校長期休業期間中の特別事業…………… 31	3 資料の収集・展示等…………… 81
3 資料の収集・展示等	4 教育普及活動…………… 81
(1) 資料の収集保管…………… 34	5 調査・研究・発表…………… 89
(2) 資料の展示…………… 34	6 その他…………… 89
(3) 資料の解説…………… 34	Ⅴ 予算・決算
4 教育普及活動	1 平成27年度決算…………… 92
(1) 講演会…………… 35	2 平成28年度予算…………… 93
(2) 講座・体験学習・ワークショップ…………… 37	Ⅵ 施設利用状況
(3) 天体観望会…………… 42	1 月別入館者数…………… 94
(4) 企画展…………… 43	2 施設別入館者数…………… 95
(5) 学習支援…………… 48	3 宇宙劇場区分別入館者数…………… 99
(6) アウトリーチ事業(出前講座)…………… 49	4 展示ゾーン区分別入館者数…………… 100
(7) クラブ活動…………… 51	5 平成22年度から平成26年度までの入館者数の変遷…………… 102
(8) 作品募集…………… 53	6 平成27年度施設利用状況の結果分析…………… 105
(9) 社会的弱者に配慮した事業…………… 58	Ⅶ その他
(10) 出版…………… 58	1 条例・規則…………… 107
(11) 情報発信…………… 58	2 利用案内…………… 115
	3 スペースパークボランティアの会会則…………… 116

## はじめに

平成 27 年度は、当館を管理運営する「公益財団法人郡山市文化・学び振興公社」が郡山市より指定管理を受け、2年目を迎えました。今年度も、当館の設置目的である、「理科離れ、科学技術離れへの対応」、「市民の生涯学習意欲への対応」、「都心部の回遊性と集客」を目指し、創意・工夫をしながら職員が一丸となって事業を展開してまいりました。お陰様をもちまして、平成 27 年 4 月 29 日に有料ゾーン入館者数が 200 万人を達成し、3月末には 212 万人に達しました。このことは、本市はもとより、県内外の広い地域の皆様方にご来館をいただいたことは勿論のこと、本市及び県内の代表的な人気施設として定着してきたからだと考えます。また、ビッグアイや郡山駅西口広場など周辺の商業施設の魅力との相乗効果の賜物であり、中心市街地活性化の面におきましても、当館はその一翼を担っているものと思っております。

平成 27 年度の主な事業であります。一つ目は、「第 6 回国際科学映像祭ドームフェスタ」であります。9 月 23 日から 26 日まで、最新のドーム映像作品及び科学映像作品上映、海外からの科学者・天文学者の招待講演、ショートプログラムコンテストなどを行い、ご来館の皆様へ科学映像を通じた科学普及活動を行いました。

二つ目は、「ブラザーアーストーク～JAXA 油井宇宙飛行士とリアルタイムで交信～」であります。11 月 10 日 20 時から 21 時 30 分まで、地上 400km 上空の国際宇宙ステーションと、当館をはじめ全国合計 7 会場のプラネタリウムを結び、油井亀美也宇宙飛行士とリアルタイムでの交信を行い、ご来館の皆様へ科学普及活動を行いました。

三つ目は、スペースパーク企画展「錯覚美術館」であります。12 月 5 日から 1 月 11 日まで、さまざまな錯覚、錯視の作品を一堂に展示し、不思議な錯覚の世界を紹介する企画展を開催しました。子どもから大人まで大勢の方に楽しんでいただき、来場者数が 13,159 人を達成いたしました。

その他、平成 27 年度は、シルバーウィークが新設され、ゴールデンウィーク、夏休みと合わせて「サイエンスフェスティバル」を 3 回実施し、合計で 8,431 人の来場者に、科学の実験や工作を屋台感覚で体験していただきました。また、夏休みドーム映像番組として「ガラパゴス～地上で唯一の樂園～」を、冬・春のドーム映像番組として「ポラリスー氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦」を投映し、観覧者総数が 17,716 人を記録し、多くの観覧者に楽しんでいただきました。

連携事業につきましても、福島大学、日本大学工学部、新潟大学工学部と連携し、最新の科学や簡単な実験・工作を行い、多くの来場者に楽しんでいただき、科学の面白さを体験していただきました。

当館の自主運営組織スペースパークボランティアの会（S.P.V）の活動も 12 年目を迎え、多くの方に認知され、各方面での活動が増加し、会員一人一人がやりがいを感じ、より一層の活躍を目指しているところでもあります。

平成 28 年度は、開館 15 周年を迎える節目の年になります。記念式典並びに記念事業を大々的に実施するとともに、市民の皆さんは勿論、県内外の皆さんに「郡山市ふれあい科学館」の存在を改めて認知していただくことを念頭に、多種多様な事業を開催する予定であります。

結びに、このたび平成 27 年度の事業活動実績及び平成 28 年度の事業活動計画等をまとめた「郡山市ふれあい科学館年報」を発行させていただきましたので、本年報により、本科学館の事業活動に対し、ご理解を深めていただければ幸いです。

今後ともより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

郡山市ふれあい科学館  
館長 市川正道

# I 施設のあらまし

## 1 設置目的

郡山市ふれあい科学館スペースパークは、宇宙の時代といわれている 21 世紀において、人類が羽ばたこうとしている広大な宇宙やそれを支える様々な科学などに触れ、子どもから大人までの幅広い年代の皆さんに、宇宙や科学に対しての夢や希望を育むとともに、多くの皆さんがこの場に集い、様々なふれあいを通じて、市民文化が向上することを目指しており、具体的には、以下の目的で設置した施設となっています。

### (1) 理科離れ、科学技術離れへの対応

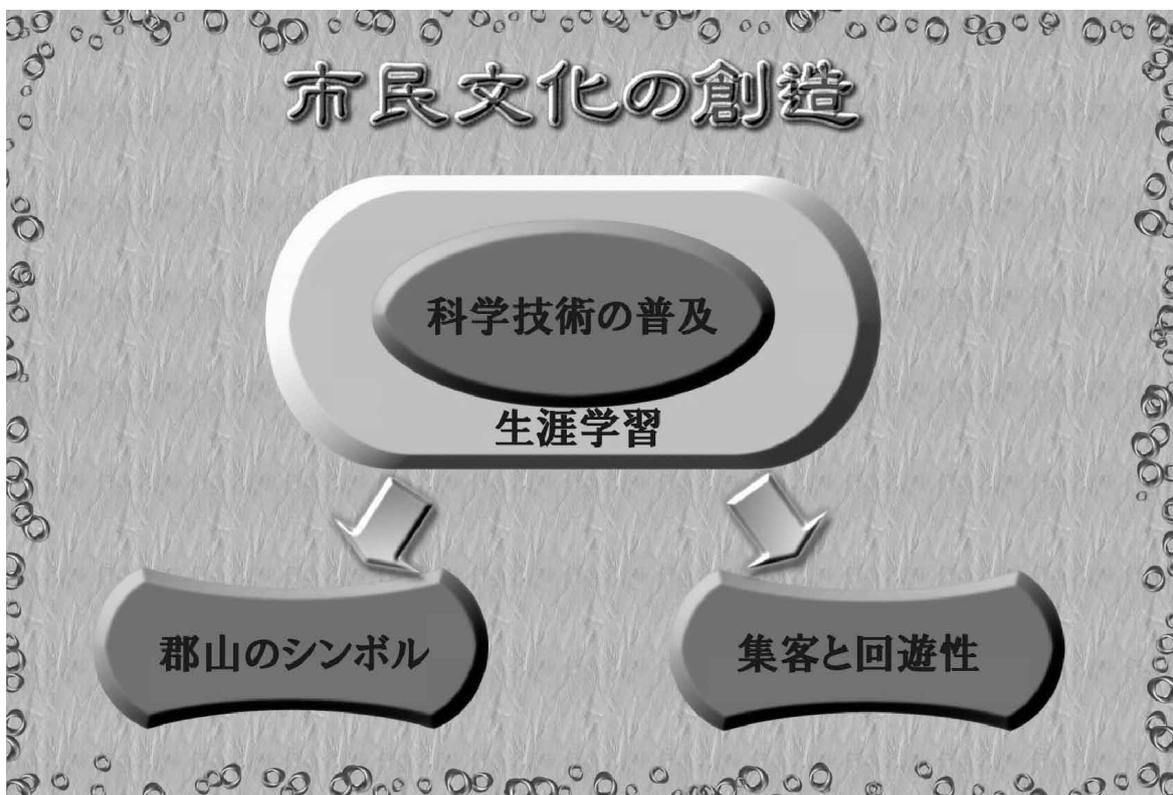
近年の子どもたちの理科離れや科学技術離れに歯止めをかける県内初の本格的な理工系科学館を建設し、楽しみながら学べるような施設とする。

### (2) 市民の生涯学習意欲への対応

科学技術の普及を通じ、多世代の市民が利用できる生涯学習施設として活用する。

### (3) 都心部の回遊性と集客

21 世紀の郡山を象徴する高層ビル“ビッグアイ”のシンボル施設として設置し、回遊性と集客力を向上することにより、市街地の活性化を図る。



## 2 運営方針

### 基本コンセプト

#### 宇宙の中のわたしたち

わたしたちの存在する宇宙とわたしたちの関わり

### 基本テーマ

#### 地球人から宇宙人へ

地球人も宇宙に存在する宇宙人の一人であることをさまざまな宇宙的体験で認識し、宇宙の視点から地球人であることを再認識

上記のコンセプトやテーマのほか、施設設置の目的等を達成し、常に成長する科学館“グローイング・ミュージアム”を実現するため、以下のポイントを重視した施設運営を図っています。

#### ポイント1 科学する心を喚起する科学館

科学に関する一通りの知識を理解させる情報発信を重視した「完結型の科学館」から、能動的・主体的な活動を促し、無関心層にもアピールできる参加者の視点を重視した「科学する心を喚起する科学館」へと成長することを目指しています。

#### ポイント2 コミュニケーション重視の科学館

体験性やインタラクティブ性を重視し、機械的に情報を発信する「展示情報重視の科学館」から、人と人とのコミュニケーションを通じた知的体験により情報を発信する「コミュニケーション重視の科学館」へと成長することを目指しています。

#### ポイント3 ボランティア参加型科学館

科学館が一方向的に運営体制や案内、安全管理等を行う「サービス型の科学館」から、経験や知識の有効活用、市民交流の活性化等の視点を取り入れた「ボランティア参加型の科学館」となることを目指しています。

また、来館者や地域と科学館が有機的に結びつき、レベルを向上することができるよう、以下の視点を重視した事業展開を行っています。



#### ◎無関心層◎

展望ロビーの一般利用者のほか、郡山駅や商業施設の利用者など、特に宇宙や科学に興味のない無関心層に対しては、遊び感覚で宇宙や科学を楽しむことができ、興味を喚起させる事業展開を図ります。

#### ◎関心層◎

子ども連れの家族や小中学校等の団体など、宇宙や科学というテーマに興味をもって来館する関心層に対しては、テーマ性のある番組や参加体験型の展示のほか、講演

会やサイエンスショー・ワークショップなどを通じて、関心の度合いを高める事業展開を図ります。

◎探求層◎

宇宙や科学に興味があり、自らその先にあるものを追求する探求層に対しては、目的に応じてデータ化された情報の提供や専門機関等からの情報支援等により、様々な知的欲求を満足できる事業展開を図ります。

### 3 施設概要



所在地：福島県郡山市駅前二丁目 11 番 1 号  
 (ビッグアイ 20～24 階)  
 構造：地下 1 階、地上 24 階、鉄骨造  
 ※ビル全体の構造 (地上高 133 m)  
 面積：4,337.37㎡ (内専用部分 3,459㎡)

郡山市ふれあい科学館  
 フロア案内

**宇宙劇場** - 23・24F -

劇場、ホワイエ

- 規模  
直径 23 m (傾斜型)、座席数 238 席
- 機器  
スーパーヘリオス、全天ビデオシステムほか
- 展示品  
アースタッチング

**展望ロビー** - 22F -

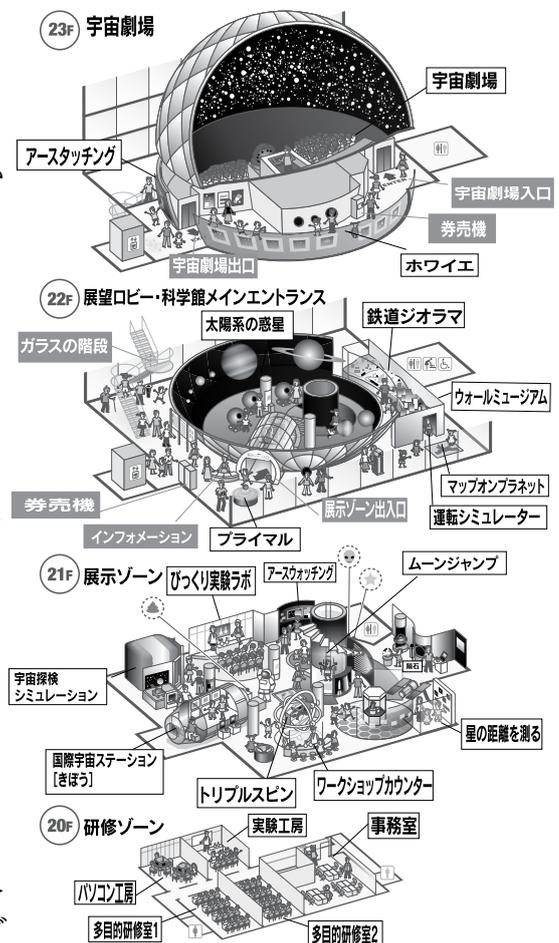
メインエントランス、カフェ・ショップほか

- 展示品  
Nゲージ鉄道ジオラマ (運転シミュレーター)、シンボルオブジェ「プライマル」、マップオンプラネットほか

**展示ゾーン** - 21F -

- 展示品  
- プロローグ -  
プロローグ「惑星」、コペルニクスの考えた宇宙、ハーシェルの考えた宇宙、ハッブル

スペースパークフロアマップ



- ルの考えた宇宙ほか
- －スペースフロンティア－
- 国際宇宙ステーション「きぼう」、宇宙探検シミュレーション、ムーンジャンプ、トリプルスピンほか
- －クエスト・オブ・ザ・ユニバース－
- すばる望遠鏡模型&主鏡、宇宙のポートレート、進化する宇宙・ふくらむ宇宙、プラズマボール、隕石、太陽系シミュレーターほか
- －アースウォッチング－
- アースウォッチングほか

## 研修ゾーン － 20F －

多目的研修室、パソコン工房、実験工房、ボランティア室、事務室ほか

### 総事業費

4,331,480,716 円

－年度別内訳－

H11： 542,395,000円

H12： 2,594,887,000円

H13： 1,194,198,716円

－内容別内訳－

建設費： 2,810,762,998円

床取得費： 1,509,000,000円

事務費： 11,717,718円

－財源別内訳－

地域総合整備事業債： 911,300,000円

基金繰入金（寄附金）： 2,810,762,998円（寄附金総額： 3,023,812,680円）

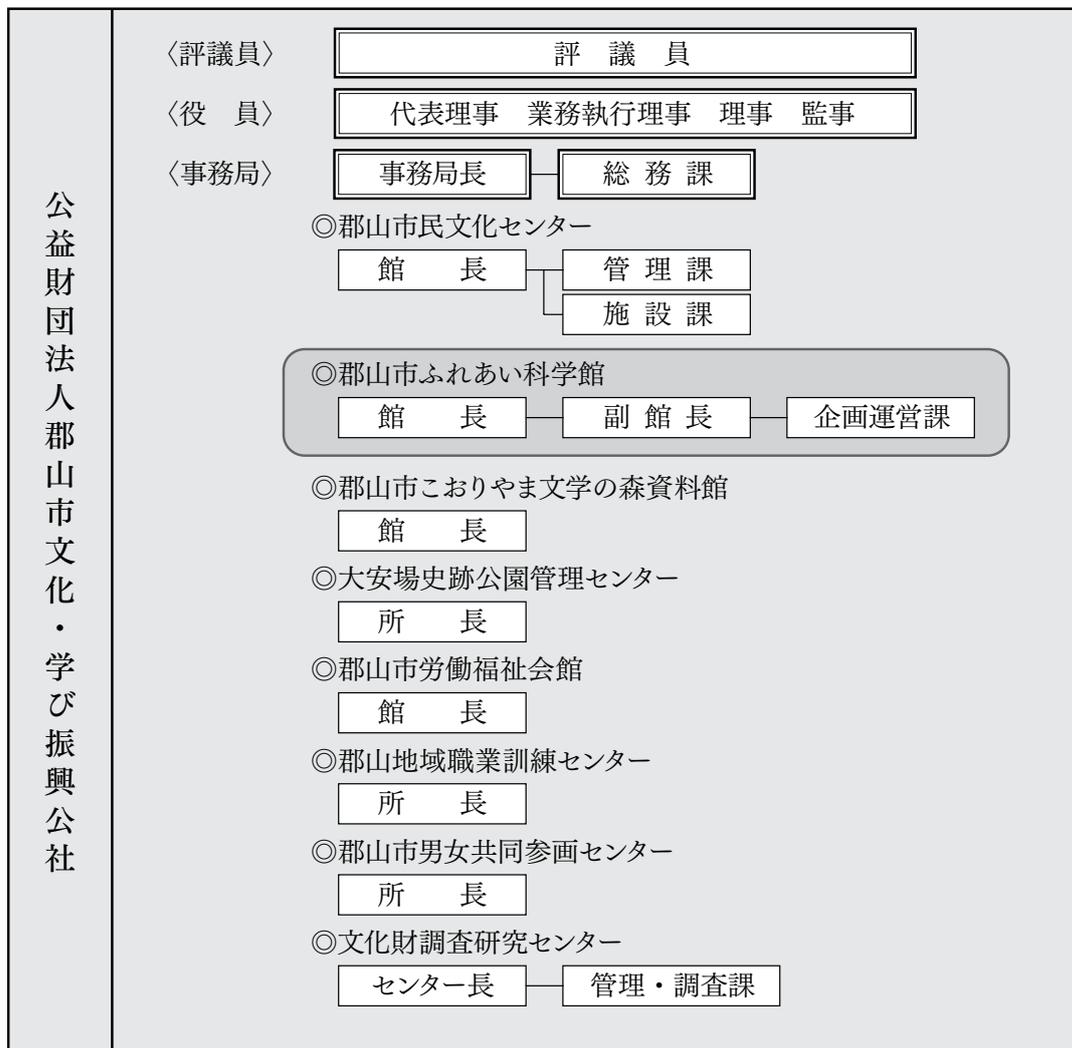
\* 寄附金残額（213,049,682円）は展示更新基金として積立

雇用保険料個人負担分： 14,583円

一般財源： 609,403,135円

## 4 組織概要

### (1) 組織図<平成 27 年度>



### (2) 職員配置〈平成 28 年 3 月 31 日現在〉

館長（1）、参事兼副館長事務取扱（1）

— 企画運営課（35） —

課長、主任（4）、主査（3）、主事（3）、常勤嘱託職員（2）、非常勤嘱託職員（1）

臨時職員（21）

合計 37 人

## 5 歴代館長

初代館長	永戸法夫	平成13年10月1日～平成14年3月31日
第2代館長	大森高志	平成14年4月1日～平成16年3月31日
第3代館長	箭内政勝	平成16年4月1日～平成19年3月31日
第4代館長	佐藤秀一	平成19年4月1日～平成22年3月31日
第5代館長	遠藤育夫	平成22年4月1日～平成25年3月31日
第6代館長	伊東利幸	平成25年4月1日～平成28年3月31日

## 6 沿革

### ▶平成10年度

#### <平成10年4月>

- 郡山駅西口再開発ビルの建設計画発表→(仮称)ふれあい科学館建設構想発表  
※郡山市教育委員会青少年課が所管

#### <平成10年10月～平成11年1月>

- 基本計画策定

### ▶平成11年度

#### <平成11年5月～11月>

- 基本実施設計策定

#### <平成12年3月>

- 財団法人郡山市文化施設管理公社への管理運営委託協定書締結

### ▶平成12年度

#### <平成12年4月>

- 郡山市教育委員会内に科学館準備室設置

#### <平成12年9月>

- 科学館キャラクター決定(制作者:漫画家 松本零士氏)

#### <平成12年12月>

- 科学館愛称決定(愛称:スペースパーク) ※応募総数:2,849点

#### <平成13年3月>

- 郡山市ふれあい科学館条例制定

### ▶平成13年度

#### <平成13年4月>

- ビッグアイに科学館準備室移転

#### <平成13年7月>

- シンボルマーク及びロゴタイプ決定

#### <平成13年8月>

- 22階展望ロビーをプレオープン

<平成 13 年 10 月>

○郡山市ふれあい科学館開館

※郡山市ふれあい科学館オープン式を開催、名誉館長を松本零士氏に委嘱

○郡山市ふれあい科学館開館記念“宇宙ヘワープ”開催（会場：郡山市民文化センター）

※日本科学未来館館長毛利衛氏、松本零士氏、国立天文台助教授広報普及室長渡部潤一氏ほか出席

<平成 13 年 11 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“第 1 回星の講演会「すばる望遠鏡が見た新たな宇宙」”開催

<平成 13 年 12 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“サイエンスショー”開催

<平成 14 年 1 月>

○ギネス認定（「地上から世界で一番高いところにあるプラネタリウム」）

<平成 14 年 2 月>

○郡山市ふれあい科学館開館記念“エネルギー体験館”開催（会場：ビッグパレットふくしま）

○有料ゾーン入館者が10万人突破

<平成 14 年 3 月>

○展望ロビー入館者が郡山市人口（336,943人）突破

○ロボット犬アイボ導入

▶平成 14 年度

<平成 14 年 6 月>

○鉄道ジオラマボランティア33人活動開始

<平成 14 年 7 月>

○開館 1 周年記念“松本零士講演会”開催

<平成 14 年 8 月>

○展望ロビー入館者が50万人突破

<平成 14 年 10 月>

○常陸宮両殿下御視察

○開館 1 周年記念事業“鉄道フェスティバル”開催

<平成 14 年 12 月>

○開館 1 周年記念“サイエンスショー”開催

<平成 15 年 3 月>

○展示ゾーン新展示物設置

H 2 ロケットフェアリング（協力：宇宙開発事業団）

船外活動装置装備宇宙服レプリカ（協力：日本宇宙少年団）

▶平成 15 年度

<平成 15 年 4 月>

○特別展“毛利宇宙飛行士の部屋～ユニバソロジーの世界～”開催

<平成 15 年 6 月>

○宇宙飛行士で日本宇宙少年団団長の毛利衛氏がこおりやま分団の激励のため来館

<平成 15 年 7 月>

○“松本零士のスペースアニメ展”開催

○“松本零士のふれあいトーク”開催

○スペースパークボランティア活動開始

<平成 16 年 2 月>

○スペースパークボランティアの会設立

<平成 16 年 3 月>

○展望ロビー入館者が100万人突破

▶平成 16 年度

<平成 16 年 5 月>

○リニア彗星、ニート彗星の接近に合わせ彗星大観望会を開催

<平成 16 年 6 月>

○有料ゾーン入館者が50万人突破

<平成 16 年 9 月>

○高円宮妃殿下御視察

<平成 16 年 10 月>

○“郡山市制施行80周年・合併40年記念 郡山市ふれあい科学館開館3周年記念 小柴昌俊講演会「心に夢のタマゴを持とう」”開催

<平成 16 年 11 月>

○展示ゾーン新展示物設置 パラボラアンテナ（協力：国立天文台野辺山電波観測所）

○天文教育普及研究会・東北支部会開催

<平成 17 年 2 月>

○県内5館連携事業“100年前の実験に挑戦!!—石井研堂とその時代—”開催（福島県立博物館、福島県立図書館、磐梯山噴火記念館、郡山市立美術館、郡山市ふれあい科学館）

○郡山市制施行80周年・合併40年記念事業・郡山市ふれあい科学館開館3周年記念事業“第10回星の講演会「神田 紅 宇宙を語る」”開催

▶平成 17 年度

<平成 17 年 9 月>

○アインシュタイン特別企画～不思議な世界 紹介～開催（9・10月）

<平成 18 年 3 月>

○展示ゾーンに「びっくり実験ラボ」オープン

オープニングイベント“杉木優子びっくりサイエンスショー”開催

▶平成 18 年度

<平成 18 年 9 月>

○郡山市ふれあい科学館開館5周年記念“全館企画「宇宙飛行士スペシャル」”開催  
(9・10月)

<平成18年10月>

○郡山市ふれあい科学館開館5周年記念事業“「飛び出せ！郡山から未来へ！～宇宙開拓の未来～」”開催

○郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「銀河鉄道の星物語 宮沢賢治が見た風景～小岩井農場から見る銀河鉄道の星座たち～」”開催

○郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「螺旋の宇宙誌」”開催

○国際宇宙ステーション (ISS) の日本上空通過に合わせ観望会を開催

<平成18年11月>

○郡山市ふれあい科学館開館5周年記念投映“「ふくしまから宇宙へ」”開催

<平成19年3月>

○“ロボットで遊ボット！特別企画「ASIMOが郡山にやってくる！」”開催

▶平成19年度

<平成19年7月>

○“夏休み特別番組「銀河鉄道999 ～星空はタイムマシーン～ 太陽系・恐竜絶滅編」”投映開始

<平成19年10月>

○「第5回郡山地域ホームページコンテスト2007」教育・公的機関部門 優秀賞受賞

<平成19年12月>

○“スペースパーク企画展「ダンボールで遊ぼう～迷路でたんけん♪～」”開催

○展望ロビー入館者が200万人突破

<平成20年1月>

○有料ゾーン入館者が100万人突破

▶平成20年度

<平成20年6月>

○“「JAXA太陽ふしぎ展」”開催

○“特別展「星出さん宇宙へ行く！～星出彰彦宇宙飛行士企画展～」”開催

<平成20年7月>

○スペースパークの新しい仲間アザラシロボットパロ命名「ミライ」

○“夏休み特別番組「ダイナソーDXパタゴニア・巨大恐竜の謎」”投映開始

<平成20年12月>

○“全館企画「月の科学」オープニングイベント「月の石がやってきた！」”開催

○“冬休み特別番組「宇宙エレベーター～科学者の夢見る未来～」”投映開始

▶平成21年度

<平成21年4月>

○世界天文年2009 世界主要企画「世界一周観望会in郡山」開催

<平成21年7月>

○“夏休み特別番組「3Dワンダフルプラネット」”放映開始

○“世界天文年2009「部分日食観望会」”開催

<平成21年11月>

○“全館企画「世界天文年2009～ガリレオの世界を体験しよう～」”開催

<平成21年12月>

○“スペースパーク企画展「ようこそ！ダーウィンの部屋へ」”開催

○“冬休み特別番組「アースストーリー～恐竜の進化とヒトの未来～」”放映開始

○“世界天文年2009 グランドフィナーレ in 郡山”開催

▶平成22年度

<平成22年7月>

○“宇宙劇場 夏休み特別番組「プレヒストリック・パーク」”放映開始

<平成22年11月>

○“全館企画「ようこそ！宇宙ステーションへ」”開催

<平成22年12月>

○“スペースパーク企画展「レゴ・エデュケーション展 ～みて・さわって・うごかして～」開催

○“宇宙劇場 冬休み特別番組「サンタVSスノーマン」”放映開始

<平成23年3月>

○「東日本大震災」により3月11日より休館

▶平成23年度

<平成23年4月>

○「東日本大震災」により4月28日まで休館、4月29日より開館

○“スペースパーク企画展「～視覚の科学～トリックアート展」”開催

<平成23年7月>

○“宇宙劇場 夏休み特別番組「Bugs! ～昆虫たちの不思議な物語～」”放映開始

○“はやぶさがやってきた～はやぶさ帰還カプセル特別展示～”開催

<平成23年8月>

○“「『宙（そら）のまにまに』の世界～作品原画展&柏原麻実先生講演会～」”開催

○有料ゾーン入館者が150万人突破

<平成23年10月>

○郡山市ふれあい科学館開館10周年記念イベント開催

・開館10周年記念セレモニー

・記念講演 渡部潤一氏「宇宙この10年とその未来」

・科学の祭典 in こおりやま

・鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」

<平成23年12月>

○“郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえもんの科学みらい展」”開催

○“宇宙劇場 冬休み特別番組「シーレックス」”放映開始

<平成24年1月>

○「宇宙劇場の改修」により1月10日より休館

<平成24年2月>

○展望ロビー入館者が300万人突破

▶平成24年度

<平成24年4月>

○“宇宙劇場リニューアルオープン記念セレモニー”を開催

<平成24年5月>

○郡山駅西口駅前広場及びペDESTリアンデッキを会場に、“金環日食観望会”を開催

<平成24年6月>

○郡山駅西口駅前広場を会場に、“金星太陽面通過観望会”を開催

<平成24年7月>

○“夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」”を7月14日から16日、7月21日から8月26日まで放映

<平成24年12月>

○“スペースパーク企画展「からくり人形の世界展」”を12月1日から1月14日まで開催

○“冬のドーム映像番組「いきものがたり」”を12月1日から2月24日までロングラン放映

<平成25年1月>

○全国のプラネタリウム22施設の関係者とプラネタリウムメーカー技術者の合わせて55人が参加して“ハイブリッドプラネタリウム研修会”を開催

<平成25年2月>

○“イブニングアワー「アラスカからオーロラ生中継！」”を夜間放映

○独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共催し、“星出宇宙飛行士ミッション報告会～こおりやまに宇宙飛行士がやってくる！～”を郡山市民文化センター中ホールで開催

▶平成25年度

<平成25年5月>

○“パークス天文台遠隔操作による電波観測実習”を開催

<平成25年7月>

○“夏休みドーム映像番組「宇宙兄弟 一点のひかり」”を7月20日から8月25日まで放映

<平成25年11月>

○“全館企画「アイソンスペシャル！」”を11月9日から12月8日まで開催

○“アイソン彗星観望会”を郡山市総合地方卸売市場駐車場で開催

<平成25年12月>

○“冬のドーム映像番組「恐竜探検隊 パンゲアのひみつ」”を12月1日から1月13日まで放映

○“スペースパーク企画展「エレメントハンター」～元素の謎を探れ！～”を12月7日から1月13日まで開催

<平成26年1月>

○“天文教育普及研究会東北支部研究会”を開催

<平成26年3月>

○“スペースパークボランティアの会設立10周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会”を開催

▶平成26年度

<平成26年7月>

○“夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」特別試写会”を開催

○“夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」”を7月19日から8月24日まで放映

<平成26年9月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ホワイエ企画展「郡山から見上げた星空」写真展”を9月2日から10月31日まで開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 第5回国際科学映像祭 優秀作品上映会”を9月27日・28日に開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星 ベテルギウス いのちの輝き」特別試写会”を開催

<平成26年10月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星 ベテルギウス いのちの輝き」”を10月4日から26日まで放映

○“皆既月食観望会”を「ミュージカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

<平成26年11月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 第26回星の講演会「ファンタジック・オーロラ in 郡山」”を開催

○JAXAによる惑星探査機「はやぶさ2」が平成26年12月に打ち上げられるのに合わせ、はやぶさ2について紹介する企画展“飛び立て！はやぶさ2”を11月26日から1月12日まで展示ゾーンエレベーターホールで開催

<平成26年12月>

○“郡山市制施行90周年・合併50年記念 スペースパーク企画展「見て聞いて、さわって感じよう！～感覚体感フィールド～」を12月6日から1月12日まで開催

▶平成27年度

<平成27年4月>

○“皆既月食観望会”を「ミュージカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催

○有料ゾーン入館者が200万人突破

<平成27年7月>

○“夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」特別試写会”を開

催

- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」”を7月18日から8月24日まで投映

<平成 27 年 9 月>

- 第5回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて、人気投票上位でクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ プレイベント」を開催
- 第6回国際科学映像祭実行委員会（事務局：国立天文台天文情報センター内）などとの共催で、国内外からの最新の科学映像の上映のほか、海外からの科学者の招待講演などを行う「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ」を9月23日から26日に開催
- 第6回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて人気投票1位となったクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ アフターイベント」を開催

<平成 27 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

<平成 27 年 11 月>

- 名古屋市科学館が主催し、ブラザー工業株式会社の協力のもと全国7カ所の科学館と共催して、国際宇宙ステーションに滞在中の油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信を行うイベント「ブラザーアーストーク ～JAXA 油井宇宙飛行士とリアルタイムで交信～」を開催

<平成 27 年 12 月>

- スペースパーク企画展「錯覚美術館」を12月5日から1月11日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を12月5日から1月11日まで投映

<平成 28 年 3 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を3月5日から31日まで投映

## Ⅱ 平成 27 年度事業活動実績

### 1 宇宙劇場運営

#### (1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組を制作するとともに各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組の投映を実施した。

#### <宇宙劇場の番組投映開始時刻> ※投映時間は約 45 分間

曜日/回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平日	10時15分	11時30分	14時	15時30分	17時(※1)	19時(※2)
土曜・日曜・祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時	
夏休み期間等 (※3)	10時30分	11時40分	13時	14時20分	15時40分	17時

※1 12/8～18のみ投映

※2 金曜日のみ投映

※3 夏休み期間、9/19～27、12/5～1/11の土曜・日曜・祝日・冬休み期間、  
3/5～31の土曜・日曜・祝日・春休み期間

#### 一般番組

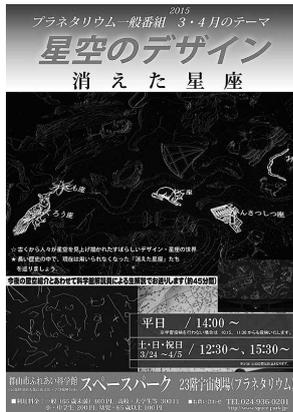
子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を制作し、基本的に2ヶ月ごとに更新して投映した。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目、夏休み期間の第3・5回目、12/5～1/11・3/5～31の土曜・日曜・祝日・冬休み期間・春休み期間の第2・5回目

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
星空のデザイン ～消えた星座～	平成27年4月1日(水)～4月30日(木)	56回	1,038人
大望遠鏡が見た宇宙	平成27年5月1日(金)～6月30日(火)	98回	2,710人
宇宙138億年の旅 ～宇宙カレンダー～	平成27年7月1日(水)～8月30日(日)	114回	4,857人
アインシュタインの宇宙 ～時空の旅～	平成27年9月1日(火)～10月31日(土)	83回	3,133人
流れ星を見る! ～彗星と流星～	平成27年11月1日(日)～12月30日(水)	103回	3,086人
ベテルギウスが消える?! ～星の一生～	平成28年1月2日(土)～2月28日(日)	96回	2,029人

第2の地球探し ～系外惑星～	平成 28 年3月1日(火) ～3月31日(木)	61 回	1,095 人
----------------	--------------------------	------	---------

観覧者総数 17,948 人



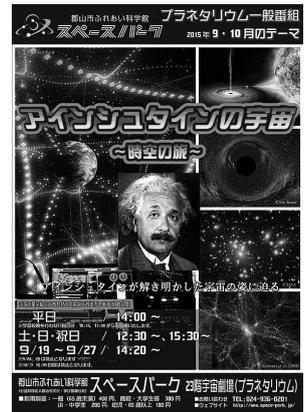
星空のデザイン  
～消えた星座～



大望遠鏡が見た宇宙



宇宙 138 億年の旅  
～宇宙カレンダー～



アインシュタインの宇宙  
～時空の旅～



流れ星を見る!  
～彗星と流星～



ベテルギウスが消える?!  
～星の一生～



第2の地球探し  
～系外惑星～

<一般番組スペシャル「Aurora Wonder」>

プラネタリウムでの臨場感あるオーロラの様子とともに、ゲストを交えてオーロラをさまざまな角度からわかりやすく紹介した。

☆開催日時 平成 27 年 11 月 23 日 (月・祝)

① 12 時 30 分～13 時 30 分、② 18 時 30 分～19 時 30 分

☆開催場所 宇宙劇場

☆講師 中垣 哲也氏 (オーロラメッセンジャー)

☆参加者数 ① 152 人 ② 66 人

観覧者総数 218 人



中垣哲也氏の解説の様子



オーロラ映像投射の様子

# キッズアワー

季節の星座紹介と星座神話・映像演出を組み合わせ、子どもと大人と一緒に楽しめるように、易しい解説を加えたプラネタリウム番組を放映した。

放映時間：土曜・日曜・祝日、春休み・ゴールデンウィーク期間の第1・3回目、  
夏休み期間の第2回目、12/5～1/11・3/5～31の土曜・日曜・祝日・  
冬休み期間・春休み期間の第3回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
おたんじょうびのせいざ	平成27年4月1日(水)～5月31日(日)	50回	1,746人
たなばたの星と天の川めぐり	平成27年6月6日(土)～8月30日(日)	64回	3,258人
お月見をしよう!	平成27年9月5日(土)～10月31日(土)	34回	1,152人
太陽系だいぼうけん	平成27年11月1日(日)～12月30日(水)	35回	1,569人
ふゆの星めぐり	平成28年1月2日(土)～1月31日(日)	21回	690人
ほしのせかいりょう	平成28年2月6日(土)～3月31日(木)	32回	1,271人

観覧者総数 9,686人



おたんじょうびのせいざ



たなばたの星と天の川めぐり



お月見をしよう!



太陽系だいぼうけん



ふゆの星めぐり



ほしのせかいりょう

## ドーム映像番組

全天周映像（ドーム映像）に星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を夏休み期間に放映した。先行試写会など、広く市民県民に番組を周知していただけるよう、番組の話題作りを行ったほか、モルティ事業部と連携し商業施設での展示や飲食店での関連グッズのプレゼント、スタンプラリーなどの企画を行った。また、冬期間にも全天周映像に星空紹介を加えたドーム映像番組の放映及びモルティ事業部とのスタンプラリーなどの企画を実施した。

冬のドーム映像番組が好評であったために、アンコール放映として3月の休日及び春休み期間にも実施した。

### <夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」>

放映期間：夏休み期間（7月18日～8月24日）の第1・3・5回目

### <冬のドーム映像番組／春のドーム映像番組「ポラリスー氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」>

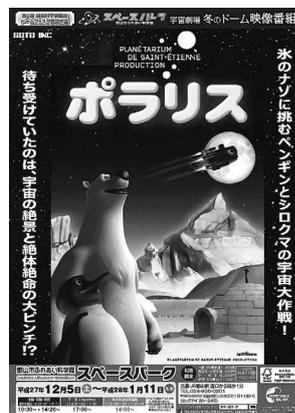
放映期間：12月5日～平成28年1月11日の土曜・日曜・祝日・冬休み期間（12月23日～27日・平成28年1月5日～7日）の第1・4回目、年末・年始（12月28日～30日・平成28年1月2日～4日）の第3回及び12月8日～平成28年1月8日の平日の第5回目、3月5日～31日の土曜・日曜・祝日・春休み期間（3月24日～31日）の第1・4回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～	平成27年7月18日(土)～8月24日(月)	114回	11,781人
ポラリス - 氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦! -	平成27年12月5日(土)～平成28年1月11日(月) 平成28年3月5日(土)～3月31日(木)	49回 29回	4,743人 1,192人

観覧者総数 17,716人



ガラパゴス  
～地上で唯一の楽園～



ポラリス - 氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦! -

## <夏休みドーム映像番組「ガラパゴス ～地上で唯一の楽園～」先行試写会>

夏休みドーム映像番組の先行試写会を行い、話題づくりと作品の見どころについて紹介した。

☆開催日時 平成27年7月12日(日) 11時30分～12時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 一般参加者208人

☆内 容 主催者あいさつ、松本零士名誉館長ビデオメッセージ、作品の見どころ紹介、番組鑑賞、1階アクアリウムテープカット



試写会の様子



アクアリウムテープカットの様子

## <冬のイベント内覧会「ポラリス」投映>

冬のイベント内覧会において、冬のドーム映像番組「ポラリス」を投映し、作品について紹介した。

☆開催日時 平成27年12月4日(金) 16時30分～17時

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 30人

☆内 容 主催者あいさつ、番組鑑賞

### イブニングアワー

一般に天文に関する興味関心の高い時季に、その話題を大人向けに紹介するなど、夜間の利用が増加すると見込まれる時季に宇宙劇場を夜間開館し、通常の宇宙劇場番組投映の幅を広げたニーズに応えるプラネタリウム番組を投映した。

番組タイトル	投映日時	投映回数	観覧者数
星空ライブ60 ～春の星空編～	平成27年5月2日(土) 18時30分～19時30分	1回	42人
星空ライブ60 ～夏の星空編～	平成27年7月11日(土) 18時30分～19時30分	1回	15人
星まつりの夜 ～ゆかた de プラネタリウム!～	平成27年8月6日(木)～8日(土) 18時30分～19時	3回	166人
星空ライブ60 ～流星群&夏休み宿題スペシャル!～	平成27年8月12日(水)・13日(木) 18時30分～19時30分	2回	92人
中秋の名月	平成27年9月26日(土) 18時30分～19時30分	1回	40人

星空ライブ 60 ～秋の星空編～	平成27年10月10日(土) 18時30分～19時30分	1回	19人
クリスマス・ナイト ～聖夜の星物語～	平成27年12月24日(木)・25日(金) 18時30分～19時30分	2回	203人
星空ライブ 60 ～冬の星空編～	平成28年1月9日(土) 18時30分～19時30分	1回	11人
天からのメッセージ ～占星術の世界～	平成28年2月13日(土)・14日(日) 18時30分～19時30分	2回	78人

観覧者総数 666人

**学習番組** ※番組の選択は申込順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択して観覧できるプラネタリウム番組を放映した。

放映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル(対象)	放映期間	放映回数	観覧者数
星座をみつけよう(小学校低学年以上)	通 年	14回	970人
日なたと日かげ(小学校中学年以上)		6回	440人
月と星の動き(小学校中学年以上)		45回	4,394人
月と太陽(小学校高学年以上)		4回	259人
地球と宇宙(中学生向け)		3回	355人
宇宙のお話(中学生以上)		4回	316人

観覧者総数 6,734人

**幼児番組**

※幼児週間に集中して放映したほか幼児週間以外には学習番組枠で希望により放映した。

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えて、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を放映した。

放映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	放映期間	放映回数	観覧者数
ほしぞらのどうぶつえん	平成27年4月～5月	2回	118人
たなばたのおほしさま	平成27年6月～7月中旬	13回	1,892人
かぐやひめのおはなし	平成27年8月下旬～9月	5回	220人
うごかないほし?	平成27年10月～11月	11回	529人
オーロラのたび	平成27年12月～平成28年3月	15回	730人

観覧者総数 3,489人

## 第6回国際科学映像祭 ドームフェスタ

第6回国際科学映像祭実行委員会（事務局：国立天文台天文情報センター内）などとの共催で、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ」を開催し、国内外からの最新の科学映像の放映のほか、海外からの科学者の招待講演などを行った。

☆開催期間 平成27年9月23日（水・祝）～26日（土）

☆主 催 第6回国際科学映像祭実行委員会・郡山市・郡山市教育委員会・  
郡山市ふれあい科学館（公益財団法人郡山市文化・学び振興公社）

☆後 援 郡山コンベンションビューロー・福島民報社・福島民友新聞社・  
朝日新聞福島総局・毎日新聞福島支局・読売新聞東京本社福島支局・  
産経新聞福島支局・NHK福島放送局・福島テレビ・福島中央テレビ・  
福島放送・テレビユー福島・ラジオ福島・ふくしまFM・  
郡山コミュニティ放送

☆内 容 国内外のドーム映像作品及び科学映像作品の放映、海外からの招待講演、  
ショートプログラムコンテスト、関連企業ブース展示

日時および内容	内容詳細	観覧者数
9月23日（水・祝） 16時～19時30分 オープニングセレモニー	開会行事、国際光年特別セッション、映像作品トレーラー6作品の放映、特別講演（Lars Lindberg Christensen氏：ヨーロッパ南天天文台）	127人
9月24日（木） 10時30分～12時50分 セッション1	ショートプログラムコンテスト ドーム映像作品4本の放映（放映作品：「FEBRUAR」、「Habitat Earth」、「Solar Superstorms」、「Star tale and Star lore in Indonesian Archipelago」）	146人
9月24日（木） 13時40分～15時50分 セッション2	ドーム映像作品4本の放映（放映作品：「アインシュタインが明かした重力の秘密」、「TRUE LOVE ～いつか見た星とともに～」、「オーロラの調べ - 神秘的の光を探る -」、「Eternal Return - いのちを継ぐもの - （モノログ追加版）」）	155人
9月24日（木） 16時40分～18時40分 セッション3	ドーム映像作品4本の放映（放映作品：「小さな世界はワンダーランド」、「アインシュタイン・エクスプレス」、「天の川をさぐる」、「The girl who walked upside down」）	136人
9月25日（金） 10時30分～12時10分 セッション4	ドーム映像作品3本の放映（放映作品：「天の川 アイランド・ヒーリング」、「恐竜の記憶」、「さくらさくら ～木の花舞う桜島と星と～」）	126人
9月25日（金） 13時10分～14時40分 セッション5	ドーム映像作品3本の放映（放映作品：「スターオーシャン」、「コズミックフロント ～ファーストスター誕生～」、「きみが住む星」）	137人
9月25日（金） 14時50分～16時40分 セッション6	特別講演（Carter Emmart氏：ニューヨーク市アメリカ自然史博物館）、ドーム映像作品4本の放映（放映作品：「名探偵コナン ～探偵たちの星月夜～」、「くまモンのほしぞらおもちゃばこ」、「ほしみるおじさん - みちかなうちゅうのおはなし -」、「Polaris」）	123人

9月25日(金) 16時55分～18時50分 セッション7	ドーム映像作品3本の投映(投映作品:「星に願いを、月に祈りを」、「楽しい星座さがし～絵本作家 H.A. レイの世界～」、「キズナノホシ(パブリッシュ版)」)	126人
9月26日(土) 10時30分～12時30分 ファイナーレセレモニー	「イエナ フルドームフェスティバル」日本人受賞のドーム映像作品・招待投映、閉会行事	174人

観覧者総数 1,250人

### <プレイベント>

第6回国際科学映像祭ドームフェスタの開催にあわせ、昨年度実施した第5回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて、人気投票上位でクオリティの高い科学映像作品の投映を行った。

番組タイトル	投映日時	投映回数	観覧者数
・富士の星暦 -日本最高峰を知る- ・重力 宇宙を支配する謎の力	平成27年9月19日(土)～23日(水・祝) 10時30分～11時15分	5回	302人
HAYABUSA 2 -RETURN TO THE UNIVERSE-	平成27年9月19日(土)～23日(水・祝) 13時～13時45分	5回	239人
ダークユニバース	平成27年9月19日(土)～22日(火・祝) 15時40分～16時25分	4回	192人

観覧者総数 733人

### <アフターイベント>

第6回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて、人気投票1位となったクオリティの高い科学映像作品の投映を行った。

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
オーロラの調べ - 神秘の光を探る -	平成27年9月26日(土)・27日(日)	4回	195人

観覧者総数 195人



開会行事の様子



国際光年特別セッションの様子



Lars Lindberg Christensen 氏の特別講演の様子



Carter Emmart 氏の特別講演の様子



閉会行事における表彰式の様子



閉会行事における代表理事挨拶の様子

### 字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に観覧できる番組を放映した。今年度は「第6回国際科学映像祭 ドームフェスタ」において放映を行った。

☆開催日程 平成27年9月23日(水)・24日(木)

☆内 容 「Losing the Dark」、 「The girl who walked upside down」

☆観覧者数 263人

### (2) 音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供した。

### 星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽(CD)を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を放映した。

放映時間：平日(祝日・学校長期休業期間等を除く。)の第4回目

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間の第5回目(夏休み期間を除く。)

毎週金曜日の第6回目

月	音 楽 テ ー マ	放映回数	観覧者数
4月	世界の音楽～ワールドツアー～	62回	1,044人
5月			
6月	スペースミュージック Part.1	29回	452人
7月	スペースミュージック Part.2	19回	494人
8月	月読の唄	36回	1,024人
9月			
10月	ジャズ・セレクション～都会の星、宇宙の都会～	59回	1,111人
11月			
12月	天使の歌声～オーロラの調べ～	56回	1,374人
1月			

2月	スプリングソング～雪どけのきざし～	58回	1,193人
3月			

観覧者総数 6,692人

### 宇宙劇場コンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催した。

#### <プラネタリウム 七夕コンサート>

- ☆開催日 平成27年7月4日(土)
- ☆開催時間 ①15時～16時、②17時～18時
- ☆演奏 野沢香苗さん、古垣未来さん
- ☆演奏回数 2回
- ☆観覧者数 424人(1回目228人、2回目196人)
- ※5月16日(土)から観覧券の前売販売を開始

#### <プラネタリウム ファミリーコンサート「ゆうぞうおにいさんのファミリーコンサート」>

- ☆開催日 平成27年12月13日(日)
- ☆開催時間 ①11時～12時、②13時30分～14時30分
- ☆演奏 今井ゆうぞうさん
- ☆演奏回数 2回
- ☆観覧者数 491人(1回目248人、2回目243人)
- ※11月7日(土)から観覧券の前売販売を開始し完売

#### <プラネタリウム スプリングコンサート「ZABADAK LIVE in spacepark IV」>

- ☆開催日 平成28年3月12日(土)
- ☆開催時間 ①14時30分～15時30分、②17時～18時
- ☆演奏者 ZABADAK(吉良知彦さん・小峰公子さん)
- ☆演奏回数 2回
- ☆観覧者数 386人(1回目220人、2回目166人)
- ※1月23日(土)から観覧券の前売販売を開始

観覧者総数 1,301人



七夕コンサートの様子



ファミリーコンサートの様子



スプリングコンサートの様子

## 2 展示ゾーン運営

### (1) 体験型展示物の運転

#### ムーンジャンプ

地球の約6分の1に相当する月面の重力環境を疑似体験できる装置の運用を行った。

- ☆開催時間 10時～17時30分（随時）
- ☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア
- ☆対象 象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 30分ごとに10人程度

#### トリプルスピン

宇宙飛行士がかつて行っていた訓練メニューの一部を疑似体験できる装置の運用を行った。

- ☆開催時間 10時～17時30分（随時）
- ☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア
- ☆対象 象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 30分ごとに7人程度

#### 宇宙探検シミュレーション

宇宙船の搭乗を疑似体験できる装置の運用を行った。

- ☆開催時間 10時～17時30分（随時）※土・日・祝日・学校長期休業期間中は  
10時20分から17時40分まで20分ごとに整理券を配布
- ☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア
- ☆対象 象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 1回8人

### (2) 科学の実験ショー・実験工作教室等

#### サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を展示ゾーン内のびっくり実験ラボにおいて実施した。2ヶ月ごとにメニューを更新して実施した。（約20分間）

- ☆開催時間 平日 10時30分～、13時～  
土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10時30分～、13時～、16時～
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 30人程度

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成27年 4月	ピタッと磁石で 大実験	46回	409人	様々な「磁石」を使った実験を行った。磁石にくっつくものとくっつかないものをクイズ形式で行った。また、磁界観察器を使って磁力線を見せる実験や、ガウス加速器を使って「鉄球」を飛ばす実験などを行った。
平成27年 5～6月	振り子のひみつ	87回	943人	振り子が使われている身近なものを紹介した。振り子の重さや長さによって振れる周期が変わるのかなどの実験を行った。
平成27年 7～8月	魔法の粉で 大実験	107回	1,369人	高吸水性ポリマーを使用して水がなくなる実験や、洗剤を混ぜた過酸化水素水に触媒としてヨウ化カリウムを加えると信じられない量の泡が発生する実験など、粉を用いた実験を行った。
平成27年 9～10月	空気ので大実験	88回	1,160人	大気圧を利用して、ボウリングの球を持ち上げる実験や高速で卓球ボールを飛ばす実験などを行った。
平成27年 11～12月	台所で科学実験	90回	1,150人	電子レンジへ蛍光灯を入れてスイッチを入れると光る実験や紫芋粉末を水に溶かした溶液を使い、台所にある色々な液体の酸性・中性・アルカリ性を調べる実験などを行った。
平成28年 1～2月	バチッ！ 静電気で実験	72回	845人	静電気が起きる仕組みを身近な物を使って紹介した。また、ビニールひもを細かく裂いたものを静電気の力で浮かべたり、バンデグラフで静電気を体感する実験などを行った。
平成28年 3月	ドレミの音で 大実験	56回	461人	ドレミパイプを叩いて、音が鳴る仕組みについて解説した。また、ドレミパイプの長さを短くすると音が高くなる実験などを行った。
平成27年5月 (ゴールデン ウィーク)、7・ 8月(夏休み)	びっくり 超低温の世界	48回	1,026人	液体窒素の中に花やボールなどを入れて凍らせる実験や、液体窒素が気体になるとどのぐらい体積が増えるかなどの実験を行った。

参加者数 7,363人



振り子のひみつの様子



空気ので大実験の様子



台所で科学実験の様子

## サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを、1ヶ月ごとにメニューを替えて開催した。(約20分間)

☆開催時間 ①11時30分～、②14時30分～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30人程度

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成27年 4月	カラフルサイエンス	50回	520人	光や絵の具を混ぜることで光と色の三原色をそれぞれ実験したほか、分光シートを使って白色光を分ける実験、光がないと色がわからなくなる実験、そして、黒のサインペンを使ったクロマトグラフィの実験を行った。また、白と黒で描かれた模様のコマの工作を行い、回転させることで白黒以外の色が見える実験も行った。
平成27年 5月	チクタクチクタク!時計の科学	46回	312人	「時計」をテーマに、人類がより正確な時を知るために生み出してきた時計の変遷を体験した。日時計、水時計、砂時計、機械式時計などを実際に使いながらそれぞれの長所・短所を体験してもらった。また、水時計の工作を行った。
平成27年 6月	みんなでE～co としよう!～リサイクルの科学～	50回	517人	6月の環境月間にちなみ、身近な物のリサイクルマークさがしや、紙パックやプラスチックなどのリサイクルのしくみの実験、さらに、プラスチックの分別実験やリモネンと発泡スチロールを使った実験を行った。また、ペットボトルを使った工作も行った。
平成27年 7月	見えない光!紫外線のひみつ	55回	746人	日焼けの気になる季節に、紫外線をテーマにした実験を行った。日焼け止めグッズで紫外線を防げるかを実験したほか、紫外線が有効利用されている例を使用済みハガキや洗剤で実験した。また、紫外線に反応して色が変わるトンボのアクセサリの工作も行った。
平成27年 8月	伸びたり縮んだり!ゴムのひみつ	55回	1,252人	本物のゴムの木からゴムの原料を取り出す実験をはじめ、弾性や絶縁性などのゴムの性質を実験した。また、ゴムの弾性を利用した工作も行った。
平成27年 9月	植物の世界	54回	443人	植物をテーマに実験・観察を行った。顕微鏡を使ったアサガオのタネの断面の観察や、食紅で染めたセロリの観察、さらにホウレンソウから葉緑素を取り出す実験を行った。また、植物の種の工作を行った。
平成27年 10月	音の秘密をさぐろう!	54回	369人	音をテーマに実験を行った。音叉を使って、音の振動を感じる実験や、糸電話とばね電話で音の伝わり方を比べる実験、さらに音の三要素を比べる実験を行った。また、音の振動でおどるヘビの工作も行った。

平成 27 年 11 月	ゆらゆらドキドキ! バランスの科学	50 回	465 人	バランスをテーマに実験を行った。天秤を左右で違う数のおもりをつるしてつり合わせるモーメントの実験や、身近なものの重心を見つける実験、やじろべえのしくみを見る実験などを行った。
平成 27 年 12 月 平成 28 年 1 月	ほのかな灯り“ろうそくの科学”	96 回	991 人	ろうそくをテーマに、燃える三要素の必要性を実験で確認した。また、ろうそくの芯が毛細管現象によって果たす役割やろうそくが燃える際のガス状のろうを取り出す実験を行った。最後に雪だるま型のろうそくの工作を行った。
平成 28 年 2 月	不思議の海の科学実験	48 回	397 人	海をテーマに実験を行った。塩水と水の浮力の違いや地球上の水循環の実験、海が青く見える理由の実験や、深海の水圧を見る実験を行った。最後は浮沈子の工作を行った。
平成 28 年 3 月	ゆれのひみつ 大地がぶるる	56 回	551 人	地震をテーマに、地震はどうして発生するのか、地震波はどう伝わるのか、また地震の被害を減らすにはどういった工夫があるのかなどを実験した。また、工作として地震のゆれと建物の高さの関係を見る道具を制作した。

参加者数 6,563 人



カラフルサイエンスの様子



チクタクチクタク!時計の科学の様子



不思議の海の科学実験の様子

## ロボットショー

### <ロボットショー>

ロボット犬「アイボ」と二足歩行ロボット「ロボベえ」によるダンスやジャンケンなどの様々なパフォーマンスショーを開催し、ロボット技術への興味関心を高めた。

☆開催日時 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間

① 12 時 30 分～、② 15 時 30 分～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆開催回数 311 回

☆参加者数 5,199 人



ロボットショー様子

### <ロボット展示>

声を掛けるとおしゃべりするロボット「ロボトーク」や、自由に触ることができるセ

ラピー用アザラシ型メンタルコミットロボット「パロ」などを展示し、ロボットとのコミュニケーションの機会を設けた。

### わくわくカウンター

科学の幅広い分野を、楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを開催した。

☆開催日 不定期（土曜・日曜・祝日及び学校長期休業期間等）に開催

☆開催場所 ワークショップカウンター

☆対象 展示ゾーン入館者

メニュー	内 容
かわつちゃ絵	回転によって、裏表2つの絵が重なって見えるペーパークラフトを製作した。
プラコップ アクセサリ	プラスチックコップに絵を描いて、オープンであたためてできるアクセサリを製作した。
ブービー笛	ストローを使ってブービーと音を出すことができる楽器を製作した。
ぶつとびロケット	スーパーボールの反発力でストローロケットを飛ばすペーパークラフトを製作した。
くるくるツリー	好みにデコレーションした回転式ツリーを製作した。
うき浮きボール	息を吹き込み、空気の流れてボールを浮かせるペーパークラフトを製作した。
ビー玉ごま	回すと模様が変わって見えるペーパークラフトを製作した。

### (3) パソコン工房

#### デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催した。(約 50 分間)

☆開催時間 土曜日 13時30分～(イベント開催日は除く。)

☆開催場所 パソコン工房

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 16人

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成 27 年 4月	名前シール作り	3回	39人	自分の顔写真を使用して、名前のシールを製作した。
平成 27 年 5月	早変わりカード作り	4回	26人	自分の顔写真やイラストが切り替わるカードを製作した。
平成 27 年 6月	パズル作り	4回	35人	自分の顔写真を使ったパズルを製作した。
平成 27 年 7・8月	ストラップ作り	3回	43人	自分の顔写真とイラストを使用してストラップを製作した。
平成 27 年 9月	シール作り	3回	37人	オリジナルのフレームに顔写真を入れて、シールを製作した。
平成 27 年 10月	下じき作り	3回	26人	顔写真とイラストを使用して、オリジナルの下じきを製作した。

平成 27 年 11 月	フォトフレーム作り	4回	29人	イラスト等を使用して、オリジナルのフォトフレームを製作した。
平成 27 年 12 月	カレンダー作り	4回	48人	KAGAYA さんの 12 星座のイラストを使用して、カレンダーを製作した。
平成 28 年 1 月	クリアファイル作り	4回	30人	顔写真とイラストを使用して、クリアファイルを製作した。
平成 28 年 2 月	3Dカード作り	4回	44人	自分の顔写真が立体的に見える3Dカードを製作した。
平成 28 年 3 月	名刺作り	3回	44人	顔写真やイラストが入った名刺を製作した。

**参加者数 401人**

#### (4) 実験工房

##### サイエンス広場

展示ゾーンへの入館者を対象に、身近な材料を使用して科学工作教室を開催した。(約40分間)

☆開催時間 日曜・祝日 13時30分～(イベント開催日は除く。)

☆開催場所 実験工房

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30人

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
平成 27 年 4 月	バネで遊ぼう	4回	35人	バネで伸びたり縮んだりするあおむしのおもちゃを製作した。
平成 27 年 5 月	揺らせて遊ぼう	4回	55人	紙粘土を使ってゆらゆら動くこいのぼりを製作した。
平成 27 年 6 月	ゴムで遊ぼう	4回	58人	ゴムの伸縮性を生かしたおもちゃを製作した。
平成 27 年 7・8 月	温度で遊ぼう	3回	53人	色水の量で、温度の変化がわかるひまわりの置き物を製作した。
平成 27 年 9 月	くっつけて遊ぼう	3回	23人	マジックテープを使い、くっつけて遊べるおもちゃを製作した。
平成 27 年 10 月	光で遊ぼう	3回	38人	カットニングミラーに模様を描き、立体的に見える万華鏡を製作した。
平成 27 年 11 月	リサイクルで遊ぼう	7回	105人	凝固剤と油を使い、クリスマスにちなんだアロマキャンドルを製作した。
平成 27 年 12 月	ちからで遊ぼう	4回	77人	磁石とたけひごを使い、磁石の力で不思議な動きをするゆきだるまを製作した。
平成 28 年 1 月	模様で遊ぼう	5回	71人	偏光板を使い、偏光板の重ね方で光により、いろいろな模様が見える飾り物を製作した。
平成 28 年 2 月	溶かして遊ぼう	5回	99人	砂糖を使って、べっこうあめを作った。また、塩化アンモニウムを使っての再結晶実験も行った。

平成 28 年 3月	走らせて遊ぼう	4回	51人	紙巻きバネを使って、前進するペンギンのおもちゃを製作した。
---------------	---------	----	-----	-------------------------------

参加者数 665人

## (5) 団体利用向け科学教室

### サイエンス教室（団体向け）

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」や楽しい科学実験を見ることが出来る「サイエンスショー」を開催した。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対象 幼稚園・小学校・中学校団体

☆参加者数 2,913人

☆内容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、コケッコココップ等40種類）、サイエンスショー（パワフル空気のパワー、超低温の世界）、ロボットショー

## (6) Nゲージ鉄道ジオラマショー

### Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介した。

#### <鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 開館日の①11時～、②15時～、  
③17時～（約20分間）

☆見学者数 7,576人



鉄道ジオラマショーの様子

#### <簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時（ショー開催時間以外）

#### <運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時

☆料金 200円（約5分間）

☆運転者数 3,389人

#### <ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

#### <たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、

鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置した。

☆開催時間 開館日の10時～17時

### <トレインガイド>

☆展示時間 随時

## (7) 学校長期休業期間中の特別事業

### サイエンスフェスティバル

県内学校の先生や生徒、科学館支援グループの先生、ふくしまサイエンスぶらっとフォーム、スペースパークボランティアの会などの皆様に協力をいただき、展示ゾーンの入館者を対象に、科学の面白実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催した。

☆開催日時

ゴールデンウィーク：平成27年5月2日（土）～6日（水・祝）10時～17時

夏休み期間パートI：平成27年7月18日（土）～20日（月・祝）10時～17時

夏休み期間パートII：平成27年8月12日（水）～16日（日）10時～17時

シルバーウィーク：平成27年9月19日（土）～23日（水・祝）10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 ゴールデンウィーク：2,330人

夏休み：4,556人（パートI 1,394人、パートII 3,162人）

シルバーウィーク：1,545人

☆参加団体 福島県立福島高等学校、福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、福島県立郡山北工業高等学校、福島県立郡山高等学校、福島県立郡山萌世高等学校、日本大学東北高等学校、帝京安積高等学校、郡山女子大学附属高等学校、郡山市立郡山第三中学校、郡山市立永盛小学校、福島大学、ふくしまサイエンスぶらっとフォーム個人会員、ムシテックワールド、新福島芸能倶楽部、折紙造形・四季折々、木のおもちゃ工房「あおむし」、スペースパークボランティアの会

☆内容 <ゴールデンウィーク>

通り抜けるビン偏光板のふしぎ、ダイラタンシー、目の錯覚を楽しもう♪、コトコト鳥、空気と生ゴム袋とビニール袋の関係、電気で作ろうホットケーキ、ウッドペッカーオンザマグネット、こいのぼり、バランストンボなど

<夏休み>

テーパード万華鏡を作ろう、スーパーボール作り、まじっくうおーたー、パッチンクール、CDゴマのひみつ、火山に溶岩を流してみよう、紫外線で色が変わるビーズを使ってストラップを作ろう、プラ板キーホルダー、海の生き物、サイエンスフラワー、持てる！水浮かぶ！シャボン玉

ハンドパワーで回る！プロペラ、プラコップアクセサリなど  
＜シルバーウィーク＞

カラフルいくらを作ろう、はずむシャボン玉をつくろう！、不思議な木のおもちゃ、不思議な写真を撮ってみよう、水中シャボン玉、「だまされるな!!」～五感の不思議～、イリュージョンカード、ぶっとびロケット、がりがりトンボなど



日本大学東北高校の様子



新福島芸能倶楽部の様子



スペースパークボランティアの会の様子

### 夏休み科学工作コーナー

科学を楽しむことができる工作コーナーを実施した。

☆開催日時 平成27年7月21日(火)～8月11日(火)、8月17日(月)～24日(月)  
10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 かわっちゃ絵、たまらんコップなど13種類の工作メニューを数日ごとに替えて行った。

### 理科大好き！自由研究講座

理科作品展などの自由研究の審査に長年取り組んでいる小学校の先生が、自由研究の進め方やまとめ方などのポイントを実演や実験をしながら実施した。

☆開催日時 平成27年7月25日(土)

① 10時30分～12時 小学校低学年向け

② 14時～15時30分 小学校中・高学年向け

☆開催場所 多目的研修室

☆講師 低学年：山口 弘先生(小泉小学校)・横田 俊徳先生(穂積小学校)  
中・高学年：菅家 倫子先生(富田東小学校)・小野 一豊先生(東芳小学校)

☆参加者数 72人



低学年向けの様子



中・高学年向けの様子

### 3 資料の収集・展示等

#### (1) 資料の収集保管

展示ゾーンにて、常設展示されている資料について、維持・管理を行った。

#### (2) 資料の展示

展示ゾーンにて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
クエスト オブ ザ ユニバース	石質隕石	産地：モロッコ (サハラ砂漠)
	石鉄隕石	産地：チリ (アタカマ砂漠)
	鉄隕石	産地：アルゼンチン チャコ
	パラボラアンテナ	寄贈：国立天文台野辺山宇宙電波観測所
スペースフロンティア	宇宙服 (レプリカ)	
	さわれる宇宙服 (レプリカ)	所有：日本宇宙少年団
	H- II A ロケット フェアリング	所有：JAXA

#### (3) 資料の解説

##### 展示解説

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応した。

##### 展示解説シート

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作し、配布した。

##### たんけんシート

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置した。

☆開催日 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

## 4 教育普及活動

### (1) 講演会

#### 星の講演会

天文現象や宇宙開発など様々なテーマについて、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招いて開催した。

#### 第 28 回星の講演会

##### <アインシュタインの宇宙～相対性理論で知る不思議な世界～>

☆講 師 高橋 真聡 氏（愛知教育大学教授）

☆開催日時 平成 27 年 10 月 3 日（土）16 時～17 時 15 分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 90 人

☆内 容 アインシュタインが一般相対性理論を発表してちょうど 100 年を迎えたことに合わせて、相対性理論に詳しい高橋氏をお招きして、相対性理論がどのようなものかご紹介いただいた。



開催中の様子



講師の高橋氏への質問の様子

#### 第 29 回星の講演会

##### <第 2 の地球探し～地球外生命をもとめて～>

☆講 師 田村 元秀 氏（東京大学教授）

☆開催日時 平成 28 年 2 月 27 日（土）16 時～17 時 15 分

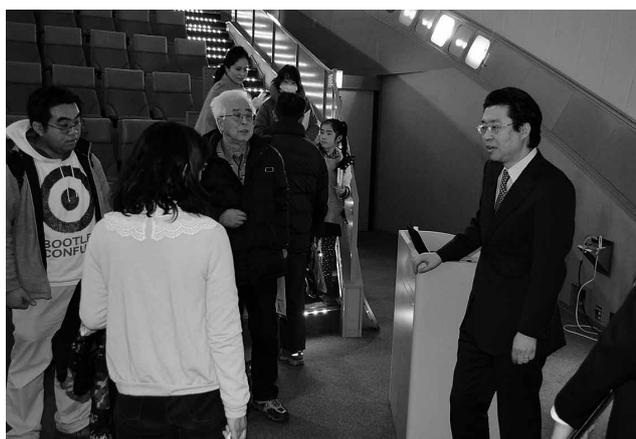
☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 151 人

☆内 容 次々に発見される太陽系外惑星について、最新の研究結果と合わせてわかりやすくご紹介いただいた。



開催中の様子



講師の田村氏への質問の様子

### ブラザーアーストーク ～ JAXA 油井宇宙飛行士とリアルタイムで交信～

名古屋市科学館が主催し、ブラザー工業株式会社の協力のもと全国7カ所の科学館と共催して、JAXA 油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信イベントに参加し、上空約400kmの国際宇宙ステーションに滞在中の油井亀美也宇宙飛行士に質問をしたほか、講座を行い、国際宇宙ステーションに関する理解を深めた。

☆開催日時 平成27年11月10日（火）20時～21時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 180人

☆主催 名古屋市科学館

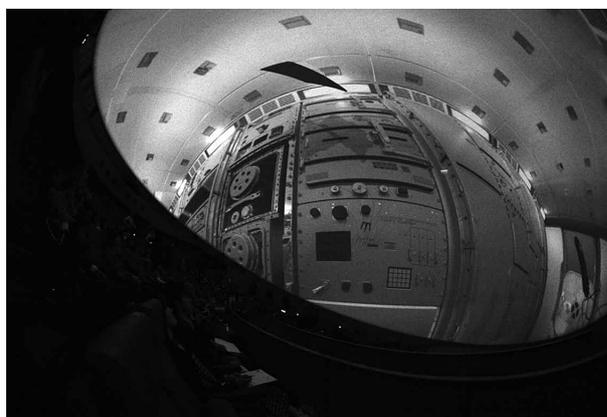
☆共催 釧路市こども遊学館、郡山市ふれあい科学館、葛飾区郷土と天文の博物館、伊丹市立こども文化科学館、明石市立天文科学館、倉敷科学センター

☆協力 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）

☆特別協賛 ブラザー工業株式会社（Web会議システム技術協力）



交信中の様子



講座中の様子

## スターレクチャー

### < Aurora Wonder >

- ☆講師 中垣 哲也 氏 (オーロラメッセンジャー)
- ☆開催日時 平成 27 年 11 月 23 日 (月・祝) 15 時～ 16 時 30 分
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆参加者数 31 人
- ☆内 容 オーロラと太陽活動、地球環境の関わりやオーロラの撮影秘話を講座形式でご紹介いただいた。



講座の様子



講座の様子

## (2) 講座・体験学習・ワークショップ

### 科学ゼミナール

県内の文化施設、県内外の大学等と連携し共同でワークショップを開催した。

### < 福島大学との連携事業 おもしろ科学びっくり箱 >

#### 第 1 回「遠く高く飛ぶ 本格的紙飛行機を作って遊ぼう！」

- ☆講師 島田 邦雄 氏 (福島大学教授)
- ☆開催日時 平成 27 年 7 月 26 日 (日) 14 時～ 15 時
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小学生～高校生  
※小学 2 年生以下は保護者同伴
- ☆参加者数 49 名 (保護者含む。)
- ☆内 容 飛行機の歴史、飛行機の形体、そして飛行機はなぜ飛ぶのかについて学んだ後、「主翼、水平尾翼、垂直尾翼」をもつ、本物の (実際の) 飛行機のような本格的な紙飛行機作りを行った。



「遠く高く飛ぶ 本格的紙飛行機  
を作って遊ぼう!」の様子

#### 第 2 回「多面体を作ろう！」

- ☆講師 中田 文憲 氏 (福島大学准教授)
- ☆開催日時 平成 27 年 10 月 18 日 (日) 14 時～ 15 時 30 分
- ☆開催場所 多目的研修室

- ☆対 象 小学3年生～中学生
- ☆参加者数 17人
- ☆内 容 多面体について、そしてその種類について学んだ後、好きな形の多面体を選んで、多面体づくりの工作を行った。



「多面体を作ろう!」の様子

### 第3回「光の世界を探ろう」

- ☆講 師 山口 克彦氏（福島大学教授）
- ☆開催日時 平成27年11月22日（日）14時～16時
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小学生～中学生  
※小学2年生以下は保護者同伴
- ☆参加者数 12人
- ☆内 容 箱の中に虹が見える分光器を製作し、光の観察を行い、光によって箱の中の虹がどのように見えるのか観察した。そして目に見える光の他にも、赤外線や紫外線など見えない光についても学んだ。



「光の世界を探ろう」の様子

### <日本大学工学部との連携事業>

#### 「車輪移動ロボットを牛乳パックで作ろう!」

- ☆講 師 遠藤 央氏（日本大学工学部助教）
- ☆開催日時 平成27年9月27日（日）14時～16時
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小学3年生～中学生
- ☆参加者数 28人
- ☆内 容 ロボットに関する講義とともに、牛乳パックをリサイクルして作る「車輪移動ロボット」を製作した。



「車輪移動ロボットを牛乳パックで作ろう!」の様子

#### 「体験してみよう、からだのふしぎ」

- ☆講 師 村山 嘉延氏（日本大学工学部准教授）
- ☆開催日時 平成28年3月12日（土）14時～16時
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小学3年生～中学生
- ☆参加者数 11人
- ☆内 容 からだのふしぎをテーマに、参加者が体験・体感できる実験を交えながら講座を行った。



「体験してみよう、からだのふしぎ」の様子

### <科学技術週間 一家に1枚 ポスター解説ミニ講座>

- ☆講師 郡山市ふれあい科学館職員
- ☆開催日時 平成27年4月19日(日) 11時～11時15分、14時～14時15分
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆参加者数 20人
- ☆内容 毎年、科学技術週間に合わせて文部科学省で制作する一家に1枚シリーズポスターについて、より理解を深めていただくため、ポスター内容の解説と関連する実験を行うミニ講座を開催した。



「一家に1枚 ポスター解説ミニ講座」の様子

### <実験しよう！火山のヒ・ミ・ツ>

- ☆講師 佐藤 公 氏(磐梯山噴火記念館副館長)
- ☆開催日時 平成28年1月17日(日) 14時～16時
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対象 小学4年生～中学生 ※保護者同伴可
- ☆参加者数 23人
- ☆内容 磐梯山噴火記念館と連携し、最近日本各地で頻発している火山噴火をテーマに、「火山」とはどのようなものなのか、実験や工作でさぐっていく講座を開催した。きな粉と小麦粉を使った火山噴火のしくみの実験や、歯医者さんで歯の型をとる際に使う「歯科印象材」で「成層火山」を作る実験も行った。



「実験しよう！火山のヒ・ミ・ツ」の様子

### <科学技術へのいざない>

新潟大学工学部と連携し新潟大学で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行った。

- ☆開催日時 平成27年10月24日(土) 11時～16時
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対象 小学生～一般
- ☆参加者数 148人
- ☆内容 「水素を電気へ 変える水素 エネルギー社会、環境中にはどんな放射線があるのだろうか(東北放射線科学センター)、 $\alpha$ 線が作る雲とは?、手作り!カラフル・スーパーボール、砂と水でできる液状化マジック、ぐるぐる巻き電線で作る不思議なイヤホン、凍っちゃうよ～低温と超伝導の不思議、分光シートを使って虹色スコープを作ろう」の実験を行った。科学館のブースでは、わくわく科学実験～回して遊ぼう～と題しブンブンごまを工作した。



開催の様子

## <郡山市希望ヶ丘図書館との連携事業 放課後の科学教室>

平日の放課後に図書館を利用する児童を対象に科学の実験や工作の体験と科学に関する本を紹介する教室を開催した。

☆開催日時 平成28年3月8日(火) 15時30分～17時

☆開催場所 郡山市希望ヶ丘図書館児童室

☆内 容 空飛ぶ植物の種の模型を作製して、様々な植物の生態について学習した。

☆対 象 小学生、幼児とその保護者

☆参加者数 27人

## コズミックカレッジ

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)と連携し小学1年生～4年生とその保護者を対象にしたキッズコースを開催した。

☆開催日時 平成27年11月8日(日) 10時30分～15時30分

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学1年生～4年生と保護者

☆講 師 赤間 祐市 氏(郡山市立永盛小学校教諭 宇宙教育リーダー)

佐野 亮二 氏(郡山市立郡山第三中学校教諭 宇宙教育リーダー)

梅本 颯史・恵川 司(郡山市ふれあい科学館職員)

☆参加者数 15組(28人)

☆内 容 コズミックカレッジの宇宙教育リーダーの認定を取得した市内の小・中学校の先生が講師となり、国際宇宙ステーションに長期滞在中の油井宇宙飛行士の話から「宇宙飛行士」をテーマに、実験や工作で学べる講座を開催し、宇宙への夢を膨らませていただいた。



講師紹介



言葉だけで図形を伝える実験の様子

## 天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を、テーマ別に3期開催した。

## <第1期:「～超!入門 星の写真～ 気軽に星・月の風景を写してみよう!」>

☆開催回数 4回(平成27年4月～7月)

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対 象 高校生以上一般

メニュー	開催日時	参加者数
星・月の風景を写すためにー基本的な撮影法ー	平成27年4月22日(水) 19時～21時	21人
マイカメラの使い方チェック	平成27年5月13日(水) 19時～21時	21人
星空にカメラを向けてみよう	平成27年6月 3日(水) 19時～21時	21人
作品発表会	平成27年7月15日(水) 19時～21時	16人

延べ参加者数 79人

<第2期：『星のソムリエ』になりませんか?>

☆開催回数 8回(平成27年5月～11月)

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対 象 高校生以上一般

メニュー	開催日時	参加者数
さあ、はじめよう	平成27年 5月27日(水) 19時～21時	32人
星座を見つけよう	平成27年 6月24日(水) 19時～21時	29人
望遠鏡のしくみ	平成27年 7月22日(水) 19時～21時	26人
望遠鏡を使ってみよう	平成27年 8月26日(水) 19時～21時	27人
宇宙はどんな世界	平成27年 9月16日(水) 19時～21時	24人
星空の文化に親しむ	平成27年10月14日(水) 19時～21時	21人
星空案内の実際	平成27年11月 4日(水) 19時～21時	22人
特別講座：講演会及び認定証授与式	平成27年11月15日(日) 15時～18時	37人

延べ参加者数 218人

<第3期：「天文学のノーベル賞」>

☆開催回数 4回(平成28年2月～3月)

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対 象 高校生以上一般

メニュー	開催日時	参加者数
宇宙の見かたを変えた天文学の発見	平成28年2月 3日(水) 19時～21時	27人
宇宙誕生を解くカギは見つかったのか?	平成28年2月17日(水) 19時～21時	25人
新天体発見の歴史と恒星進化	平成28年3月 2日(水) 19時～21時	24人
素粒子と宇宙の姿	平成28年3月16日(水) 19時～21時	24人

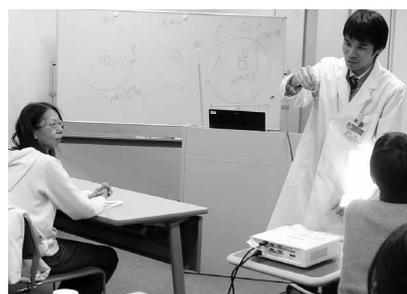
延べ参加者数 100人



天文カレッジ第1期講座の様子



天文カレッジ第2期講座の様子



天文カレッジ第3期講座の様子

## 星空案内人資格認定制度（星のソムリエ）

山形大学理学部などが提唱する「星空案内人資格認定制度」の全国運営組織に参加し、天文カレッジ・天文ボランティア研修等の一環として資格認定講座を開講し、「星空案内人」資格認定を行った。

- ☆開催期間 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆開催回数 21 回（うち天文カレッジ内 8 回）
- ☆受講者総数 336 人

### <星空案内人資格認定証授与式>

所定の認定基準を満たした受講者に対して、資格認定証の授与を行った。

- ☆開催日 平成 27 年 11 月 15 日（日）
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対象 星空案内人 9 人、星空案内人（準案内人）21 人
- ☆内容 資格認定証授与  
記念講演  
講師：荒木田 英禎氏（日本大学工学部准教授）

## 天体望遠鏡操作講習会

天体望遠鏡の操作の習熟を図り、天体観察をより幅広く行うことができるよう、操作講習を実施した。

- ☆開催日時 平成 27 年 8 月 26 日（水）18 時～21 時
- ☆開催場所 宇宙劇場
- ☆参加者数 27 人
- ☆内容 天体望遠鏡の組み立て方、観察方法などの実技に関する講習  
（天文カレッジ 第 2 期講座内で実施）

### (3) 天体観望会

#### 天体観望会

##### <皆既月食観望会>

皆既月食の観望の好機に合わせて、皆既月食観望会を開催した。

- ☆開催日時 平成 27 年 4 月 4 日（土）  
18 時 30 分～21 時 30 分
- ☆開催場所 ミューカルがくと館（郡山市音楽・文化交流館）、開成山公園自由広場
- ☆参加者数 約 50 人
- ☆内容 天体望遠鏡や双眼鏡を用いて、月が欠けていく様子を観察した。



皆既月食観望会の様子

## <部分日食観望会>

部分日食の観望の好機に合わせて、部分日食観望会を開催した。

☆開催日時 平成28年3月9日(水)10時～11時30分

☆開催場所 22階展望ロビー

☆参加者数 約20人

☆内 容 悪天候により、日食グラスやピンホールカードを用いた太陽の観察方法や日食の仕組みを紹介した。

## 駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催した。

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋

☆対 象 一般(当日自由参加)

開催日時	観望内容	参加者数
平成27年 4月25日(土)19時～20時	月・木星など	約80人
平成27年 5月30日(土)19時30分～20時30分	月・木星など	約20人
平成27年 6月27日(土)19時30分～20時30分	月・木星など	悪天候のため中止
平成27年 7月25日(土)19時30分～20時30分	月・土星など	約100人
平成27年 8月22日(土)19時～20時	月・土星など	悪天候のため中止
平成27年 9月26日(土)18時30分～19時30分	月など	約10人
平成27年10月24日(土)18時～19時	月など	約100人
平成27年11月21日(土)18時～19時	月など	約200人
平成28年 3月19日(土)19時～20時	月・木星など	約130人

参加者総数 約640人



駅前観望会の様子



駅前観望会の様子

## (4) 企画展

### ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催した。

テ ー マ	展 示 期 間
ロケットの歴史	平成27年3月1日(日)～4月30日(木)
銀河めぐり	平成27年5月1日(金)～6月28日(日)
探険 宇宙ステーション	平成27年7月1日(水)～9月30日(水)
宇宙誕生	平成27年10月1日(木)～11月29日(日)
宇宙から見た地球の絶景	平成27年12月1日(火)～平成28年3月13日(日)
第4回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展	平成28年3月19日(土)～6月30日(木)

### 学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルやコンピュータグラフィックス展の作品を、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議やコンピュータグラフィックスの楽しさに身近に触れることができる巡回展を行った。

☆開催期間 平成27年4月～平成28年3月(学校長期休業期間を除く。)

☆貸出回数 38回

### 鉄道の日 鉄道フェスティバル

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR郡山駅、JR貨物東北支社、鉄道貨物協会東北支部などの協力のもと、鉄道ジオラマや鉄道関連資料を展示したフェスティバルを開催した。

☆開催日時 平成27年10月10日(土)・11日(日)・12日(月・祝)10時～17時(12日は16時まで)

☆開催場所 展望ロビー、多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 2,290人

☆内 容 ①鉄道ジオラマショー

1日3回行っているジオラマショーを、期間中は毎日1時間ごと、計7回行った。また、11時、13時、15時、17時からの4回は、鉄道の童謡に合わせてジオラマ内の列車を走らせる「鉄道ジオラマショースペシャル」を行った。

②Nゲージ鉄道車両操作体験

人気のNゲージ鉄道模型の操作体験を行った。持ち込み車両の操作も行った。

③鉄道関連資料展示

元鉄道ボランティアや福島市の方などの協力により、記念切符や鉄道に関する貴重な資料を展示した。

④工作コーナー

ボランティアの方などの協力により、一瞬にして絵が変わるイリュージョンカード作りを行った。

⑤手回しトロッコ体験コーナー

手回しの動力で動くトロッコ「てトロ」の試乗体験を行った。

⑥鉄道フェスティバルスタンプラリー

会場内にあるスタンプを全て集めた方に電車のペーパークラフトをプレゼントした。

⑦プラレールコーナー

プラレールで自由に遊べるコーナーを設置し、子どもたちに自由に遊んでいただいた。

⑧入場記念切符

ボランティアによるはさみを使ったもぎりを行った。

⑨顔出しパネルコーナー

大きな新幹線の写真をバックに記念写真を撮ることが出来るコーナーを設置した。

⑩ミニチュアリニアモーターカーコーナー

磁石の力で動く本格的なミニチュアリニアモーターカーを展示し、走行させた。



Nゲージ鉄道車両操作体験の様子



ミニチュアリニアモーターカーコーナーの様子

### スペースパーク企画展「錯覚美術館」

さまざまな錯覚、錯視の作品を一堂に展示し、不思議な錯覚の世界を紹介する企画展を開催した。

☆開催日時 平成27年12月5日(土)～平成28年1月11日(月・祝)  
10時～17時

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 13,159人

☆内容 ①錯覚と数理の融合研究作品コーナー

近年の研究から生まれた新しい錯覚・錯視の作品を展示した。

(主な展示品)

不可能モーション・不可能立体・フットステップアート・イリュージョン  
絵画・ハイブリット画像・視覚複合型暗号

## ②錯覚・錯視作品コーナー

既存の様々な錯覚・錯視等を使用した作品を展示した。

(主な展示品)

追いかける目／まぼろしの壁／モアレアート／顔万華鏡／ほたるアート  
／レインボーロープ

## ③こども錯覚あそびコーナー

こどもでも説明等が不要で楽しめる錯覚・錯視等の作品を展示した。

(主な展示品)

魔法のテーブル／かくし絵／変身鏡／トリックドア／偏光板レインボー  
／巨大知恵の輪



開催の様子



開催の様子

## <スペースパーク企画展関連講義「杉原教授と一緒に錯覚作品をつくろう！」>

企画展に連動し、講師に世界錯覚コンテスト優勝作品「なんでも吸引四方向滑り台」を考案した明治大学の杉原厚吉特任教授を迎え、同作品の工作と関連する講義を行った。併せて企画展での特別解説も行った。

☆開催日時 平成 27 年 12 月 6 日 (日)

13 時 30 分～ 14 時 30 分

☆講 師 杉原 厚吉氏

(明治大学大学院先端数理科学研究科特任教授)

☆開催場所 展示ゾーン 20 階実験工房

☆対 象 小学生～一般

☆参加者数 27 人



開催の様子

## ロボットで遊ボット!

ロボット大会等で活躍している福島県立郡山北工業高等学校・福島県立清陵情報高等学校・福島県立白河実業高等学校との連携事業を開催した。

## <ロボット展示・操作体験>

福島県立郡山北工業高等学校や福島県立清陵情報高等学校、福島県立白河実業高等学

校で製作したロボットの展示や、ロボットの操作体験ができる催しを開催した。

☆開催日時 平成 28 年 3 月 24 日（木）～ 4 月 5 日（火） 10 時～ 17 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 3,634 人

#### <ロボット工作ワークショップ>

福島県立郡山北工業高等学校や福島県立清陵情報高等学校の先生・生徒を講師に招いて、簡単なロボット工作が楽しめるワークショップを開催した。

☆開催日時 平成 28 年 3 月 26 日（土）、 4 月 2 日（土） 14 時～ 16 時

☆開催場所 実験工房

☆対 象 小学 3 年生～中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 36 人（ 3 月 26 日： 20 人、 4 月 2 日： 16 人）

#### <スペースパーク春場所 ロボット相撲大会>

相撲ロボットを使って、ロボット競技大会を開催した。

☆開催日時 平成 28 年 3 月 26 日（土） 11 時～ 12 時、 4 月 3 日（日） 14 時～ 15 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 32 人（各日 16 人）

#### <発電の絆 ロボット競技大会>

発電ロボットを使って、ロボット競技大会を開催した。

☆開催日時 平成 28 年 3 月 27 日（日） 14 時～ 15 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 24 人



ロボット展示・操作体験の様子



ロボット工作ワークショップの様子



ロボット相撲大会の様子



発電の絆 ロボット競技大会の様子

### 科学技術の「美」パネル展

科学技術団体連合が研究者から公募した、さまざまな研究の過程や成果などで生まれた「美しい現象」や「見たことのない」画像のパネル展を開催した。

☆開催期間 平成28年1月30日(土)  
～2月28日(日)

☆開催場所 展望ロビー



開催の様子

## (5) 学習支援

### 天体望遠鏡貸出

市内地域の指導者的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行った。

☆開催期間 平成27年4月～平成28年3月

### 高校天文部支援事業

市内各高校の天文クラブ等との交流を深め、天文に関する知識や技術面の向上を目指し、クラブ活動を支援した。

☆参加校 福島県立安積高等学校、福島県立郡山商業高等学校、  
福島県立郡山萌世高等学校

開催日	開催場所	内容	参加者数
平成27年 6月27日(土)	多目的研修室・宇宙劇場	交流会の話、星空の紹介	3人
平成27年 7月14日(火)	多目的研修室・宇宙劇場	星座早見盤の使い方、ペルセウス座流星群の紹介	10人
平成27年 9月 8日(火)	多目的研修室・宇宙劇場	ペルセウス座流星群の観測報告、天文解説	4人
平成27年10月20日(火)	多目的研修室	望遠鏡の使い方	1人
平成27年11月21日(土)	郡山駅西口駅前広場	天体観望会	6人

参加者総数 24人

## 科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループが、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートした。また、理科教材の企画立案への助言を行った。

## (6) アウトリーチ事業（出前講座）

### 星の宅配便

科学館の職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催した。

	開催日時	開催場所	共催団体	参加者数	内 容
第1回	平成27年 5月 2日(土) 19時～20時30分	桃見台 地域公民館	桃見台 地域公民館	約 60人	月・金星・木星の観察、 星の見方の紹介など
第2回	平成27年 5月23日(土) 19時～20時30分	中央公民館・勤 労青少年ホーム	中央公民館	約 70人	月・金星・木星の観察、 星座早見盤の工作など
第3回	平成27年 6月20日(土) 19時30分～21時	柴宮 地域公民館	柴宮 地域公民館	約 40人	太陽系の大きさ比べ、 隕石観察など
第4回	平成27年 7月18日(土) 19時30分～21時	富田西 地域公民館	富田西 地域公民館	約 30人	冥王星の紹介、風船口 ケットの工作など
第5回	平成27年 8月29日(土) 19時30分～21時	金透小学校	清水台 地域公民館	約 40人	望遠鏡の見え方、風船口 ケットの工作など
第6回	平成27年 9月 5日(土) 19時～20時30分	緑ヶ丘 地域公民館	緑ヶ丘 地域公民館	約 70人	星座早見盤の工作、宇 宙のお話など
第7回	平成27年10月17日(土) 18時～19時30分	片平公民館	片平公民館	約 20人	星座探し、星座早見盤の 工作、宇宙のお話など

参加者総数 約 330人



星の宅配便の様子



星の宅配便の様子

### 科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作の出前講座を開催した。出前講座を通して科学の普及と広報を行った。

	開催日時	開催場所	参加者数	内 容
第1回	平成27年 6月 2日(火) 13時30分～14時30分	朝日が丘小学校	208人	ぶんぶんゴマを親子で製作し、実験を行った。
第2回	平成27年 7月 2日(木) 13時15分～14時50分	薫小学校	122人	くるくるアニマルを親子で製作し、実験を行った。
第3回	平成27年 9月11日(金) 13時～13時50分	鬼生田小学校	94人	風船ロケットを親子で製作し、実験を行った。
第4回	平成27年10月28日(水) 14時40分～15時40分	喜久田小学校	38人	偏光万華鏡とスイ～ットレイを科学クラブ活動で製作し、実験を行った。
第5回	平成27年11月4日(水) 15時30分～16時30分	富久山図書館	25人	ぶくぶく入浴剤を親子で製作し、実験を行った。

**参加者総数 487人**

### 講師派遣

各種機関や公共施設などの団体からの依頼に応じて、当館の職員を講師として派遣した。

#### <郡山市あさかの学園大学の授業>

☆派遣日時 平成27年4月22日(水)～24日(金) 各日10時10分～12時

☆派遣場所 郡山市ふれあい科学館

#### <宇宙少年団こおりやま分団>

☆派遣日時 平成27年7月12日(日)13時30分～16時

☆派遣場所 郡山市ふれあい科学館

#### <大安場史跡公園市民参加型事業「古墳でお月見」>

☆派遣日時 平成27年8月30日(日)18時30分～20時

☆派遣場所 大安場史跡公園

### ふくしまサイエンスぷらっとフォームアウトリーチ活動

福島大学や県内の公設研究機関と科学・博物館で構成される機関に加盟し、連携して科学普及のイベントを行った。

#### <ふくしま森の科学体験センター14周年記念事業>

☆開催日時 平成27年10月18日(日)9時30分～16時

☆開催場所 ふくしま森の科学体験センター(ムシテックワールド)

#### <サイエンス屋台村 in 須賀川>

☆開催日時 平成27年11月28日(土)9時30分～15時30分

☆開催場所 ふくしま森の科学体験センター(ムシテックワールド)

## (7) クラブ活動

### 天文クラブ

プラネタリウムの特性や天体望遠鏡を活用し、四季を通じて天文学の基礎や天文現象などを総合的かつ体験的に学習するクラブを開催した。

☆開催回数 7回（平成27年5月～平成28年2月）

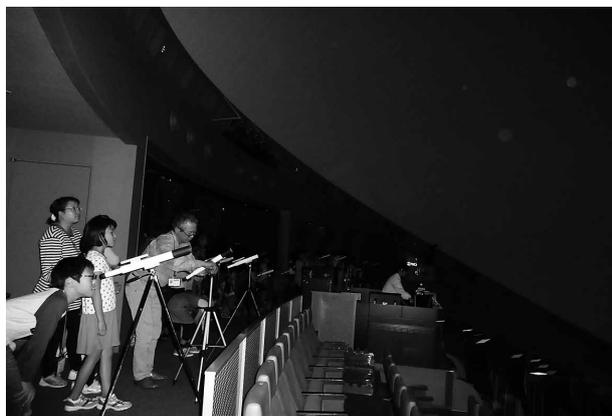
☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 26人

メニュー	開催日時	参加者数
スタート!星空観察 いろいろな星を見てみよう	平成27年5月30日(土)18時30分～20時	47人(保護者を含む。)
望遠鏡を作ろう	平成27年7月11日(土)9時45分～11時45分	19人
望遠鏡を使おう	平成27年9月19日(土)18時30分～20時	35人(保護者を含む。)
宇宙のすがたを知ろう!	平成27年10月17日(土)9時45分～11時45分	17人
実験!宇宙のふしぎ	平成27年11月14日(土)9時45分～11時45分	21人
今年の天文現象は何?	平成28年1月16日(土)9時45分～11時45分	15人
宇宙飛行士になるには?	平成28年2月13日(土)9時45分～11時45分	12人

延べ参加者数 166人



プラネタリウムでの活動の様子



展示ゾーンでの活動の様子

### 科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人が体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第2・第4土曜日 10時～12時

☆開催回数 7回（平成27年6月～平成28年2月）

☆開催場所 実験工房

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 49人（Aクラス：24人、Bクラス：25人）

メニュー	クラス	開催日	参加者数
鏡で実験	A	平成 27 年 6 月 13 日(土)	24 人
	B	平成 27 年 6 月 27 日(土)	19 人
摩擦の科学	A	平成 27 年 7 月 11 日(土)	21 人
	B	平成 27 年 8 月 29 日(土)	20 人
力のひみつ	A	平成 27 年 9 月 12 日(土)	18 人
	B	平成 27 年 9 月 26 日(土)	19 人
電気で大実験	A	平成 27 年 10 月 17 日(土)	17 人
	B	平成 27 年 10 月 31 日(土)	18 人
不思議素材	A	平成 27 年 11 月 14 日(土)	21 人
	B	平成 27 年 11 月 28 日(土)	18 人
氷の不思議	A	平成 27 年 12 月 12 日(土)	18 人
	B	平成 28 年 1 月 23 日(土)	17 人
五感の不思議	A	平成 28 年 2 月 13 日(土)	23 人
	B	平成 28 年 2 月 27 日(土)	21 人

延べ参加者数 274 人



不思議素材の様子



電気で大実験の様子

### 科学情報クラブ

コンピュータを使い、写真加工、動画編集、ロボット製作などを、楽しみながら学ぶことのできるクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第1・第3土曜日 10時～12時

☆開催場所 パソコン工房

☆開催回数 7回(平成27年6月～平成28年2月)

☆対象 小学3年生～中学3年生

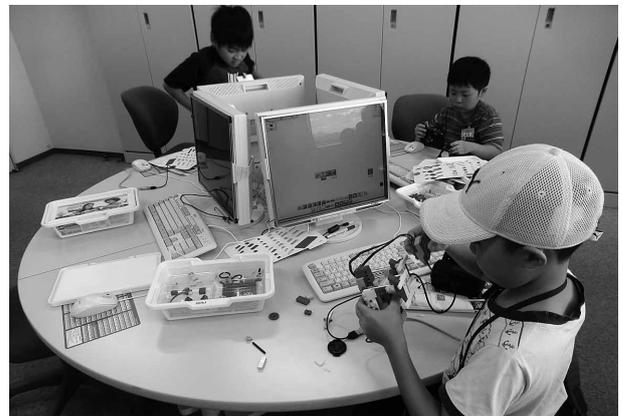
☆クラブ員 32人(Aクラス:16人、Bクラス:16人)

メニュー	クラス	開催日	参加者数
下じきを作ろう	A	平成 27 年 6 月 6 日(土)	12 人
	B	平成 27 年 6 月 20 日(土)	15 人
うちわを作ろう	A	平成 27 年 7 月 4 日(土)	10 人
	B	平成 27 年 7 月 5 日(日)	15 人
ロボットを作ろう	A	平成 27 年 9 月 5 日(土)	10 人
	B	平成 27 年 9 月 19 日(土)	11 人
コンピュータミュージックを作ろう	A	平成 27 年 10 月 3 日(土)	12 人
	B	平成 27 年 10 月 24 日(土)	10 人
オリジナル写真カードを作ろう	A	平成 27 年 11 月 7 日(土)	12 人
	B	平成 27 年 11 月 21 日(土)	13 人
DVDを作ろう	A	平成 27 年 12 月 5 日(土)	11 人
	B	平成 27 年 12 月 19 日(土)	11 人
アルバムを作ろう	A	平成 28 年 2 月 6 日(土)	11 人
	B	平成 28 年 2 月 20 日(土)	16 人

延べ参加者数 169 人



「うちわを作ろう」の様子



「ロボットを作ろう」の様子

## (8) 作品募集

### 第 15 回コンピュータグラフィックス展

コンピュータグラフィックス作品を子どもから大人まで広く募集し、審査を経て展示を行うことにより発表の機会を提供するとともに、コンピュータグラフィックスの知識や技術の向上を図った。

☆テ ー マ 宇宙で夏休み

☆募集締切 平成 27 年 9 月 30 日(水)

☆応募作品 静止画部門 小学生以下の部 170 点 中学生の部 37 点 一般(高校生以上)の部 20 点 動画部門 9 点

- ☆審査委員 天形 健氏（福島大学教授）  
 伊藤 峰洋氏（有限会社峰洋デザイン代表）  
 内田 章氏（学校法人新潟総合学院 FSG カレッジリーグ  
 事業企画部新環境事業室長）
- 菅野 洋人氏（郡山市立美術館主任主査）  
 菊地 敏美氏（郡山市教育委員会教育研修センター所長）  
 西村 憲氏（会津大学上級准教授）  
 馬場 朝子氏（郡山市立郡山第五中学校教諭）  
 本田 文一氏（福島県立清陵情報高等学校教諭）  
 伊東 利幸（郡山市ふれあい科学館長）
- ☆展示期間 平成27年11月7日（土）～平成28年1月11日（月・祝）  
 ※表彰式：平成27年11月15日（日）10時30分～11時
- ☆展示場所 展望ロビー
- ☆受賞作品 <静止画部門【大賞】館長賞>  
 「夏の惑星」  
 松本 恵昌さん（郡山市立郡山第二中学校3年生）
- <静止画部門【準賞】スペースパーク賞>  
 「赤い糸で結ばれた、宇宙と地球と人」  
 鈴木 愛菜さん（郡山市立富田東小学校5年生）  
 「「おかえりなさい」を聞くために」  
 岡崎 辰哉さん（国際アート&デザイン専門学校2年生）
- <静止画部門 小学生以下の部 優秀賞>  
 「宇宙でスイカ」  
 倉松 健さん（高知市立横内小学校6年生）  
 「うちゅうの銀河列車」  
 白石 七瀬さん（郡山市立富田東小学校6年生）  
 「うちゅうのスイカ」  
 中島 空良さん（高知市立横内小学校5年生）
- <静止画部門 中学生の部 優秀賞>  
 「宇宙でのんびり休暇」  
 横田 歩大さん（郡山市立郡山第三中学校3年生）  
 「宇宙のどこかで夏祭り」  
 國分 瑚楠さん（郡山市立郡山第二中学校2年生）  
 「天の川を飛ぶ宇宙蛍」  
 橋本 健太さん（郡山市立郡山第三中学校3年生）
- <静止画部門 一般（高校生以上）の部 優秀賞>  
 「第二の惑星」  
 佐藤 祐希さん（国際アート&デザイン専門学校2年生）  
 「とびこめ！」

阿部 紗弥加さん（国際アート&デザイン専門学校2年生）

「宇宙の中の海」

川俣 海渡さん（福島県立清陵情報高等学校3年生）

<動画部門【大賞】館長賞>

「僕の夏休みの思い出」

岡崎 辰哉さん（国際アート&デザイン専門学校2年生）

<動画部門【準賞】スペースパーク賞>

「世界が私に似てたから」

井上 ゆうさん（郡山市立郡山第三中学校2年生）

「少年と不思議な夏の思い出」

遠藤 明子さん（国際アート&デザイン専門学校1年生）

<学校賞>

郡山市立行健第二小学校（応募数50点）

郡山市立郡山第二中学校（応募数18点）

福島県立清陵情報高等学校（応募数9点）



静止画部門【大賞】館長賞  
「夏の惑星」



静止画部門【準賞】スペースパーク賞  
「赤い糸で結ばれた、宇宙と地球と人」



静止画部門【準賞】スペースパーク賞  
「「おかえりなさい」を聞くために」

### ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県内の風景と星・月が撮影された写真を募集し、選出された作品展を開催することで、福島県の星・月の風景を通して天文普及を図った。また、これまでのコンテスト作品の巡回展示及び会場でのギャラリートークを県内外で行い、広く普及活動を実施した。

#### <第4回 ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト>

☆テーマ 福島県内で撮影された「星・月の風景」

☆募集期間 平成27年12月1日（火）～平成28年1月15日（金）

☆協賛 (株)シグマ、(株)ケンコー・トキナー

☆後援 福島県・郡山市観光協会・福島民報社・福島民友新聞社・朝日新聞福島総局・毎日新聞福島支局・読売新聞東京本社福島支局・産経新聞福島支局・NHK福島放送局・福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・ラジオ福島・ふくしまFM・郡山コミュニティ放送

☆応募作品 351点（110人）

☆審査員 鈴木一雄氏（自然写真家）、渡部潤一氏（天文学者）、伊東利幸（郡山市  
ふれあい科学館長）

☆受賞作品 大賞1点、審査員特別賞2点、特別賞6点、入賞28点

☆展示期間 平成28年3月19日（土）～6月30日（金）

※表彰式：平成28年3月19日（土）10時30分～11時10分

☆展示場所 23階ホワイエ

☆出版物 「ふくしま星・月の風景 Vol.4 ー第4回ふくしま星・月の風景 作品  
写真集ー」



【大賞】「雲は去り、月は彼方に」



表彰式の様子



審査の様子

### <ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示>

#### 石川・根上展

☆展示期間 平成27年8月1日（土）～10日（月）

☆展示場所 根上学習センター ロビー（石川県能美市）

☆主催共催 根上学習センター

☆内 容 第2回・第3回コンテスト選出作品81点

#### 三鷹展

☆展示期間 平成28年2月17日（水）～4月17日（日）

☆展示場所 三鷹天文・科学情報スペース（東京都三鷹市）

☆主催共催 三鷹天文・科学情報スペース

☆内 容 第3回コンテスト選出作品41点

※3/5に渡部潤一氏とトークショーを実施

#### いわき展

☆展示期間 平成28年3月5日（土）～27日（日）

☆展示場所 いわき市民ギャラリー（いわき市）

☆主催共催 いわき・ら・ら・ミュウ

☆内 容 第1回～第3回コンテスト選出作品の大賞・特別賞選出作品等40点

## 「宇宙の日」記念全国小・中学生作文絵画コンテスト

「全国小・中学生作文絵画コンテスト」のうち、絵画の部についての募集から審査までを共催で実施し、入選作品の展示会を開催した。

☆主催 文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、一般財団法人リモート・センシング技術センター、一般財団法人日本宇宙フォーラム、郡山市、郡山市教育委員会、郡山市ふれあい科学館（公益財団法人郡山市文化・学び振興公社）

☆後援 内閣府宇宙戦略室

☆メディアパートナー 朝日新聞デジタル

☆テーマ 宇宙に飛び出そう（小学生部門）、宇宙のなぞにせまろう（中学生部門）

☆部門 小学生部門、中学生部門

☆募集期間 平成27年7月～9月30日（水）

☆応募作品 111点（小学生部門：89点、中学生部門：22点）

☆審査員 室井彩子氏（郡山市立安積第一小学校教諭）

上石直美氏（郡山市立緑ヶ丘中学校教諭）

### <表彰式>

☆開催日時 平成27年11月1日（日）11時～11時30分

☆開催場所 多目的研修室

### <受賞作品展>

各部門で受賞した作品を22階展望ロビーに展示した。

☆展示期間 平成27年11月1日（日）～  
11月15日（日）

☆展示場所 展望ロビー

☆受賞作品

#### <小学生部門【最優秀賞】>

鈴木 結衣さん（いわき市立泉北小学校4年）

※日本科学未来館館長賞 受賞（各科学館最優秀賞作品の中から選定）

#### <小学生部門【優秀賞】>

熊田 花奈海さん（郡山市立緑ヶ丘第一小学校5年）

樋口 美岬さん（郡山市立薫小学校2年）

#### <小学生部門【佳作】>

遠藤 嵩斗さん（郡山市立緑ヶ丘第一小学校6年）

七海 陽斗さん（郡山市立行徳小学校5年）

橋本 朋佳さん（郡山市立緑ヶ丘第一小学校4年）

#### <中学生部門【最優秀賞】>

堀内 恵さん（郡山市立小原田中学校1年）



表彰式後の記念撮影

<中学生部門【優秀賞】>

折笠 郁佳さん（郡山市立小原田中学校2年）

七海 未音さん（郡山市立小原田中学校3年）

<中学生部門【佳作】>

久壽米木 明穂さん（郡山市立小原田中学校3年）

小林 賢幸さん（郡山市立大槻中学校1年）

吉田 咲希さん（郡山市立小原田中学校3年）



小学生部門【最優秀賞】  
鈴木 結衣さん



中学生部門【最優秀賞】  
堀内 恵さん

## (9) 社会的弱者に配慮した事業

### 字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と一般の方が共に観覧できる番組を投映した。今年度は「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ」において投映を行った。

☆開催日 平成27年9月23日（水）・24日（木）

☆内容 「Losing the Dark」、 「The girl who walked upside down」

☆観覧者数 263人

## (10) 出版

### 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、科学実験アラカルト、スペースパークの出来事、宇宙劇場の番組紹介、科学館案内&募集コーナー等、様々な情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を発行し、市町村教育委員会や学校等教育施設などに配付した。

☆A4カラー8ページ 55号～58号（年間4回）

☆発行部数：10,000部 / 各号

## (11) 情報発信

### プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したリーフレットを作成し、年5回発行した。

☆構成 成：A4カラー4ページ

☆発行総数：390,000部

### 学校・団体利用の手引き

小学校や中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、冊子にまとめ、市内及び県内の小中学校等に配付し、学校団体利用の促進を図った。

☆構成 成：A4白黒28ページ

☆発行部数：5,000部

### ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信した。

☆更新回数：267回

☆参照回数：251,508回

### メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信した。

☆配信回数：12回

☆配信先：923か所（平成28年3月現在）

### テレビ、新聞等による情報発信

夏休みイベント及び春休みイベントの告知を行うため、夏休み期間及び春休み期間にテレビ広告を行った。また、年末年始の誘客を図るため、新聞広告を行った。そのほかタウン誌、フリーペーパー、観光雑誌、子育て情報誌などへ積極的に記事の投稿を行い、情報発信に努めた。

## 5 調査・研究・発表

### (1) 天文関連協議会調査

宇宙や天文に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、新たな事業の企画立案及び既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

調査日	調査先	内容
平成 27 年 6 月 8 日～10 日	全国プラネタリウム大会・前橋 2015 (前橋市児童文化センター・前橋テルサ)	プラネタリウム運営及び事業に関する調査
平成 27 年 9 月 9 日～11 日	日本天文学会 2015 秋季年会 (甲南大学岡本キャンパス)	最新の天文学に関する情報収集及び運営に関する調査

### (2) 天文関連先進館調査

プラネタリウム投映などの最新の天文関連活動のありかたを調査し、事業の企画及び内容の充実を図るための調査研究を行った。

調査日	調査先	内容
平成 28 年 2 月 8 日～10 日	平成 27 年度 全国プラネタリウム研修会・琵琶湖 (ラフォーレ琵琶湖)	プラネタリウム解説手法及び天文事業に関する研修

### (3) 天文関連最新情報調査

プラネタリウム投映における最新の技術や手法の情報を入手し、新たな教育普及活動の可能性を調査研究した。

調査日	調査先	内容
平成 27 年 11 月 15 日～17 日	最新の天文学の普及をめざすワークショップ	最新の天文学に関する情報収集及び運営に関する調査

### (4) 展示協議会等調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、協議会・学術会議などに参加し市民への教育普及活動に資する資料収集や調査活動を行った。

調査日	調査先	内容
平成 27 年 11 月 8 日～9 日	全国科学館連携協議会 平成 27 年度 第 1 回 国内研修 (スリーエム仙台市科学館、仙台市天文台)	全国の科学館に関する情報収集及び施設視察
平成 27 年 11 月 19 日～20 日	全国科学館連携協議会 平成 27 年度 第 1 回 東北ブロック会議研修会 (青森県立三沢航空科学館)	東北地域の科学館に関する情報収集、ワークショップに関する事例発表及び調査
平成 28 年 2 月 5 日	平成 27 年度 第 2 回 全国科学館連携協議会 東北ブロック会議 (スリーエム仙台市科学館)	東北地域の科学館に関する情報収集、科学館運営の課題に関する協議

平成 28 年 2 月 25 日～ 26 日	平成 27 年度第 2 回全国科学博物館協議会総会及び第 23 回研究発表大会等（富山市科学博物館）	全国の科学博物館に関する情報収集及び施設視察
------------------------	--	------------------------

### (5) 展示系学術発表

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、当館のサイエンスショーやワークショップ等の運営や実施担当者の技術向上を図るため、サイエンスショーやワークショップ等の名人が全国から集まる大会の視察を行った。

調査日	調査先	内容
平成 28 年 2 月 7 日	第 23 回日立サイエンスショーフェスティバル（日立シビックセンター）	全国の実験名人によるサイエンスショーの実演を視察

## 6 その他

### (1) 運営協力

#### 郡山市少年少女発明クラブ

社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営した。ロボットや鉱石ラジオなどの製作を通して、発明の楽しさを体験するクラブを開催した。

☆開催日時 毎月第3日曜日（平成27年5月～平成28年2月）10時～12時

☆開催場所 実験工房

☆開催回数 10回

☆対象 小学3年生～中学3年生

☆クラブ員 30人

☆専任指導員 黒森 五郎氏、大越 清美氏、  
小野 一豊氏

☆内容 つな渡しサル、ラジオ作り、  
からくり工作、針金細工など



クラブ活動の様子

#### 日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動を続けている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動について、科学館職員が天体望遠鏡工作の指導や宇宙に関する講義を行うなどの支援を行った。

☆活動日 平成27年4月～平成28年3月の毎月1回程度実施

☆活動場所 郡山市ふれあい科学館など

☆活動内容 天体望遠鏡工作、天体観測など

※毎月第2水曜には、郡山市ふれあい科学館にてリーダー会議を開催した。

#### ふくしまサイエンスぶらっとフォーム

福島大学や県内の公設研究機関と科学館・博物館で構成される機関に加盟し情報交換や科学普及のイベントを行った。

##### <第1回運営協議会>

☆開催日時 平成27年5月8日（金）15時～17時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

##### <第2回ワーキンググループ会議>

☆開催日時 平成27年7月2日（木）15時～17時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

##### <第4回ワーキンググループ会議>

☆開催日時 平成27年10月30日（金）15時～17時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

## <第2回運営協議会>

☆開催日時 平成28年3月9日(水) 15時～17時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館 多目的研修室

### こどもまつり

郡山市から第50回郡山市こどもまつりにおけるコーナー運営についての協力要請があり、ミューカルがくと館に郡山市ふれあい科学館ブースを出展し協力した。

☆開催日時 平成27年5月5日(火) こどもの日 10時～15時

☆開催場所 ミューカルがくと館 2階観測室及び練習室

☆活動内容 天体望遠鏡での天体観測と科学工作(ふうせんロケット)

## (2) ボランティア活動の推進

### ボランティア活動の推進

#### <全体の概要>

平成16年2月に自主運営組織「スペースパークボランティアの会(略称:S.P.V)」が発足し、今年度12年目を迎えた。

本年度は、会員各自が、さらに積極的に活動のレベルアップを図るとともに、活動範囲の拡大、そして、市民へボランティア活動を行おうとする心をひろめ、生涯学習ボランティア活動のより一層の発展を目指し、ボランティア活動を行った。



スペースパークボランティアの会

#### <スペースパークボランティア大募集>

案内・科学・天文の各グループのボランティアを広く市内外から募集した。

#### 募集スケジュール

募集期間	登録前オリエンテーション	ボランティア研修
平成27年3月1日(日)～4月30日(木)	平成27年5月24日(日)	平成27年6月14日(日)

#### ※登録前オリエンテーション

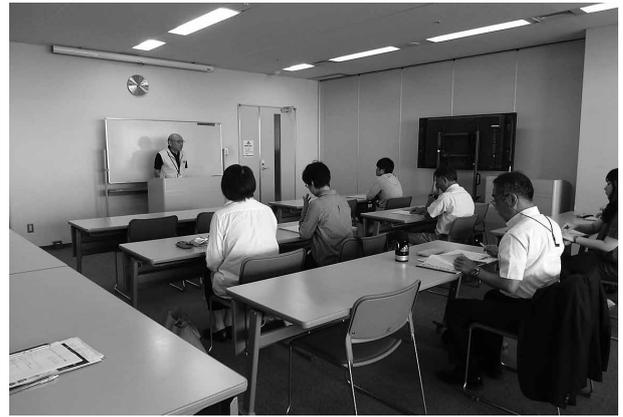
応募者を対象に、スペースパークボランティアの会及び活動内容について理解を深めることを目的として開催した。

#### ※ボランティア研修

ボランティア登録者を対象に、生涯学習についてグループごとに専門研修を開催した。



登録前オリエンテーションの様子



ボランティア研修の様子

## <登録状況>

### ☆グループ別

	案 内	科 学	天 文	合 計
前年度からの登録更新者	20人	34人	38人	92人
平成 27 年度登録者	2人	3人	6人	11人
合 計	22人	37人	44人	103人

### ☆区分別

	性 別		職業の有無			地域別		
	男	女	有 職	無 職	学 生	市 内	市 外	県 外
前年度からの登録更新者	46人	46人	52人	34人	6人	83人	6人	3人
平成 27 年度登録者	5人	6人	4人	5人	2人	9人	2人	0人
合 計	51人	52人	56人	39人	8人	92人	8人	3人

### ☆年代別

年 代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代
人 数	3人	15人	8人	5人	23人	36人	9人	4人

## <ボランティア活動>

### ○案内グループボランティア

☆活動日時 平日：午前の部（9時30分～13時）

土曜・日曜・祝日：午前の部（9時30分～13時）

午後の部（12時30分～16時）

☆内 容 展望ロビーでの景色・郡山の歴史案内、科学館の総合案内、高齢者・身障者の観覧補助、鉄道ジオラマ各時代の鉄道車両及び郡山の歴史説明

☆延べ活動時間 685 時間

☆延べ活動人数 207 人

## ○科学グループボランティア

☆活動日時 土曜・日曜・祝日・学校休業期間：午前の部（9時30分～13時）  
 午後の部（12時30分～16時）

☆内 容 実験・工作教室などの説明や製作の補助

☆延べ活動時間 1,714時間

☆延べ活動人数 486人

## ○天文グループボランティア

☆活動日時 天体観望会及び自主イベントのある夜間等

☆内 容 天体観望会などでの案内及び望遠鏡の操作補助

☆延べ活動時間 432時間

☆延べ活動人数 125人

## <出張ボランティア活動>

館外での生涯学習活動の場を求め、広く出張ボランティア活動を実施し、市民活動の一環として市民と共に楽しみ、お互いの感動を共有し、市内のさらなる生涯学習活動の促進を目指し開催した。

事業名	開催日時	開催場所	参加人数	内 容
郡山市こどもまつり	平成27年5月5日(火) 10時～14時	ミューカルがくと 館、開成山陸上競 技場会議室	—	天文工作 科学工作
星空観察	平成27年6月13日(土) 19時30分～20時30分	鏡石公民館、鳥見 山公園	約 60人	天体観望会
星空観察	平成27年7月19日(日) 21時～22時	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 25人	天体観望会
星空観察	平成27年7月24日(金) 19時～21時	わかば幼稚園	約 60人	天体観望会
星空観察会	平成27年8月1日(土) 18時30分～20時30分	須賀川市中央公 民館	約 60人	天体観望会
星空観察	平成27年8月1日(土) 19時～21時	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 70人	天体観望会
星空観察	平成27年8月5日(水) 19時～21時	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 20人	天体観望会
星空観察	平成27年8月8日(土) 19時～21時	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 45人	天体観望会
星空観察	平成27年8月9日(日) 19時～21時	栃山神小学校	約 80人	天体観望会
星空観察	平成27年8月9日(日) 19時～21時	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 35人	天体観望会
星空観察	平成27年8月18日(火) 19時～21時	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 25人	天体観望会
星空観察	平成27年8月21日(金) 19時～21時	小野町緑とのふれ あいの森公園	約 25人	天体観望会

大成なかよしクラブ	平成27年10月17日(土) 10時～12時	大成地域公民館	25人	科学工作
安積地区市民文化祭	平成27年10月24日(土) 10時～15時	安積総合学習センター	—	科学工作
郡山なかまち夢通り「ウィンターフェスティバル2015」	平成27年11月1日(日) 10時30分～16時40分	なかまち夢通り	—	科学工作 天文工作 紙芝居
こども暮れのつどい	平成27年12月6日(日) 9時～13時30分	安積総合学習センター	—	科学工作
熱海地区三世代交流会	平成28年1月9日(土) 10時～12時	熱海公民館	—	科学工作
星空観察	平成28年2月13日(土) 17時～19時	三春の里	—	天体観望会

### <自主企画イベント スパースパークボランティアまつり>

案内、科学、天文の各グループが、一年間の生涯学習活動の成果を、それぞれの活動の特色を活かした様々な企画により、市民の方々に発表した。

☆開催日時 平成28年3月20日(日)・21日(月) 10時～16時

☆開催場所 22階展望ロビー

☆内 容 案内グループ 昔なつかし紙芝居、昔遊び体験

科学グループ イリュージョンカード工作、折り紙教室

天文グループ 星座早見盤づくり、隕石展、天体写真プレゼント



昔遊び体験 (案内グループ)



イリュージョンカード工作 (科学グループ)



星座早見盤づくり (天文グループ)

<館事業サポート活動>

○サイエンスフェスティバル（ゴールデンウィーク）

科学グループ

☆開催日 平成27年5月3日（日・祝）～6日（水）

☆メニュー 偏光万華鏡、こいのぼり

○サイエンスフェスティバル パートⅠ（夏休み）

科学グループ

☆開催日 平成27年7月18日（土）～20日（月）

○サイエンスフェスティバル パートⅡ（夏休み）

科学グループ

☆開催日 平成27年8月12日（水）～16日（日）

☆メニュー パートⅠ・Ⅱプラコップアクセサリー（共通）

○鉄道フェスティバル

☆開催日 平成27年10月10日（土）～12日（月・祝）

案内グループ

☆内容 来館者への案内・会員所有の旧国鉄・JR関連の鉄道資料の展示、  
説明、鉄道ジオラマショーの解説

科学グループ

☆内容 スリットカード作り

<科学館の事業における天体観望会等>

○駅前観望会

☆開催回数 9回

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場

☆内容 郡山駅前での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○星の宅配便

☆開催回数 7回

☆開催場所 市内公民館

☆内容 市内各地での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

○天体観望会

☆開催回数 3回

☆開催場所 大安場史跡公園・ミューカルがくと館・郡山市ふれあい科学館展望ロビー

☆内容 市内各施設での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

### <科学グループ研修>

#### ○第 14 回 科学ボランティアツアー（自主研修）

☆開催日 平成 27 年 5 月 16 日（土）

☆開催場所 アクアマリンふくしま

☆参加者数 17 人

#### ○第 15 回 科学ボランティアツアー（自主研修）

☆開催日 平成 27 年 9 月 27 日（日）

☆開催場所 あぶくま鍾乳洞、星の村天文台

☆参加者数 16 人

### <科学グループ自主勉強会>

#### ○第 11 回 科学ボランティア勉強会

☆開催日 平成 27 年 7 月 11 日（土）

☆テーマ 「コーヒーの科学～体にいい・悪いの見定め方」、「トランス脂肪酸 Q & A」、「折り紙教室」

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 15 人

#### ○第 12 回 科学ボランティア勉強会

☆開催日 平成 28 年 1 月 17 日（日）

☆テーマ 「バルーンアート」、「ノーベル賞・大村智の軌跡と仕事」

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 19 人

### <平成 27 年度総会>

平成 27 年度活動報告、役員選出案、平成 28 年度活動計画案を審議し、満場一致で承認した。また、会員の活動表彰（一定の活動時間を達成した会員に贈る）を行った。今年度は、9 人が受賞した。

☆開催日時 平成 28 年 3 月 6 日（日）13 時 30 分～14 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 91 人（委任状含む。）

### <茶話会>

☆開催日 平成 28 年 3 月 6 日（日）

☆開催場所 多目的研修室

☆参加者数 38 人

☆内 容 各グループ自己紹介、各グループ同士の交流会（意見交換など）



総会の様子



茶話会の様子

## < S.P.V 広報活動 >

科学館のウェブサイトに掲載している、S.P.V の活動紹介ウェブサイト更新及び広報誌「S.P.V つうしん」を年4回発行した。



S.P.V つうしん第45号



S.P.V つうしん第46号



S.P.V つうしん第47号



S.P.V つうしん第48号

### (3) 博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を行った。

☆開催期間 平成27年9月2日(水)～9日(水)  
※7日(月)を除く7日間

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、  
多目的研修室等

☆実習生 3人  
郡山女子大学短期大学部文化学科：2人  
筑波大学生命環境学群生物学類情報コース：1人



博物館実習の様子

実習日	実習内容
平成27年9月2日(水)	開講式、施設見学、実習説明、番組見学、宇宙劇場機器説明
3日(木)	団体対応実習、展示実習、接遇研修、宇宙劇場解説実習
4日(金)	展示実習、館内対応・クラブ活動対応準備
5日(土)	クラブ活動対応実習、展示実習、展示実習発表
6日(日)	番組見学、館内対応実習
7日(月)	休館日
8日(火)	宇宙劇場実習準備、同解説練習
9日(水)	宇宙劇場実習準備、宇宙劇場課題発表、宇宙劇場発表講評、閉講式

### (4) インターンシップ(就業体験)受入れ

大学の正規授業であるインターンシップ(就業体験)の学生を研修生として受け入れ、科学館における就業体験を通して、地域の人間育成のためのキャリア教育に貢献するための研修を行った。

☆開催期間 平成27年8月10日(月)～21日(金)

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆研修生 2人(福島大学人間発達文化学類専攻)

### Ⅲ 平成 27 年度広報・サービス活動

#### 1 広報 P R 活動

##### (1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、テレビスポットを中心とした広報戦略活動を展開した。

##### テレビスポット

☆期間等 平成 27 年 7 月 18 日～8 月 16 日 福島中央テレビ・福島放送、15 秒スポット計 40 本

☆内 容 夏休みドーム映像番組「ガラパゴス」

☆期間等 平成 27 年 9 月 8 日～23 日 福島放送、15 秒スポット計 51 本

☆内 容 第 6 回 国際科学映像祭

☆期間等 平成 27 年 12 月 5 日～平成 28 年 1 月 10 日 福島中央テレビ・福島放送、15 秒スポット計 40 本

☆内 容 冬のドーム映像番組「ポラリス」・スペースパーク企画展「錯覚美術館」

☆期間等 平成 28 年 3 月 20 日～31 日 福島放送、15 秒スポット計 16 本

☆内 容 春休み特別企画「ロボットで遊ボット！」・春のドーム映像番組「ポラリス」

##### 新聞広告

☆掲載日等 平成 28 年 1 月 7 日 朝日新聞

☆内 容 冬のドーム映像番組「ポラリス」・スペースパーク企画展「錯覚美術館」

##### (2) 広報紙及び雑誌・看板等

広報紙を県内各地に配布したほか、市の広報紙「広報こおりやま」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載した。

また、ビル入口への看板設置や、ペDESTリアンデッキへのフラッグバナーの掲示などを行った。

そのほか、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館の P R に努めた。

広 報 紙 送 付 先	
幼稚園・保育所	市内 (121)、市外 (355)
小学校	市内 (62)、市外 (405)
中学校	市内 (29)、市外 (207)
特別支援学校	県内 (23)
公民館	市内 (40)、市外 (137)

関係機関・道の駅など	市内(107)、市外(76)
------------	----------------

## 2 営業活動

今年度は科学館の施設及び事業内容を県内外に広く紹介するため、特に県内小中学校や県外旅行代理店をきめ細かく訪問し、来館者の底辺の拡大を図るための営業活動を積極的に展開した。

営業訪問先	
幼稚園・保育所	市内(7)、市外(44)
小学校	市内(59)、市外(88)
中学校	市内(29)、市外(13)
市町村教育委員会	市外(7)
市町村公民館	市外(42)
旅行代理店・観光施設	県外(28)
ホテル・商店・病院など	ホテル(20)、観光業者(5)、商店(15)、病院(4)、その他(20)

## Ⅳ 平成 28 年度事業活動計画

### 1 宇宙劇場運営

#### (1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組の制作や各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組を日常的に投映する。

<番組投映開始時刻> ※投映時間は約 45 分

曜日/回	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目	第6回目
平日	10時15分	11時30分	14時	15時30分		19時(※)
土曜・日曜・祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時	19時(※)

※金曜日のみ投映

※夏休み期間及び冬期間は別途番組開始時刻を定め実施

#### プラネタリウム 一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を2ヶ月ごとに更新して投映する。

投映時間：平日の第3回目及び土曜・日曜・祝日の第2・4回目、団体利用がない平日の第1・2回目（学校休業期間は時季により異なる。）

番組タイトル	投映期間
第2の地球探し ～系外惑星～	平成28年 4月 1日(金)～ 4月30日(土)
宇宙ステーションへの旅	平成28年 5月 1日(日)～ 6月30日(木)
太陽系の仲間たち	平成28年 7月 1日(金)～ 8月31日(水)
—開館 15周年記念— 21世紀 宇宙新発見	平成28年 9月 1日(木)～10月30日(日)
ダイナミックな銀河	平成28年11月 1日(火)～12月30日(金)
宇宙からのふしぎな信号 ～パルサーの世界～	平成29年 1月 2日(月)～ 2月28日(火)
オーロラ旅行	平成29年 3月 1日(水)～ 3月31日(金)

#### キッズアワー

季節の星空紹介と星座神話・宇宙探検のミニ番組を組み合わせ子どもと大人と一緒に楽しめるように、やさしい解説を加えたプラネタリウム番組を投映する。

放映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回目、学校長期休業期間（時季により放映回は異なる。）

番組タイトル	放映期間
ほしぞらのどうぶつたち	平成28年 4月 1日(金)～5月29日(日) ※4月29日(金)～5月5日(木)を除く
うちゅうのおはなし 「ほしみるおじさん」と星空めぐり	平成28年 4月29日(金)～5月 5日(木)
たなばたの星をみよう!	平成28年 6月 4日(土)～8月 9日(火)
お月見をしよう!	平成28年 8月10日(水)～9月25日(日)
おたんじょうびのせいざ	平成28年10月 1日(土)～11月27日(日)
ふゆの星座めぐり	平成28年12月3日(土)～平成29年1月29日(日)
宇宙旅行にでかけよう!	平成29年 2月 4日(土)～3月31日(金)

### ドーム映像番組

全天ビデオシステムによる全天ドーム映像や星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を夏休み期間、冬の期間及び春期間に放映する。

放映時間：夏休み期間(7/16～8/24)の第1・3・5回目、冬期間(12/5～1/9)、春期間(3/4～31)の土曜・日曜・祝日・学校休業期間の第1・4回目

番組タイトル	上映期間
ウォーキング with ダイナソー 太古の地球へ	平成28年 7月16日(土)～8月24日(水)
ナットのスペースアドベンチャー	平成28年12月 3日(土)～平成29年1月9日(月)
「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」 「planetarian」	平成29年 3月 4日(土)～3月31日(金)

### イブニングアワー

大人の利用促進及び中心市街地に立地するメリットを活かし、宇宙劇場の夜間開館を行い、番組内容も大人向けや時季、話題の天文現象に応じた番組を提供する。

番組タイトル	放映日
星空ライブ60～春の星空編～	平成28年 5月 4日(水)
星空ライブ60～夏の星空編～	平成28年 7月16日(土)
星まつりの夜～ゆかた de プラネタリウム!～	平成28年 8月 4日(木)～6日(土)

星空ライブ60 ～夏休みスペシャル～	平成28年8月9日(火)～11日(木)
月世界探訪	平成28年9月10日(土)・11日(日)
星空ライブ60 ～秋の星空編～	平成28年10月8日(土)
クリスマスの星空	平成28年12月24日(土)・25日(日)
星空ライブ60 ～冬の星空編～	平成29年1月7日(土)
バレンタインの夜に～星空の恋物語～	平成29年2月11日(土)・12日(日)

### 学習番組

※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択し、観覧することができるプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル(対象)	投映期間
星座を見つけよう(小学校低学年以上)	小中学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日(第1・2回目)
日なたと日かげ(小学校中学年以上)	
月と星の動き(小学校中学年以上)	
月と太陽(小学校高学年以上)	
地球と宇宙(中学生向け)	
宇宙のお話(中学生以上)	

### 幼児番組

※学習番組枠で希望により投映(幼児週間以外)

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えた、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を投映する。

投映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回目

番組タイトル	投映期間
おたんじょうびのせいざ	平成28年4月～5月
たなばたのほしまつり	平成28年6月～7月

つきりょこうにでかけよう	平成28年8月～9月
ながれぼしをみてみよう	平成28年10月～11月
ほしのこどもたち ～すばるぼしのおはなし～	平成28年12月～平成29年3月

### 字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と健常者が共に観覧できる番組を投映する。(字幕作成協力：要約筆記「郡山要約筆記勉強会」)

☆開催日時 平成28年6月25日(土)12時30分～13時15分、  
平成29年3月26日(日)11時40分～12時25分

☆内 容 通常のプラネタリウム番組に要約筆記した字幕を映し出す。  
(年2回実施予定)

☆定 員 各220人

## (2) 音楽コンサート

宇宙劇場における通常の番組以外に、多目的な利用も考慮したコンサートを開催し、市民の天文や宇宙への興味関心を高めながら、文化芸術に接する機会を提供する。

### 星と音楽のひととき

様々なジャンルの音楽(CD)を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を投映する。

☆開催日時 平日(祝日・学校休業期間等を除く。)15時30分～16時15分、  
土曜・日曜・祝日17時～17時45分、毎週金曜日19時～19時45分

☆観 覧 券 当日発売

☆観 覧 料 通常の宇宙劇場と同様

☆定 員 各220人

### 宇宙劇場コンサート

季節にあわせて、宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサート等を開催する。

#### <七夕コンサート>

☆開催日時 平成28年7月2日(土) ①15時～16時 ②17時～18時

☆演 奏 者 イラナさん(馬頭琴奏者)

☆観 覧 料 通常の宇宙劇場と同様

☆定 員 各220人

### <クリスマスコンサート>

- ☆開催日時 平成 28 年 12 月 4 日 (日)  
① 14 時 30 分～ 15 時 30 分 ② 17 時 30 分～ 18 時 30 分
- ☆演奏者 音速ライン
- ☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様
- ☆定員 各 220 人

### <ファミリーコンサート>

- ☆開催日時 平成 29 年 2 月 12 日 (日)  
① 11 時～ 12 時 ② 13 時 30 分～ 14 時 30 分
- ☆演奏者 今井 ゆうぞうさん  
(NHK「おかあさんといっしょ」10 代目歌のおにいさん)
- ☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様
- ☆定員 各 220 人

## 2 展示ゾーン運営

### (1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ、トリプルスピン、宇宙探検シミュレーションにスタッフを配置し、これらの体験型展示物を運転し来館者の利用に供する。

### (2) 科学の実験ショー・実験工作教室等

#### サイエンスショー

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を実施する。(約 20 分間)

- ☆開催時間 平日 10 時 30 分～、13 時～  
土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10 時 30 分～、13 時～、16 時～
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 30 人程度
- ☆内容 びっくり超低温の世界、振り子のひみつ、ピタッと磁石で大実験など

#### サイエンススタジオ

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。(約 20 分間)

- ☆開催時間 毎日 11 時 30 分～、14 時 30 分～(サイエンスフェスティバル開催日は除く。)
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 30 人程度
- ☆内容 まさつの科学、地球は生きている 岩石のひみつ、小さな世界をのぞい

てみよう！など

### ロボットショー

パソコン等でロボットを操作し、あいさつやダンスなどの様々なパフォーマンスショーを開催する。また、自由に触れたり声をかけたりして、ロボットとのコミュニケーションの機会を設けて楽しむとともに、今後のロボット技術への興味関心を高める。(約15分間)

#### <ロボットショー>

- ☆開催日時 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 12時30分～、15時30分～
- ☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 30人程度

#### <ロボット展示>

- ☆展示場所 展示ゾーン トリプルスピンの前

### わくわくカウンター

入館者の多い時期に科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作を開催する。

- ☆開催日時 不定期(土曜・日曜・祝日及び小中学校の長期休業期間等)に開催)
- ☆開催場所 展示ゾーン ワークショップカウンター
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆内容 科学工作  
科学に関する情報提供(科学図書の設置、科学・天文ニュースの掲示)  
宇宙メダカの展示

## (3) パソコン工房

### デジタルスタジオ

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催する。(約50分間)

- ☆開催日時 土曜日 13時30分～(イベント開催日は除く。)
- ☆開催場所 パソコン工房
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 16人
- ☆内容 名前シール作り、マグネット作り、うちわ作りなど

## (4) 実験工房

### サイエンス広場

展示ゾーンへの入館者を対象に、身近な材料などを使用して科学工作教室を開催する。(約40分間)

- ☆開催日時 日曜・祝日 13時30分～（イベント開催日は除く。）
- ☆開催場所 実験工房
- ☆対象 象 展示ゾーン入館者
- ☆定員 30人
- ☆内容 混ぜて遊ぼう、湿度で遊ぼう、紫外線で遊ぼう、鏡で遊ぼうなど

## (5) 団体利用向け科学教室

### サイエンス教室（団体向け）

学校や子ども会、高齢者等の団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」、楽しい科学実験を見ることが出来る「サイエンスショー」、パソコンを使った簡単な紙工作などができる「パソコン工房の利用」、幼児から楽しめる「ロボットショー」、各展示物の見どころが分かる「ガイドツアー」を開催する。

- ☆開催日時 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）
- ☆開催場所 多目的研修室、実験工房、パソコン工房、展示ゾーン
- ☆対象 象 小中高校等の学校、子ども会など
- ☆定員 員 ワークショップ、サイエンスショー各50人程度  
パソコン工房利用の場合16人以下  
ロボットショー50人程度  
ガイドツアー30人程度
- ☆内容 容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉ごま、ぶっとびロケット、乾電池チェッカー、ぶくぶく入浴剤、シートレンズ投影機などの40メニュー）、サイエンスショー（パワフル空気のカ、超低温の世界）、パソコン工房の利用（写真入りカード、星座早見盤）、ロボットショー（ロボットを使用したショー）、ガイドツアー（展示物の見どころを分かりやすく紹介）

### Nゲージ鉄道ジオラマ

線路幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使い、明治・昭和初期・現代の郡山を再現し、近代郡山の発展の様子を紹介する。

#### <鉄道ジオラマショー>

- ☆開催時間 開館日の11時～、15時～、17時～（約20分間）

#### <簡易シミュレーター>

- ☆開催時間 開館日の10時～17時（ショー開催時間以外）

#### <運転シミュレーター>

- ☆開催時間 開館日の10時～17時
- ☆料金 200円（約5分間）

### <ウォールミュージアム>

☆展示時間 随時（開館日 10 時～ 17 時 30 分）

### <たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置する。

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時

### <トレインガイド>

☆展示時間 随時

## (6) 学校長期休業期間中の特別事業

### サイエンスフェスティバル

展示ゾーンの入館者を対象に、簡単な科学実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催する。

☆開催日時 ①ゴールデンウィーク期間：平成 28 年 4 月 29 日（金）～ 5 月 1 日（日）、  
5 月 3 日（火）～ 5 月 5 日（木）

②夏休み期間：パート I 平成 28 年 7 月 16 日（土）～ 18 日（月）  
パート II 平成 28 年 8 月 11 日（木）～ 16 日（火）

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆講師 科学館支援グループ、小中学校・高等学校の教員及び児童生徒、大学の教員、科学館職員、科学館ボランティア、市内外その他機関職員など

☆内容 光るスライム、偏光万華鏡、カラフル化石、ぶっとびロケットほか

### 夏休み科学工作コーナー

夏休み期間中、科学を楽しむことができる工作コーナーを開催する。

☆開催日時 平成 28 年 7 月 20 日（水）～ 8 月 10 日（水）、8 月 17 日（水）～ 24 日（水）

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆内容 光るスライム、偏光万華鏡、カラフル化石、ぶっとびロケットほか

### 理科大好き！自由研究講座

理科作品展などの自由研究の審査に長年取り組んでいる小学校の先生を講師に招き、実演や実験を行いながら、自由研究の進め方やまとめ方などのポイントを学べる講座を実施する。

☆開催日時 平成 28 年 7 月 23 日（土）

① 10 時 30 分～ 12 時 小学校 1・2 年生向け

② 14 時～ 15 時 30 分 小学校 3 ～ 6 年生向け

☆開催場所 多目的研修室

☆募集人数 各 20 人

### 3 資料の収集・展示等

#### (1) 資料の収集保管

郡山市ふれあい科学館のテーマに沿った資料を収集し、保管し、必要に応じ資料台帳を作成し、管理する。

#### (2) 資料の展示

適時、資料や解説パネルを制作し展示する。

#### (3) 資料の解説

##### < 展示解説 >

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応する。

##### < 展示解説シート >

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作、配布する。

##### < たんけんシート >

参加者がクイズに答えながら展示ゾーンの主なポイントを巡ることで、展示物への理解を深められるワークシートを設置する。

☆開催日時 随時（開館日 10 時～ 17 時 45 分）

### 4 教育普及活動

#### (1) 講演会

##### 星の講演会

天文や宇宙開発などに関わる機関等と連携し、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招き開催する。

##### < 第 30 回星の講演会 >

☆開催時期 平成 28 年 11 月 13 日（日）16 時～ 17 時 30 分

☆講 師 吉川 真 氏（JAXA 准教授）

☆開催場所 宇宙劇場

☆定 員 220 人

☆内 容 多くのトラブルを乗り越えて小惑星「イトカワ」のサンプルを持ち帰った小惑星探査機「はやぶさ」。その当時の心境や成果、そして、その後継機であり小惑星「リュウグウ」へ向かっている「はやぶさ2」の旅路についてお話いただく。

#### <第31回星の講演会>

☆開催日時 平成29年2月4日(土)16時～17時30分

☆講師 岩谷 圭介氏(株式会社岩谷技研)

☆開催場所 宇宙劇場

☆定 員 220人

☆内 容 日本で初めて、小型の風船カメラを使い上空30kmからの撮影に成功した岩谷氏から、撮影された地点の映像とともに「ふうせん宇宙撮影」の魅力をご紹介いただく。

#### <スターレクチャー>

☆開催日時 平成29年1月28日(土)14時～15時30分

☆講師 柴田 晋平氏(山形大学教授)

☆開催場所 多目的研修室

☆定 員 30人

☆内 容 パルサーの専門家である柴田晋平氏に、パルサーとはどのような天体なのか、どのようなことが注目されているのか、プラネタリウムでは紹介しきれない最新の情報を紹介していただく。

#### (2) 講座・体験学習・ワークショップ

##### 科学ゼミナール

県内の類似施設、研究機関、企業等と連携し共同で講演会やワークショップを開催する。

#### <県内を中心とした研究機関との連携事業>

☆概 要 県内の大学等の研究機関から講師を招いて講座を開催する。

☆開催回数 5回程度

☆連 携 先 福島大学、日本大学など

##### コズミックカレッジ

宇宙をテーマにした科学教育を通して、科学の楽しさや不思議に触れ、科学への関心や探求意欲を喚起し、子どもたちが豊かな心を育むことを目的に行う科学教育プログラムであるコズミックカレッジを国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構と共催で開催する。

☆内 容 キッズコース

☆開催日時 平成28年11月6日(日)10時30分～15時30分

- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 小学1年生～4年生とその保護者
- ☆募集人数 25組50人

※主催：郡山市・郡山市教育委員会・郡山市ふれあい科学館（公益財団法人郡山市文化・学び振興公社）・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

### 天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を開催する。

- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆開催回数 15回（平成28年5月～平成29年3月）
- ☆対 象 一般（高校生以上）
- ☆募集人数 30人

### 星空案内人資格認定制度（星のソムリエ）

豊かな知識と経験からおいしいワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれる「星のソムリエ：星空案内人」を養成する。

- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場
- ☆開催回数 天文カレッジ、天文ボランティア専門研修講座、24回（通年）
- ☆対 象 一般（高校生以上）

### 天体望遠鏡操作講習会

当館で天体望遠鏡を貸し出す事業を実施する。そのため、当館の天体望遠鏡を使用するうえで必要な操作方法等の講習会を市内地域の指導者的な人を対象とし実施する。

## (3) 天体観望会

### 天体観望会

一般に大きな話題となりそうな天文現象を対象に、天体に関する興味関心を深めるため、観望する天体に関する講座と観望会を開催する。また、市内地域の指導者的な人を対象とした講座を開催し、受講者が天体観望会を地域で開催する場合には天体望遠鏡を貸し出すことで、天体観望会のすそ野を広げ、科学普及を図る。

### 駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間でも気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催する。

- ☆開催時期 平成28年4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、平成29年3月予定
- ☆開催場所 郡山駅西口駅前広場、郡山駅歩行者連絡橋
- ☆対 象 一般（当日自由参加）

#### (4) 企画展

##### ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた内容などを、写真や解説文を交えたパネル展を開催する。

企 画 展 予 定	開 催 期 間 (予定)
第4回ふくしま星・月の風景 フォトコンテスト作品展	平成28年 3月19日(土)～6月30日(木)
新発見 太陽系の姿	平成28年 7月 2日(土)～8月31日(水)
開館から15年 天文学と宇宙のあゆみ	平成28年 9月 1日(木)～11月30日(水)
オーロラミュージアム	平成28年12月 1日(木)～平成29年2月28日(火)
誕生日の星座たち	平成29年 3月 1日(水)～平成29年4月30日(日)

##### 学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルやコンピュータグラフィックス展の受賞作品を市内の小中学校に貸出し、宇宙や科学が身近なものとなるよう巡回展を行う。

☆開催期間 平成28年4月～平成29年3月(学校長期休業期間を除く。)

☆対 象 市内小中学校

##### 開館15周年記念イベント

平成28年10月1日宇宙劇場で開館15周年記念式典を行う。あわせて、10月1日・2日に科学館及びビッグアイを会場に記念事業を開催する。

☆開催期間 平成28年10月1日(土)・2日(日)

☆開催場所 宇宙劇場、展望ロビー、展示ゾーン 研修室、ビッグアイ7階大会議室

☆対 象 一般来館者(2日間入場無料)

##### 開館15周年記念「鉄道の日鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち～」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR東日本郡山駅などの協力のもと、全国最大級の規模を誇るNゲージ鉄道ジオラマや鉄道関連資料・グッズを活用したフェスティバルを開催する。

☆開催期間 平成28年10月8日(土)～10日(月)、10月12日(水)～16日(日)

☆開催場所 展望ロビー、研修ゾーン及び多目的研修室

☆対 象 一般来館者

☆内 容 特別企画展「きかんしゃトーマスとなかまたち展」、鉄道ジオラマショー スペシャル、鉄道模型操作体験、プラレールコーナーなど

##### 開館15周年記念 スペースパーク企画展「プラレールフェスティバル」

中央機関などで行っている巡回展や企画展を郡山で開催し、科学の不思議、楽しさを市民に体験していただく。

- ☆展示期間 平成 28 年 12 月 3 日（土）～平成 29 年 1 月 9 日（月・祝）  
10 時～ 17 時
- ☆展示場所 多目的研修室・ビッグアイ 6 階 市民ふれあいプラザ 展示室
- ☆対 象 一般来館者
- ☆内 容 きかんしゃトーマスコーナー、有料アトラクション、プラレールプレイ  
ランド、プラレールジオラマなど

#### ロボット展

ロボット製作等に取り組んでいる福島県立清陵情報高等学校、福島県立郡山北工業高等学校、福島県立白河実業高等学校と連携してロボットの展示を行い、来館者にロボット工学の世界に触れていただく。また、操作体験ロボットを使った競技大会や工作体験教室も開催する。

- ☆開催日時 平成 29 年 3 月 24 日（金）～ 4 月 5 日（水） 10 時～ 17 時
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対 象 展示ゾーン入館者
- ☆内 容 ロボット展示、操作体験  
大会やコンテストに出場したロボットの展示や操作体験を行う。  
ロボット工作  
簡単なロボットの工作が体験できるワークショップを行う。  
ロボット大会  
展示している操作体験ロボットを使っての競技大会を行う。

### (5) 学習支援

#### ロボット貸出

多くの子どもたちが、ロボットとのコミュニケーションを図る機会を設け、ロボット技術への興味関心を高めていただくために、ロボットの貸し出しを行う。

- ☆開催期間 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月（学校長期休業期間を除く。）
- ☆対 象 市内小中学校

#### 天体望遠鏡貸出

- ☆開催期間 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月
- ☆対 象 天体望遠鏡操作講習修了者

#### 高校天文部支援事業

市内を中心とした各高校の天文部等との交流を深め、天文に関する知識や技術面からクラブ活動を支援する。

- ☆開催時期 平成 28 年 6 月、7 月、9 月、10 月、11 月を予定
- ☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場、郡山駅西口駅前広場など

## 科学館支援グループ

小中高校大学の先生方から構成されるグループが、ゴールデンウィークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ参加するほか、理科教材製作等の企画を行う。

☆開催期間 通年

## (6) アウトリーチ事業（出前講座）

### 星の宅配便

科学館職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催する。

☆開催時期 平成28年4月から11月まで

☆開催回数 8回（予定）

☆開催場所 中央公民館を通じて、各公民館と協議のうえ決定

☆定員 各100人程度（各公民館で募集）

### 科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施し出前講座を開催する。

☆開催時期 平日13時以降（月1回程度）

（ゴールデンウィーク、学校長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 市内小学校・幼稚園及び地域公民館など

☆対象者数 20人以上150人程度の団体

### 講師派遣

各種機関等との連携事業として依頼により当館職員を講師として派遣し講座を開催する。

☆開催期間 通年

## ふくしまサイエンスぷらっとフォーム アウトリーチ活動

福島大学を中心とし県内の公設研究機関と科学・博物館などが連携し科学普及を行う「ふくしまサイエンスぷらっとフォーム」に当館も加盟し、他機関のイベントに参加して科学普及を行う。

☆開催期間 通年

## (7) クラブ活動

### 天文クラブ

プラネタリウムの特性や天体望遠鏡を活用し、四季を通じ、天文学の基礎や天文現象などを総合的かつ体験的に学習するクラブを開催する。

☆開催日時 毎月第1土曜日 9時45分～11時45分 を基本とする

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場ほか

- ☆開催回数 7回（平成28年6月～平成29年2月）
- ☆対象 小学3年生～中学3年生
- ☆募集人数 30人

### 科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催する。

- ☆開催日時 毎月第2・第4土曜日 10時～12時
- ☆開催場所 実験工房
- ☆開催回数 7回（平成28年6月～平成29年2月）
- ☆対象 小学3年生～中学3年生
- ☆募集人数 25人×2クラス（合計50人）

### 科学情報クラブ

コンピュータを使用し総合的に学習する。色々なソフトウェアを利用して、科学的な興味を喚起するクラブを開催する。

- ☆開催日時 毎月第1・3土曜日 10時～12時
- ☆開催場所 パソコン工房
- ☆開催回数 7回（平成28年6月～平成29年2月）
- ☆対象 小学3年生～中学3年生
- ☆募集人数 16人×2クラス（合計32人）

## (8) 作品募集

### 第16回コンピュータグラフィックス展

コンピュータグラフィックス作品を子どもから大人まで広く募集し、審査を経て展示を行うことにより、発表の機会を提供するとともに、コンピュータグラフィックスの知識や技術の向上を図る。

- ☆部門 静止画部門（小学生以下の部・中学生の部・一般（高校生以上）の部）、  
動画部門
- ☆募集締切 平成28年9月30日（金）
- ☆展示期間 平成28年11月5日（土）～平成29年1月9日（月）
- ☆展示場所 展望ロビー

### ふくしま星・月の風景フォトコンテスト

福島県で撮影された星・月の風景写真を募集し、審査を経て展示を行うことにより、多くの自然が残されている福島県と星・月を関連付けて、広く県外に紹介するとともに、多くの県民に星空に目を向けてもらうことを目的とし、その普及を図る。

今年度は、これまでのコンテストの巡回展示を行うことで、広く全国への情報発信を図る。

## <「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」巡回写真展>

☆開催時期 通年

☆開催場所 県内各地のギャラリー、全国の科学館等

### 「宇宙の日記念」全国小・中学生作文絵画コンテスト

「全国小・中学生作文絵画コンテスト」のうち、絵画の部について共催し募集から審査までを実施する。また、入選作品等の展示会を開催する。

☆部 門 小学生部門、中学生部門

☆募集期間 平成28年5月～7月31日(日)

☆展示期間 平成28年9月11日(日)～25日(日)

☆展示場所 展望ロビー

※主催：文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、一般財団法人リモート・センシング技術センター、一般財団法人日本宇宙フォーラム、郡山市、郡山市教育委員会、郡山市ふれあい科学館（公益財団法人郡山市文化・学び振興公社）

## (9) 社会的弱者に配慮した事業

### プラネタリウム番組投映「キッズアワー」

季節の星座紹介と星座の神話などを組み合わせ、子どもと大人と一緒に楽しめるように、易しい解説のプラネタリウム番組を制作し生解説で投映する。（詳細は1(1)「キッズアワー」参照）

### 字幕つきプラネタリウム

プラネタリウム番組の解説内容にあわせて、要約筆記された字幕を映し出し、聴覚障がい者と健常者が共に観覧できる番組を投映する。（字幕作成協力：要約筆記「郡山要約筆記勉強会」）

☆内 容 通常のプラネタリウム番組に要約筆記した字幕を映し出す。（年2回実施）

☆定 員 各220人

## (10) 出版

### 年報の発行

年度終了後1年間の活動記録をまとめた年報を発行し、関係機関等に配布する。

### 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、スペースパークの出来事、宇宙劇場の番組紹介、科学実験案内等、様々な情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を発行し、関係機関等に配布する。

## (11) 情報発信

### プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したリーフレットを作成し配布する。

### 学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法等をまとめた冊子を作成して、市内及び県内の小中学校等に配布し、学校団体利用の促進を図る。

### ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信する。

### メールマガジン

科学館の最新ニュース・イベント案内のほか、星座の紹介などを毎月メールで配信する。

### テレビ、新聞等による情報発信

テレビ、新聞等を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知する。

## 5 調査・研究・発表

最新の宇宙や科学に関する情報を収集し、調査研究する。

全国科学博物館協議会、日本プラネタリウム協議会が主催する研究発表会等及び公益社団法人日本天文学会などが主催する学術会議に出席し、情報の収集・調査・研究を行うとともに必要に応じ発表を行う。

先進館の事業の運営方法を調査・研究し、郡山市ふれあい科学館の事業の運営方法を改善する。

## 6 その他

### (1) 運営協力

#### 郡山市少年少女発明クラブ

一般社団法人発明協会福島県支部と共催し「郡山市少年少女発明クラブ」を運営する。外部講師を招き、発明の楽しさを体験するクラブを開催する。

☆活動時期 平成28年5月～平成29年2月 毎月第3日曜日（予定）10時～12時

## 日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動を行っている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動をサポートする。

- ☆サポート 分団活動を共催し、職員を派遣  
分団活動の発表の場の提供等

## ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学を中心に県内の公設研究機関や企業と科学・博物館などが連携し、科学普及を目的とする団体「ふくしまサイエンスぷらっとフォーム」に当館も加盟して、サイエンスフェスティバルなどで協力いただくとともに、他機関のイベントに参加し科学普及を行う。

- ☆開催期間 通年

## こどもまつり

- ☆開催日 平成28年5月5日（木・祝）
- ☆開催場所 開成山公園・ミューカルがくと館
- ※主催：こどもまつり実行委員会

## (2) ボランティア活動の推進

### ボランティア活動の推進

#### <スペースパークボランティアの会会員募集>

当館の設置目的の一つである生涯学習活動の促進のため、ボランティアを広く市内外から募集し、活動の充実を図る。

#### —活動開始までの流れ—

登録前オリエンテーション ⇒ 一般研修 ⇒ 専門研修 ⇒ 活動開始

#### <スペースパークボランティアの会活動計画>

##### 「案内グループ」

- ☆継続活動内容 来館者への景色や歴史などの説明、鉄道ジオラマを含む総合案内や紙芝居
- ☆発展活動内容 ボランティアガイドコーナーの設置及び景色・歴史ガイド  
高齢者・身障者の観覧補助  
出張活動の実施

##### 「科学グループ」

- ☆継続活動内容 実験・工作教室などの指導及び説明、実験展示物使用方法案内及び説明  
サイエンスフェスティバルへの参加
- ☆発展活動内容 実験・工作教室のオリジナルメニューの充実、出張活動の実施

## 「天文グループ」

☆継続活動内容 天体観望会での案内及び望遠鏡操作補助

☆発展活動内容 観望会などの自主開催及び観望リーフレットの作成

※スペースパークボランティアの会全体で、「スペースパークボランティアまつり」を実施する。

## 「運営部会」

☆総務部 組織力の安定及び強化を目指し、役員会や各運営部会の定期開催を行う。

☆企画部 会の親睦交流及び自己研鑽を目指し研修を行う。

☆広報部 ボランティアの会活動周知のための情報発信を行う。

## (3) 博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を開催する。

☆開催期間 平成28年9月（7日間）予定

## (4) インターンシップ（就業体験）受け入れ

学校又は学生の求めに応じ、インターンシップ（就業体験）や中学生等の職場体験学習生を受け入れ、自己の職業適性や職業生活設計など職業選択について考える契機となり、就労意欲の向上に繋がるよう研修を開催する。

# V 予算・決算

## 1 平成 27 年度決算

### 収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	5,626	
指定管理料収入	304,989,720	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	26,310,840	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
受講料収入	0	
販売収入	74,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	292,023	福島大学サテライト・カフェ光熱水費
受取利息収入	0	
雑収入	603,369	雇用保険料個人負担分
合 計	332,275,578	

**収入合計 ¥332,275,578**

### 支出 事業費（科学館施設管理）

科 目	金 額	説 明
給料手当	80,240,805	1 職員費 139,934,774
福利厚生費	20,900,787	
臨時雇賃金	38,440,582	2 各種業務委託 65,310,077
旅費交通費	352,600	
通信運搬費	1,821,992	3 光熱水費 23,508,376
消耗什器備品費	0	
消耗品費	2,082,086	4 施設管理費 30,142,077
修繕費	2,143,652	
印刷製本費	1,292,760	
賃借料	7,773,334	
諸謝金	200,000	
手数料	63,120	
租税公課	13,795,583	
負担金支出	73,200	
委託費	65,310,077	
燃料費	139,096	
光熱水料費	23,508,376	
損害保険料	757,254	
食糧費	0	
合 計	258,895,304	

### 事業費（科学館主催事業）

科 目	金 額	説 明
臨時雇賃金	190,400	1 宇宙劇場運営
旅費交通費	703,650	2 展示ゾーン運営
通信運搬費	0	3 資料の収集・展示等
消耗品費	7,500,814	4 教育普及活動
印刷製本費	7,106,400	5 調査・研究・発表
賃借料	14,580,003	6 その他
諸謝金	579,100	
手数料	10,908	
租税公課	8,200	
負担金支出	24,680	
委託費	16,755,820	
広告宣伝費	3,743,042	
損害保険料	98,100	
食糧費	293,951	
合 計	51,595,068	

**支出合計 ¥310,490,372**

**収支差額 ¥21,785,206**

### 参考

使用料名	金 額	説 明
ふれあい科学館観覧料	25,163,040	宇宙劇場 67,287人 常設展示 63,361人 ワンヤ-パスポート 117人
ふれあい科学館使用料	1,147,800	ビュースコープ利用回数 4,700 回 鉄道ジオラマ運転装置利用回数 3,389 回
合 計	26,310,840	

## 2 平成 28 年度予算

### 収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	5,000	基本財産利息収入
指定管理料収入	314,698,000	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	23,701,000	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
入場料収入	5,120,000	開館 15 周年記念事業「プラレールフェスティバル」入場料収入
販売収入	235,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	253,000	福島大学サテライト・カフェ光熱水費
雑収入	662,000	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	13,830,000	
合 計	358,504,000	

**収入合計 ￥358,504,000**

### 支出 事業費（科学館施設管理）

科 目	金 額	説 明
給料手当	88,189,000	1 職員費 158,215,000
福利厚生費	23,696,000	
臨時雇賃金	46,330,000	2 各種業務委託 66,606,000
旅費交通費	612,000	
通信運搬費	1,986,000	3 光熱水費 26,725,000
消耗品費	3,490,000	
修繕費	2,216,000	4 施設管理費 33,978,000
印刷製本費	1,815,000	
賃借料	8,921,000	
諸謝金	200,000	
手数料	117,000	
租税公課	13,349,000	
負担金支出	182,000	
委託費	66,606,000	
燃料費	218,000	
光熱水料費	26,725,000	
損害保険料	852,000	
食糧費	20,000	
合 計	285,524,000	

### 事業費（科学館主催事業）

科 目	金 額	説 明
臨時雇賃金	3,383,000	1 宇宙劇場運営
旅費交通費	739,000	2 展示ゾーン運営
通信運搬費	510,000	3 資料の収集・展示等
消耗品費	9,725,000	4 教育普及活動
印刷製本費	7,754,000	5 調査・研究・発表
賃借料	17,980,000	6 その他
諸謝金	584,000	
手数料	19,000	
租税公課	21,000	
負担金支出	21,000	
委託費	26,299,000	
広告宣伝費	5,081,000	
損害保険料	356,000	
食糧費	508,000	
合 計	72,980,000	

**支出合計 ￥358,504,000**

## Ⅵ 施設利用状況

### 1 月別入館者数

平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

(単位：人)

月	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
平成27年4月	12,994	2,419	3,232	5,651
5月	16,197	3,996	4,526	8,522
6月	14,429	4,926	4,572	9,498
7月	21,676	9,750	6,428	16,178
8月	31,958	12,777	11,165	23,942
9月	18,172	7,377	4,843	12,220
10月	15,645	3,818	4,185	8,003
11月	14,211	4,183	3,289	7,472
12月	25,995	6,560	8,175	14,735
平成28年1月	17,516	4,674	6,235	10,909
2月	11,457	2,961	2,528	5,489
3月	16,344	3,846	4,183	8,029
合 計	216,594	67,287	63,361	130,648

〈参考〉

(単位：人)

年 度	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
平成 13 年度	361,887	67,640	68,698	136,338
平成 14 年度	347,141	89,952	86,734	176,686
平成 15 年度	305,314	79,136	78,487	157,623
平成 16 年度	278,734	67,620	68,413	136,033
平成 17 年度	257,694	69,388	63,546	132,934
平成 18 年度	251,195	66,122	69,059	135,181
平成 19 年度	267,202	71,209	75,619	146,828
平成 20 年度	251,876	71,607	73,131	144,738
平成 21 年度	246,237	74,607	72,371	146,978
平成 22 年度	241,634	72,704	73,194	145,898
平成 23 年度	235,383	56,689	89,070	145,759
平成 24 年度	230,669	74,525	67,179	141,704
平成 25 年度	212,469	65,424	59,366	124,790
平成 26 年度	203,763	64,244	55,076	119,320
平成 27 年度	216,594	67,287	63,361	130,648
合 計	3,907,792	1,058,154	1,063,304	2,121,458

## 2 施設別入館者数

### 宇宙劇場

(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	977	61	381	24	9	1,061	118	0	0	25	2,038	82	381	15
5月	15	474	32	720	48	13	2,802	216	0	0	28	3,276	117	720	26
6月	17	582	34	2,667	157	8	1,568	196	109	14	25	2,150	86	2,776	111
7月	20	3,208	160	2,141	107	9	4,207	467	194	22	29	7,415	256	2,335	81
8月	20	7,362	368	294	15	10	5,007	501	114	11	30	12,369	412	408	14
9月	16	1,676	105	2,600	163	11	3,101	282	0	0	27	4,777	177	2,600	96
10月	17	627	37	1,474	87	10	1,697	170	20	2	27	2,324	86	1,494	55
11月	14	704	50	823	59	11	2,413	219	243	22	25	3,117	125	1,066	43
12月	18	2,287	127	536	30	9	3,536	393	201	22	27	5,823	216	737	27
1月	12	1,426	119	154	13	11	3,094	281	0	0	23	4,520	197	154	7
2月	15	653	44	315	21	9	1,962	218	31	3	24	2,615	109	346	14
3月	19	1,523	80	50	3	9	2,204	245	69	8	28	3,727	133	119	4
合計	199	21,499	108	12,155	61	119	32,652	274	981	8	318	54,151	170	13,136	41

### 展示ゾーン

(単位：人)

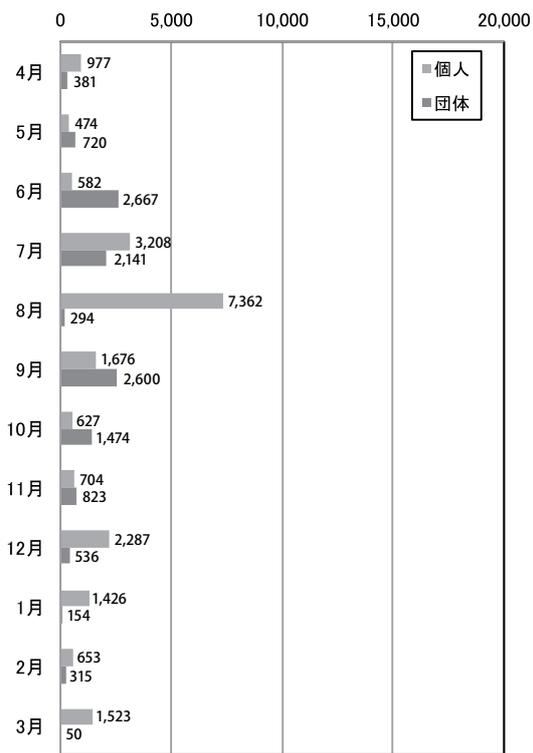
月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	1,150	72	207	13	9	1,875	208	0	0	25	3,025	121	207	8
5月	15	262	17	786	52	13	3,478	268	0	0	28	3,740	134	786	28
6月	17	917	54	1,991	117	8	1,563	195	101	13	25	2,480	99	2,092	84
7月	20	2,747	137	572	29	9	2,920	324	189	21	29	5,667	195	761	26
8月	20	6,311	316	338	17	10	4,388	439	128	13	30	10,699	357	466	16
9月	16	575	36	1,772	111	11	2,496	227	0	0	27	3,071	114	1,772	66
10月	17	493	29	444	26	10	3,228	323	20	2	27	3,721	138	464	17
11月	14	553	40	432	31	11	2,120	193	184	17	25	2,673	107	616	25
12月	18	1,296	72	97	5	9	6,740	749	42	5	27	8,036	298	139	5
1月	12	1,798	150	41	3	11	4,396	400	0	0	23	6,194	269	41	2
2月	15	642	43	133	9	9	1,727	192	26	3	24	2,369	99	159	7
3月	19	1,613	85	24	1	9	2,504	278	42	5	28	4,117	147	66	2
合計	199	18,357	92	6,837	34	119	37,435	315	732	6	318	55,792	175	7,569	24

### 合計

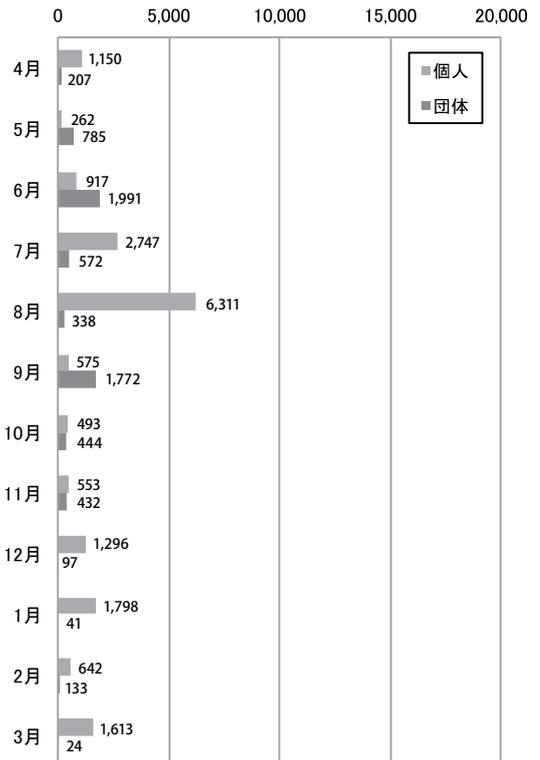
(単位：人)

月	平日					土曜・日曜・祝日					合計				
	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均	日数	個人	1日平均	団体	1日平均
4月	16	2,127	133	588	37	9	2,936	326	0	0	25	5,063	203	588	24
5月	15	736	49	1,506	100	13	6,280	483	0	0	28	7,016	251	1,506	54
6月	17	1,499	88	4,658	274	8	3,131	391	210	26	25	4,630	185	4,868	195
7月	20	5,955	298	2,713	136	9	7,127	792	383	43	29	13,082	451	3,096	107
8月	20	13,673	684	632	32	10	9,395	940	242	24	30	23,068	769	874	29
9月	16	2,251	141	4,372	273	11	5,597	509	0	0	27	7,848	291	4,372	162
10月	17	1,120	66	1,918	113	10	4,925	493	40	4	27	6,045	224	1,958	73
11月	14	1,257	90	1,255	90	11	4,533	412	427	39	25	5,790	232	1,682	67
12月	18	3,583	199	633	35	9	10,276	1,142	243	27	27	13,859	513	876	32
1月	12	3,224	269	195	16	11	7,490	681	0	0	23	10,714	466	195	8
2月	15	1,295	86	448	30	9	3,689	410	57	6	24	4,984	208	505	21
3月	19	3,136	165	74	4	9	4,708	523	111	12	28	7,844	280	185	7
合計	199	39,856	200	18,992	95	119	70,087	589	1,713	14	318	109,943	346	20,705	65

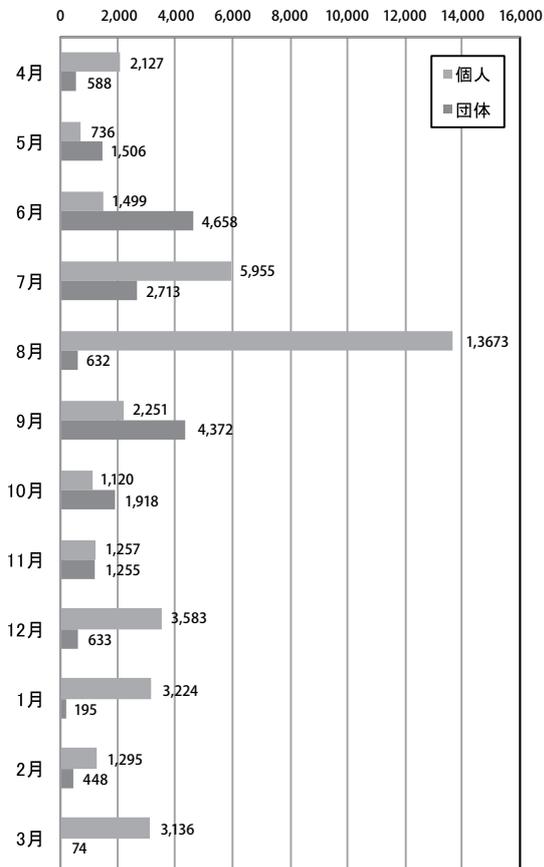
宇宙劇場平日月別入館者数

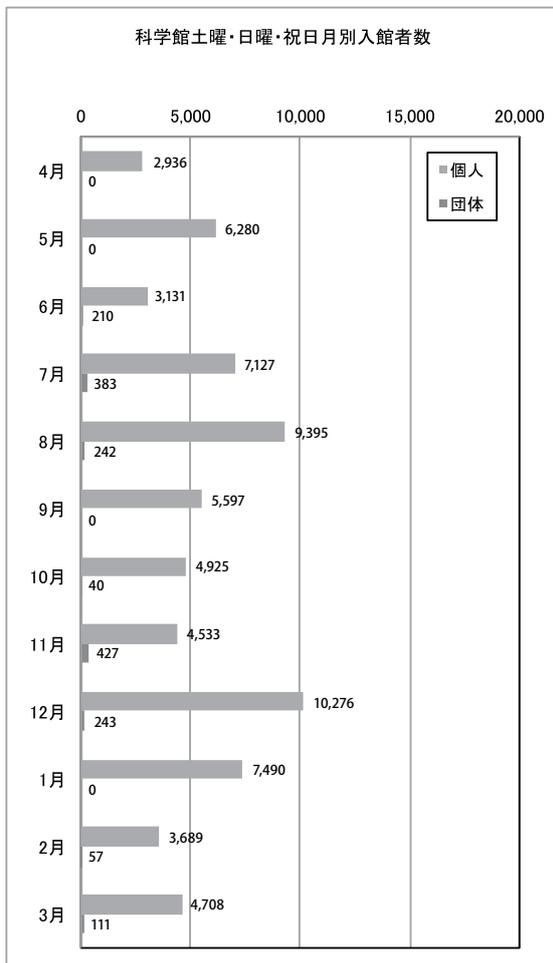
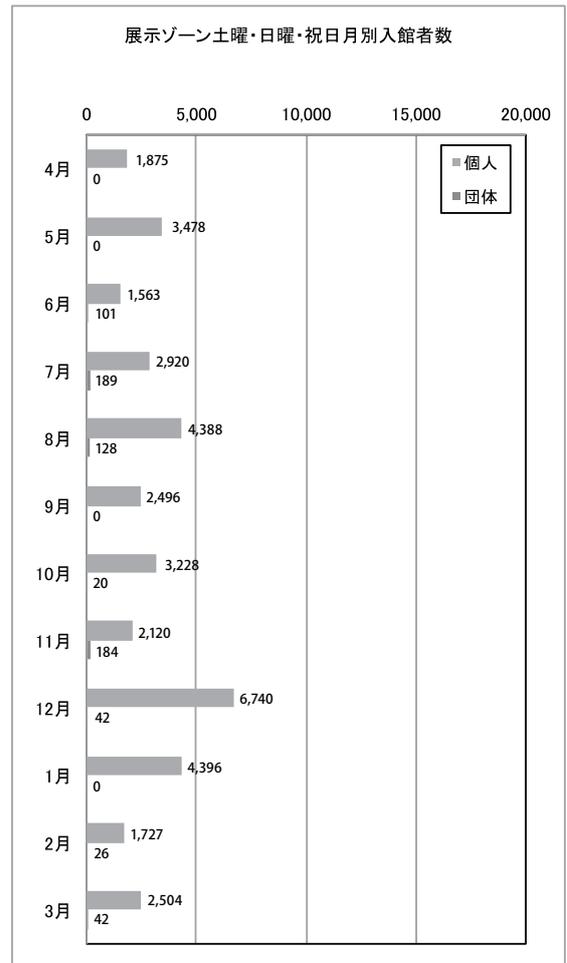
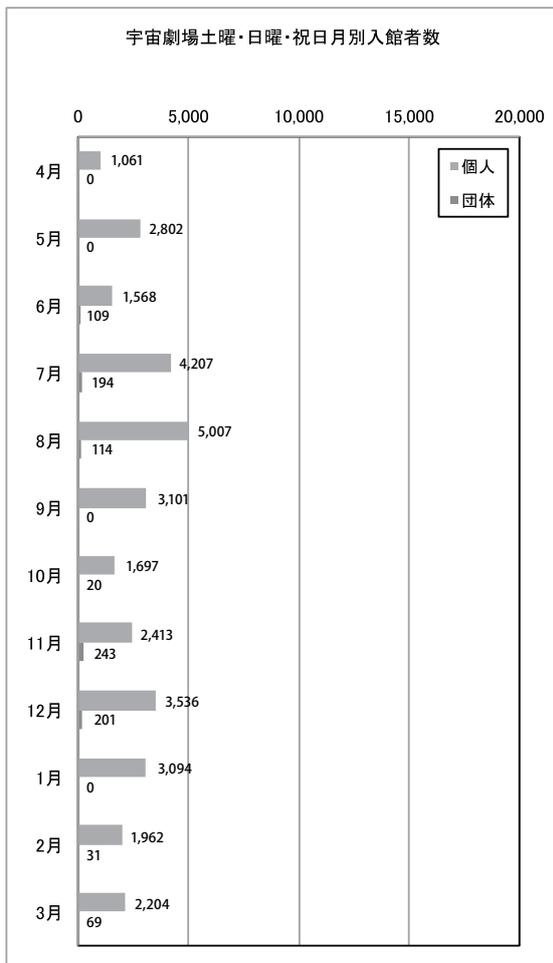


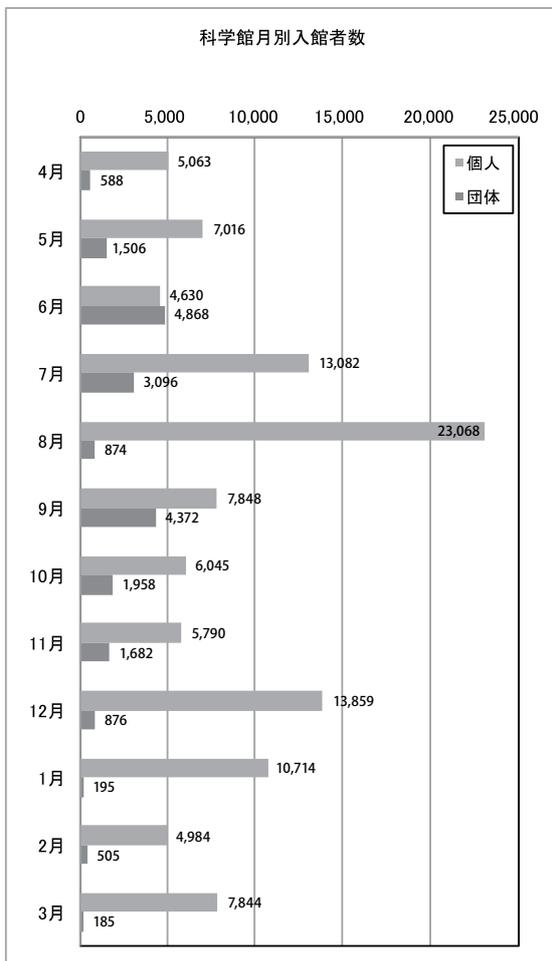
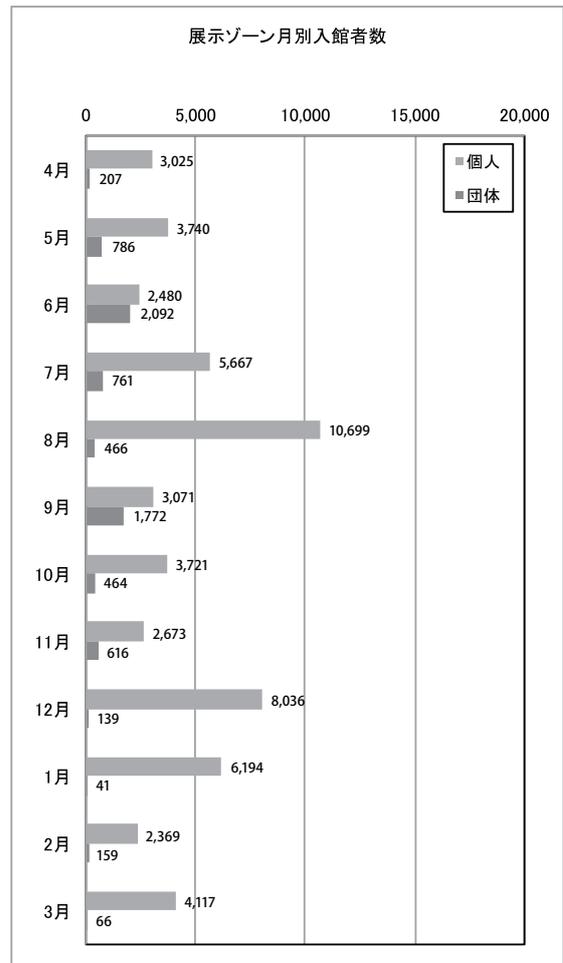
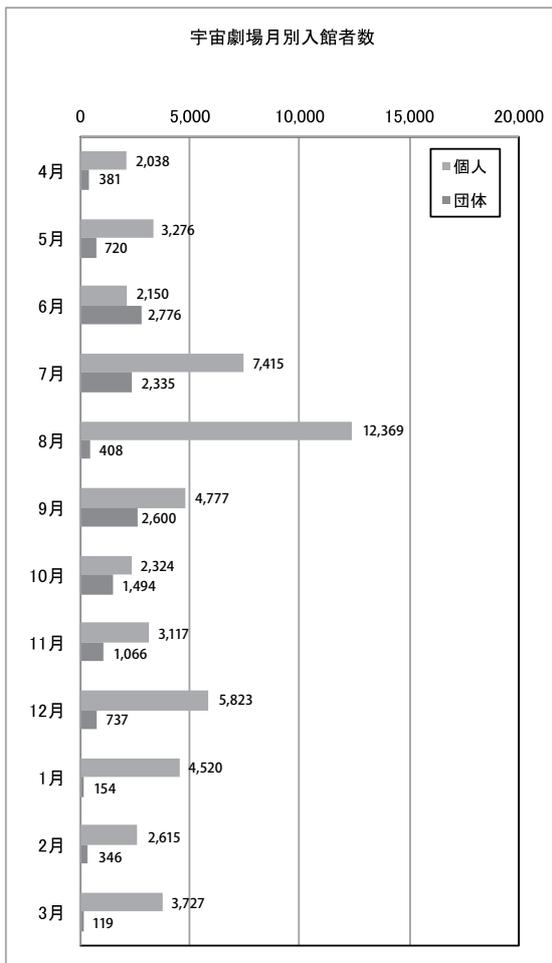
展示ゾーン平日月別入館者数



科学館平日月別入館者数







### 3 宇宙劇場区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人						計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	
4月	133	415	285	939	140	126	2,038
5月	146	704	355	1,714	168	189	3,276
6月	160	324	185	1,137	92	252	2,150
7月	669	1,920	409	3,004	448	965	7,415
8月	1,154	3,531	923	5,130	567	1,064	12,369
9月	133	546	517	2,622	274	685	4,777
10月	130	338	227	1,126	129	374	2,324
11月	207	436	275	1,527	195	477	3,117
12月	601	1,332	545	2,603	251	491	5,823
1月	409	1,092	401	2,016	223	379	4,520
2月	203	334	322	1,258	123	375	2,615
3月	268	726	564	1,602	269	298	3,727
合 計	4,213	11,698	5,008	24,678	2,879	5,675	54,151

(単位：人)

月	団 体						合 計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	計	
4月	0	251	0	42	88	381	2,419
5月	27	678	0	15	0	720	3,996
6月	831	1,692	0	252	1	2,776	4,926
7月	818	1,343	0	174	0	2,335	9,750
8月	91	255	4	58	0	408	12,777
9月	197	2,217	0	113	73	2,600	7,377
10月	174	1,185	0	65	70	1,494	3,818
11月	239	628	0	159	40	1,066	4,183
12月	199	338	0	155	45	737	6,560
1月	107	39	0	8	0	154	4,674
2月	184	92	0	39	31	346	2,961
3月	33	49	0	37	0	119	3,846
合 計	2,900	8,767	4	1,117	348	13,136	67,287

(単位：団体)

月	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4月	0	3	0	0	3	0	6
5月	0	11	0	0	0	0	11
6月	16	19	0	2	0	0	37
7月	26	11	0	0	0	0	37
8月	3	2	0	0	0	3	8
9月	5	10	0	0	1	0	16
10月	4	13	0	0	1	1	19
11月	6	4	0	1	0	3	14
12月	5	5	0	0	0	5	15
1月	1	1	0	0	0	0	2
2月	5	1	0	0	1	1	8
3月	1	1	0	0	0	2	4
合 計	72	81	0	3	6	15	177

#### 4 展示ゾーン区分別入館者数

(単位：人)

月	個 人				計
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	
4月	967	97	1,093	868	3,025
5月	1,247	94	1,585	814	3,740
6月	600	84	783	1,013	2,480
7月	1,800	118	1,922	1,827	5,667
8月	3,508	232	4,058	2,901	10,699
9月	789	202	1,202	878	3,071
10月	868	84	1,438	1,331	3,721
11月	560	68	1,054	991	2,673
12月	2,303	275	3,378	2,080	8,036
1月	1,685	186	2,628	1,695	6,194
2月	497	109	907	856	2,369
3月	1,236	212	1,416	1,253	4,117
合 計	16,060	1,761	21,464	16,507	55,792

(単位：人)

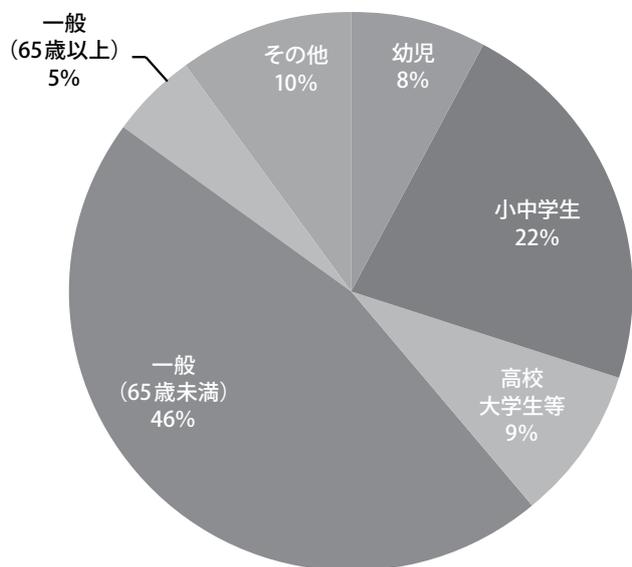
月	団 体			計	合 計
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)		
4月	207	0	0	207	3,232
5月	763	0	23	786	4,526
6月	1,913	0	179	2,092	4,572
7月	666	0	95	761	6,428
8月	388	4	74	466	11,165
9月	1,693	1	78	1,772	4,843
10月	433	0	31	464	4,185
11月	506	1	109	616	3,289
12月	86	0	53	139	8,175
1月	39	0	2	41	6,235
2月	133	0	26	159	2,528
3月	39	0	27	66	4,183
合 計	6,866	6	697	7,569	63,361

(単位：団体)

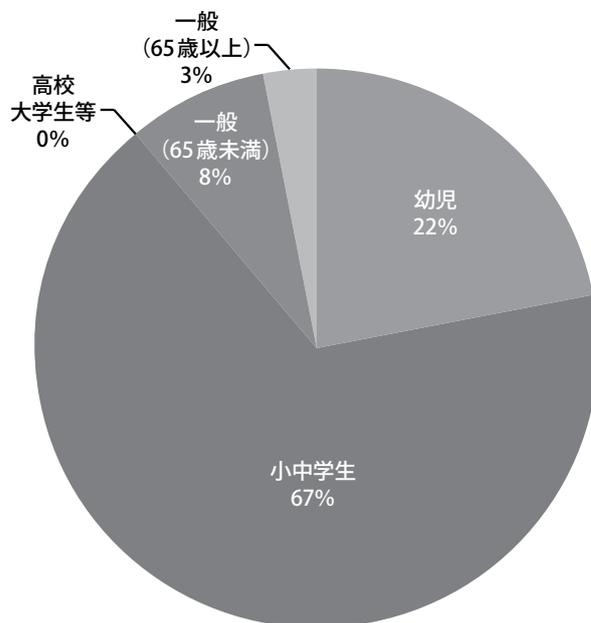
月	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	2	0	0	0	2
5月	11	0	0	0	11
6月	25	0	1	1	27
7月	11	0	0	4	15
8月	2	0	0	6	8
9月	19	0	0	0	19
10月	10	0	1	1	12
11月	5	0	0	3	8
12月	4	0	1	0	5
1月	1	0	0	0	1
2月	2	0	0	1	3
3月	0	0	1	1	2
合 計	92	0	4	17	113

## 宇宙劇場入館者の区分別割合

### 個人入館者の区分別割合

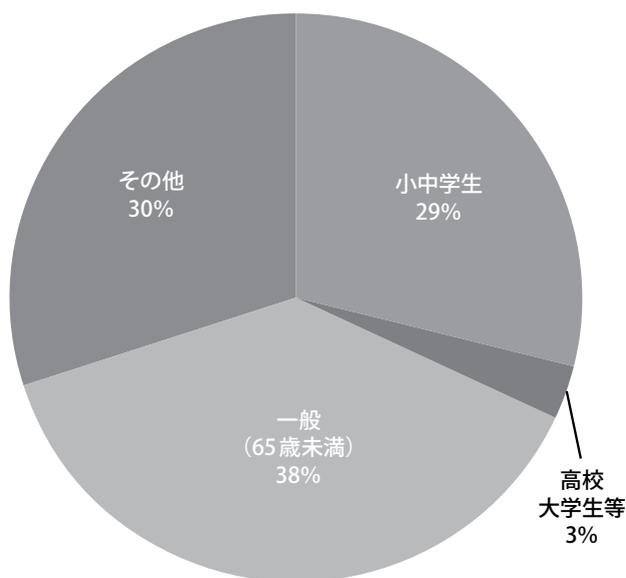


### 団体入館者の区分別割合

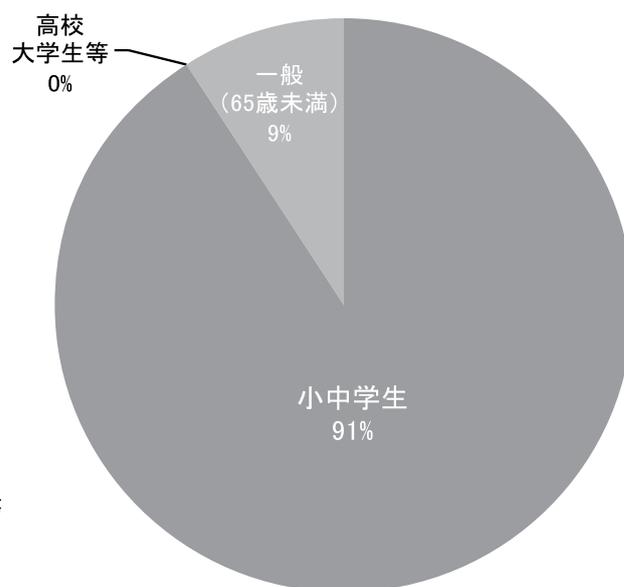


## 展示ゾーン入館者の区分別割合

### 個人入館者の区分別割合



### 団体入館者の区分別割合



## 5 平成 22 年度から平成 26 年度までの入館者数の変遷

平成 22 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 22 年 4 月	16,106	3,377	4,452	7,829
5 月	19,254	4,098	5,795	9,893
6 月	17,565	7,061	6,477	13,538
7 月	30,755	12,245	9,373	21,618
8 月	41,499	15,292	13,522	28,814
9 月	18,094	6,238	6,231	12,469
10 月	19,998	4,979	7,332	12,311
11 月	15,404	3,331	3,682	7,013
12 月	25,824	6,924	6,432	13,356
平成 23 年 1 月	19,052	4,832	6,034	10,866
2 月	13,609	3,573	3,148	6,721
3 月	4,474	754	716	1,470
合 計	241,634	72,704	73,194	145,898

平成 23 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 23 年 4 月	1,686	349	587	936
5 月	15,203	3,222	4,299	7,521
6 月	13,192	3,644	3,805	7,449
7 月	35,496	13,130	10,809	23,939
8 月	29,937	10,011	12,260	22,271
9 月	17,240	6,083	6,217	12,300
10 月	25,411	6,095	17,730	23,825
11 月	11,769	4,436	4,445	8,881
12 月	21,017	5,563	10,291	15,854
平成 24 年 1 月	19,714	4,156	11,978	16,134
2 月	16,388	0	2,250	2,250
3 月	28,330	0	4,399	4,399
合 計	235,383	56,689	89,070	145,759

## 平成 24 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 24 年4月	15,475	1,645	4,069	5,714
5月	22,466	8,385	6,692	15,077
6月	16,866	6,832	6,236	13,068
7月	24,323	10,741	7,283	18,024
8月	33,552	14,923	10,441	25,364
9月	17,459	6,706	6,365	13,071
10月	15,856	4,211	4,551	8,762
11月	13,724	3,558	3,350	6,908
12月	22,325	4,612	5,513	10,125
平成 25 年1月	16,220	4,361	4,866	9,227
2月	12,760	3,547	2,651	6,198
3月	19,643	5,004	5,162	10,166
合 計	230,669	74,525	67,179	141,704

## 平成 25 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 25 年4月	14,169	2,806	3,783	6,589
5月	15,976	4,097	4,348	8,445
6月	17,348	6,692	6,071	12,763
7月	22,669	9,367	7,994	17,361
8月	32,210	12,585	10,073	22,658
9月	16,831	5,747	5,066	10,813
10月	15,000	4,390	4,230	8,620
11月	13,862	3,576	2,916	6,492
12月	22,285	5,354	4,573	9,927
平成 26 年1月	15,092	4,091	4,063	8,154
2月	9,099	2,343	1,523	3,866
3月	17,928	4,376	4,726	9,102
合 計	212,469	65,424	59,366	124,790

## 平成 26 年度

(単位：人)

月	展望ロビー	宇宙劇場	展示ゾーン	科学館入館者数
平成 26 年 4 月	13,033	2,533	3,391	5,924
5 月	15,592	4,135	4,798	8,933
6 月	14,005	4,886	4,609	9,495
7 月	24,181	10,896	7,882	18,778
8 月	34,895	15,013	10,784	25,797
9 月	16,669	5,895	4,515	10,410
10 月	15,439	4,605	4,121	8,726
11 月	14,579	3,757	3,457	7,214
12 月	16,690	3,847	2,683	6,530
平成 27 年 1 月	11,129	2,549	2,428	4,977
2 月	10,083	2,252	1,931	4,183
3 月	17,468	3,876	4,477	8,353
合 計	203,763	64,244	55,076	119,320

## 6 平成 27 年度施設利用状況の結果分析

### (1) 月別入館者

☆有料ゾーン入館者数

○平成 27 年度：130,648 人（前年度：119,320 人）

○前年度比：9.5%増（11,328 人増）

☆展望ロビー入館者数

○平成 27 年度：216,594 人（前年度：203,763 人）

○前年度比：約 6.3%増（12,831 人増）

☆月別平均入館者数

○有料ゾーン：10,887 人（前年度：9,943 人）

○展望ロビー：18,050 人（前年度：16,980 人）

○展望ロビーから有料ゾーンへの入館率：約 60.3%（前年度比：1.7% ※前年度：約 58.6%）

☆有料ゾーン月別入館者割合

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4.3%	6.5%	7.3%	12.4%	18.3%	9.4%	6.1%	5.7%	11.3%	8.4%	4.2%	6.1%

☆有料ゾーン月別入館者前年度比

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
95.4%	95.4%	100.0%	86.2%	92.8%	117.4%	91.7%	103.6%	225.7%	219.2%	131.2%	96.1%

### (2) 施設別（宇宙劇場／展示ゾーン）入館者

☆宇宙劇場入館者数（前年度：64,244 人）

○平成 27 年度：67,287 人 ○前年度比：約 4.7%増

☆展示ゾーン入館者数（前年度：55,076 人）

○平成 27 年度：63,361 人 ○前年度比：約 15%増

### (3) 来館形態別（個人／団体）入館者

☆個人利用者数（前年度：93,111 人）

○平成 27 年度：109,943 人 ○前年度比：約 18%増

☆団体利用者数（前年度：26,209 人）

○平成 27 年度：20,705 人 ○前年度比：約 21%減

☆来館形態比

○個人：約 84.2%（前年度：約 78.1%） ○団体：約 15.8%（前年度：約 21.9%）

☆利用傾向（平日／土・日・祝）

○平日：約 45%（前年度：約 48.3%） ○土・日・祝：約 55%（前年度：約 51.7%）

### (4) 区分別（幼児／小・中学生／高校・大学生／一般）入館者

☆宇宙劇場区分別入館者数（割合 ※総数：67,287 人）

- 幼児：7,113人（約10.6%） 内訳＝個人：4,213人 団体：2,900人
- 小・中学生：20,465人（約30.4%） 内訳＝個人：11,698人 団体：8,767人
- 高校・大学生：5,012人（約7.5%） 内訳＝個人：5,008人 団体：4人
- 一般（65歳未満）：25,795人（約38.3%） 内訳＝個人：24,678人 団体：1,117人
- 一般（65歳以上）：3,227人（約4.7%） 内訳＝個人：2,879人 団体：348人
- その他（障がい者など）：5,675人（約8.4%）

☆展示ゾーン区分別入館者数（割合 ※総数：63,361人）

- 小・中学生：22,926人（約36.2%） 内訳＝個人：16,060人 団体：6,866人
- 高校・大学生：1,767人（約2.8%） 内訳＝個人：1,761人 団体：6人
- 一般（65歳未満）：22,161人（約35.0%） 内訳＝個人：21,464人 団体：697人
- その他（幼児、障がい者など）：16,507人（約26%）

有料ゾーン（宇宙劇場、展示ゾーン）の入館者を区分別に見た場合、例年どおり、個人利用では「一般（65歳未満）」、団体利用では「小・中学生」の利用が最も多い結果となりました。

宇宙劇場と展示ゾーンの個人と団体を含めた全体では、「一般（65歳未満）」が最も多く約36.7%、次いで「小・中学生」約33.2%と、例年とは異なり「一般（65歳未満）」が多い結果となりました。

これは、『スペースパーク企画展「錯覚美術館」』の入館状況が好調で展示ゾーンの入館者数が前年比約15%増となったことによるものです。

## (5) 総括

施設利用状況は、平成26年度に比べ入館者合計が130,648人で9.5%増加、宇宙劇場及び展示ゾーンの施設利用料金収入額合計が25,163,040円で9.8%の増加、展望ロビーにおける施設利用料金が1,147,800円で前年度と比べほぼ同額となりました。

また、25・26年度と2年連続して入館者の総数が前年度を下回っていましたが、平成27年度は、前年度を上回りました。内訳を見ると、特に展示ゾーンの入館者数の増加が大きく、増加分のおよそ7割を占めました。

これは、12月5日から1月11日の期間に開催した「スペースパーク企画展『錯覚美術館』」が大変人気で13,159人も入館者があり、平成26年度に開催したスペースパーク企画展の入館者4,078人を大きく上回ったことによるものです。

現在、展示物の更新が思うように進まず、今後も早急な展示更新の実現が望むべくもなく、入館者数が伸び悩んでいる現状であります。今回のような市民の方の興味関心を引くことができる企画展を実施できたことで総入館者数の増加に繋げることができました。

今後とも、掲示物の工夫による情報の更新や、サイエンスショーを始めとした事業の充実で、少しでも館内の新鮮味や魅力を増進できるように努力を重ね、併せて、今回のように多くの市民の皆様楽しんでいただける企画展を開催することで、さらに当館の認知度を高め集客に努めたいと考えます。

## Ⅶ その他

### 1 条例・規則

#### (1) 条例

##### ○郡山市ふれあい科学館条例

平成 13 年 3 月 23 日

郡山市条例第 33 号

##### (設置)

第 1 条 地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号。以下「法」という。)第 244 条第 1 項の規定に基づき、市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与するため、郡山市ふれあい科学館(以下「科学館」という。)を設置する。

##### (名称及び位置)

第 2 条 科学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市ふれあい科学館	郡山市駅前二丁目 11 番 1 号

##### (管理)

第 3 条 科学館は、郡山市教育委員会(以下「教育委員会」という。)がこれを管理する。

##### (事業)

第 4 条 科学館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 科学技術に関する資料及び装置を展示し、並びに利用に供すること。
- (2) プラネタリウムその他の投影装置による天体運行等の投影を行うこと。
- (3) 科学技術及び天文等に関する講習会、講演会等を開催すること。
- (4) 科学技術に関する調査研究を行い、及び科学情報等を提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、設置の目的を達成するために必要な事業

##### (開館時間)

第 5 条 科学館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時 45 分(入館は、午後 5 時)までとする。ただし、科学館の展望ロビーの開館時間は、午前 10 時から午後 8 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、同項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

##### (休館日)

第 6 条 科学館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、展望ロビーは、教育委員会が特に支障がないと認めるときは、科学館の休館日に入館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日にあたるときは、その翌日とする。)
  - (2) 1 月 1 日から 1 月 4 日まで及び 12 月 28 日から 12 月 31 日までの日
- 2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が必要と認めたときは、同項に規定する休館日を臨時に変更し、又は臨時に設けることができる。

### (観覧料等)

第7条 科学館の常設展示室又は宇宙劇場に入場し、展示物又は天体運行等の映像を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納入しなければならない。

2 科学館の附属設備等を使用しようとする者は、別表第2に定める使用料を納入しなければならない。

### (観覧料の免除)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として観覧するとき。
- (2) その他市長が特に観覧料を免除する必要があると認めるとき。

### (観覧料等の不返還)

第9条 既納の観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は使用をしようとする者の責めによらない理由により観覧又は使用ができなくなったとき。
- (2) その他教育委員会が特別の理由があると認めるとき。

### (利用の制限)

第10条 教育委員会(第12条の規定により指定管理者(法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に管理を行わせる場合にあっては、指定管理者)は、科学館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 科学館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失したとき又はこれらのおそれがあるとき。
- (3) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき又はそのおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、管理運営上適当でない行為をしたとき又はそのおそれがあるとき。

### (入館者の賠償責任)

第11条 科学館に入館した者は施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し、又は免除することができる。

### (管理の代行)

第12条 教育委員会は、科学館の管理について、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第4条に規定する事業の実施に関する業務
- (2) 第10条に規定する利用の制限に関する業務
- (3) 第19条に規定する利用料金に関する業務
- (4) 施設、設備、資料等の維持管理に関する業務

### (指定管理者の募集の公告等)

第13条 教育委員会は、前条の規定により指定管理者に科学館の管理を行わせようとするときは、あらかじめ規則で定める事項を公告するものとする。ただし、指名する法人その他の団体又は指名する複数の団体のうちから選定したものを指定管理者として指定しようとする場合は、この限りでない。

#### (指定管理者の申請)

第14条 指定管理者の指定を受けようとする団体は、規則で定めるところにより、申請書に科学館の管理の実施に関する計画書(以下「事業計画書」という。)等を添付して教育委員会に申請しなければならない。

2 指定管理者の指定を受けることができる団体は、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する団体とする。ただし、法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、前条の規定による公告又は指名の日において、当該取消しの日の翌日から起算して2年を経過していなければならない。

- (1) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (2) 会社更生法(平成14年法律第154号)、民事再生法(平成11年法律第225号)等による更生手続又は再生手続を行っていないこと。
- (3) 郡山市税を滞納していないこと。
- (4) その他規則で定める要件

#### (指定管理者の選定)

第15条 教育委員会は、前条第1項の規定による申請があつたときは、事業計画書等の内容を次に掲げる基準により審査し、科学館の管理を行うことについて適当と認める団体を、指定管理者の候補となる団体に選定するものとする。

- (1) 科学館における市民の平等な利用を確保できるものであること。
- (2) 科学館の効用を最大限に発揮できるものであること。
- (3) 科学館の管理に係る経費の節減を図ることができるものであること。
- (4) 科学館の管理を安定して行うために必要な人的能力、物的能力その他の経営上の基盤を有していること。
- (5) 申請した団体が科学館の管理に伴い作成し、又は取得した個人情報の保護のための適切な措置を講じることができるものであること。
- (6) その他教育委員会が科学館の設置の目的を効果的に達成するために必要があると認めて定める基準

2 教育委員会は、前項の規定により選定をしたときは、速やかにその結果を前条第1項の規定により申請した団体に通知しなければならない。

#### (指定管理者の指定)

第16条 教育委員会は、前条第1項の規定により選定した指定管理者の候補となる団体について、議会の議決を経たときは、当該団体を指定管理者に指定するものとする。

2 教育委員会は、前項の規定により指定管理者を指定する場合において、科学館の管理運営上必要な条件を付することができる。

#### (協定の締結)

第17条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間の開始前に、科学館の管理に関し、規則で定める事項について教育委員会と協定を締結しなければならない。

**(事業報告書の提出)**

第18条 法第244条の2第7項の規定による事業報告書の提出は、毎年度終了後60日(同条第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあつては、その取り消された日の翌日から起算して60日)以内にしなければならない。

**(利用料金)**

第19条 観覧又は使用をしようとする者は、指定管理者に対し、科学館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納入しなければならない。この場合において、第7条の規定は適用しない。

- 2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。
- 3 利用料金の額は、観覧料等の額の範囲内において、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得てそれぞれ定める。
- 4 指定管理者は、前項の規定により観覧料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第8条の規定、郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成11年郡山市条例第24号)の規定及びこれらの規定に基づく規則の規定並びに第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の免除及び返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料」又は「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」又は「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。
- 5 指定管理者は、第3項の規定により使用料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。
- 6 指定管理者は、第3項の規定により利用料金の額を定めたときは、利用料金を当該指定管理者の収入として収受する旨及びその額又は算出方法等について科学館に入館する者の見やすい方法により公表しなければならない。

**(指定等の公告)**

第20条 教育委員会は、次に掲げるときは、その旨を公告しなければならない。

- (1) 第16条第1項の規定により指定管理者を指定したとき。
- (2) 前条第3項の規定により利用料金の額を承認したとき。
- (3) 法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。
- (4) 前3号の規定により公告した事項に変更があつたとき。

**(開館時間等の変更)**

第21条 指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、第5条に規定する開館時間を臨時に変更し、又は第6条に規定する休館日を臨時に変更し、若しくは臨時に設けることができる。

**(事業計画書等の内容の変更等)**

第 22 条 指定管理者は、第 14 条第 1 項の規定により提出した事業計画書その他規則で定める書類の内容について変更しようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。ただし、規則で定める軽微な事項を変更しようとするときは、この限りでない。

2 指定管理者は、前項ただし書に規定する軽微な事項を変更したときは、教育委員会にその旨を届け出なければならない。

**(秘密保持義務)**

第 23 条 指定管理者による管理の業務に従事している者又は従事していた者は、科学館の管理の業務に関して知り得た秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

**(指定管理者の原状回復義務)**

第 24 条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間が満了したとき又は法第 244 条の 2 第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、直ちに施設、設備、資料等を原状に回復し、教育委員会に引き渡さなければならない。ただし、教育委員会の承認を得たときは、この限りでない。

**(指定管理者の賠償責任)**

第 25 条 指定管理者は、施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、教育委員会が相当の理由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

**(委任)**

第 26 条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

**附 則**

**(施行期日)**

1 この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成 13 年 6 月 1 日教委規則第 11 号で平成 13 年 10 月 1 日から施行)

(郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例の一部改正)

2 郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成 11 年郡山市条例第 24 号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

附 則(平成 15 年郡山市条例第 26 号)

この条例は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年郡山市条例第 68 号)

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例の施行の際現に改正前の第 10 条の規定により委託している郡山市ふれあい科学館の管理及び運営は、改正後の第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間が開始する日までの間は、なお従前の例による。

\* 別表以下省略

## (2) 規則

### ○郡山市ふれあい科学館条例施行規則

平成 13 年 6 月 1 日

郡山市教育委員会規則第 12 号

#### (趣旨)

第 1 条 この規則は、郡山市ふれあい科学館条例（平成 13 年郡山市条例第 33 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

#### (観覧券の交付)

第 2 条 郡山市教育委員会（以下「教育委員会」という。条例第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間中にある場合は、指定管理者）は、条例第 7 条第 1 項の規定により観覧料（指定管理者の指定の期間中にある場合は、条例第 19 条第 1 項に規定する利用料金）を納入した者に対して郡山市ふれあい科学館観覧券（第 1 号様式）を交付する。

#### (観覧料の免除)

第 3 条 条例第 8 条の規定により免除することができる観覧料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 8 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料の全額
- (2) 条例第 8 条第 2 号に規定する場合 教育委員会が認める額

2 前項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市ふれあい科学館観覧料免除申請書（第 2 号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

#### (観覧料等の返還)

第 4 条 条例第 9 条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 9 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料等の全額
- (2) 条例第 9 条第 2 号に規定する場合 教育委員会が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市ふれあい科学館観覧料等返還請求書（第 3 号様式）を、教育委員会に提出しなければならない。

#### (遵守事項)

第 5 条 郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という。）において、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 他に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
- (3) 風紀及び秩序を乱さないこと。
- (4) その他職員の指示に従うこと。

#### (募集時の公告事項等)

第 6 条 条例第 13 条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 名称、所在地、構造、規模等の科学館の概要

- (2) 指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の期間
- (4) 利用料金に関する事項
- (5) 指定管理者の指定を受けることができる団体の資格
- (6) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (7) 次条第1項に規定する申請書等に関する事項
- (8) 指定管理者の申請を受け付ける期間
- (9) 指定管理者の選定の基準及び方法
- (10) その他教育委員会が必要と認める事項

2 条例第13条の規定による公告は、郡山市公告式条例（昭和40年郡山市条例第2号）第2条第2項の掲示場に掲示することにより行うものとする。

（申請書等）

第7条 条例第14条第1項の規定による申請は、指定申請書（第4号様式）に次に掲げる書類を添付して行うものとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書
- (2) 科学館の管理の業務に関する収支予算書
- (3) 定款、寄附行為又はこれらに準じる規約を記載した書類
- (4) 法人にあっては、登記事項証明書
- (5) 法人でない団体にあっては、役員の名及び住所を記載した書類
- (6) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の団体の財務の状況を明らかにすることができる書類
- (7) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における団体の事業の内容を明らかにすることができる書類
- (8) 納税証明書等郡山市税に係る団体の納税状況を証する書類その他これらに準じる書類
- (9) その他教育委員会が必要と認める書類

2 条例第14条第2項第4号の規則で定める要件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 申請した団体の取締役、執行役その他これらに準ずべき者のうちに次のいずれかに該当する者がいないこと。
  - ア 破産者で復権を得ないもの
  - イ 指定管理者の指定を取り消された団体において、当該取消しの日前30日以内にその取締役、執行役その他これらに準ずべき者であった者で、条例第13条の規定による公告又は指名の日（以下「公告等の日」という。）において、当該取消しの日から起算して2年を経過しないもの
  - ウ 禁錮以上の刑に処された者で、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して、公告等の日において2年を経過しないもの
  - エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員
- (2) 本市の議会の議員又は市長が取締役、執行役その他これらに準ずべき者を務める

団体（市長にあっては、市が資本金、基本金その他これらに準ずるものの2分の1以上を出資し、又は出せんしている法人を除く。）でないこと。

(3) 教育委員会が必要と認める資格を有する者を配置できること。

**（選定通知）**

第8条 条例第15条第2項の規定による通知は、選定結果通知書（第5号様式）によるものとする。

**（指定通知）**

第9条 条例第16条第1項の規定により指定をするときは、指定通知書（第6号様式）により申請した団体に通知するものとする。

**（協定締結事項）**

第10条 条例第17条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書に記載された事項
- (2) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (3) 科学館の管理に伴い取得し、又は作成した個人情報の保護及び情報の公開に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 利用料金に関する事項
- (6) 指定管理者の指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (7) その他教育委員会が必要と認める事項

**（事業計画書等の変更）**

第11条 条例第22条第1項ただし書の規則で定める軽微な事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定管理者の本店、支店、事務所等の所在地の変更
- (2) 指定管理者の取締役、執行役その他これらに準ずべき者の変更
- (3) その他教育委員会が軽微であると認める事項

**（委任）**

第12条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

**附 則**

この規則は、平成13年10月1日から施行する。

**附 則（平成15年教委規則第11号）**

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

**附 則（平成17年教委規則第9号）**

この規則は、公布の日から施行する。

\* 各種様式省略

## 2 利用案内

### < 普通観覧料 >

区 分	常設展示	宇宙劇場
一 般	400 円	400 円
高校生・大学生等	300 円	300 円
小中学生	200 円	200 円
幼児・65 歳以上	無料	100 円

※宇宙劇場の幼児…座席を使用しない場合は無料  
※団体割引…20 名以上の団体は 20% OFF

### < 定期観覧料 (ワンイヤーパスポート) >

区 分	常設展示・宇宙劇場共用 (同一人が1年間観覧する場合)
一 般	4,000 円
高校生・大学生等	3,000 円
小中学生	2,000 円

### < 宇宙劇場番組開始時間 >

投映回数	平 日	土・日・祝日
1 回目	10 : 15	11 : 00
2 回目	11 : 30	12 : 30
3 回目	14 : 00	14 : 00
4 回目	15 : 30	15 : 30
5 回目		17 : 00
6 回目	19 : 00 ※金曜日のみ (祝日を除く)	

※番組開始時間は変更になる場合があります。

### < 開館時間 >

常設展示 … 10 : 00 ~ 17 : 45 (入場は 17 : 00 まで)

宇宙劇場 … 10 : 00 ~ 17 : 45 (入場は 17 : 00 まで)

※金曜日は 10 : 00 ~ 19 : 45 (入場は 19 : 00 まで)

### < 休館日 >

毎週月曜日 (その日が祝日の場合は、その翌日)、年末年始 (12/28 ~ 1/4)

※機器点検等により臨時に休館となる場合有

### < 展望ロビー >

10 : 00 ~ 20 : 00

### 3 スペースパークボランティアの会会則

#### スペースパークボランティアの会会則

##### (名称・事務所)

第1条 本会は「スペースパークボランティアの会（略称 S.P.V という）」と称し、事務所を郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という）内に置く。

##### (目的)

第2条 本会は「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する。」という科学館の設置目的に基づき、科学館の協力者として、また生涯学習者として、自主性をもって活動することにより、会員の資質向上と会員相互の交流を図ることを目的とする。

##### (活動・種別)

第3条 会員は本会の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 施設案内や展示の解説・来館者の観覧支援
- (2) 本会及び科学館主催事業の支援
- (3) 会員の研鑽及び親睦を図る活動
- (4) その他必要な活動

2 活動は科学館と協議の上、実施する。

3 活動項目は、随時拡充していくものとする。

4 活動内容により、次の活動グループを置く。

- (1) 案内グループ
- (2) 科学グループ
- (3) 天文グループ

##### (会員)

第4条 本会の会員は、スペースパークボランティアの会の登録者をもって構成する。

2 会員に会長名で登録証を発行する。

3 会員の資格は、1年とする。ただし、登録の更新は妨げない。

##### (研修)

第5条 会員は、活動に必要な所定の研修を受講しなければならない。

- (1) 一般研修 活動を適正かつ円滑に行うための基本研修
- (2) 専門研修 活動に必要な専門知識を習得するための研修
- (3) その他会員の資質向上を図るための研修

##### (役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名

(3) 運営委員 若干名

- 2 運営委員は、自薦および会員の推薦で選出する。
- 3 スペースパークボランティアの会会則
- 4 会長及び副会長は、運営委員の互選により選出し、総会の承認を得る。
- 5 役員は本会の運営や活動に関し必要な事において、科学館職員の助言を得ることができる。
- 6 役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

(職務)

第7条 会長は本会を代表し、会務を統括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときはその職務を代行する。
- 3 役員は会議に出席し、会務の重要事項の審議とその執行にあたる。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会および役員会とし、会長が召集する。

- (1) 総会は原則として年1回開催し、活動報告・計画立案、役員を選出などを協議する。
  - (2) 役員会は、必要に応じ開催することができる。
  - (3) 総会は、過半数の出席（委任状を含む）により成立する。
- 2 本会に次の部会を置く。

- (1) 総務部会
- (2) 企画部会
- (3) 広報部会

(登録資格の失効)

第9条 会員が次に該当した場合は、登録資格を失う。

- (1) 退会届の提出をした場合
- (2) 特別の理由がなく、6ヶ月以上定められた活動を行わない場合
- (3) 心身の健康上の理由から活動の継続が不可能である場合
- (4) 来館者等への接遇が適切でなく、トラブルを起こした場合
- (5) 政治活動や宗教活動を行った場合
- (6) 本会及び科学館の名誉を傷つけたり、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合
- (7) 営利を目的とした行為を行った場合
- (8) その他、科学館の運営及びボランティア活動に不適切であると認められる場合

(年度)

第10条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

(委任)

第11条 この会則に定めるもののほかに、本会の運営や活動に関し必要な事項は、役員会の総意を得て、別に定める。

(改廃)

第12条 この会則は、総会の承認を得なければ改廃できない。

附 則

この会則は、平成 16 年 2 月 15 日から施行する。

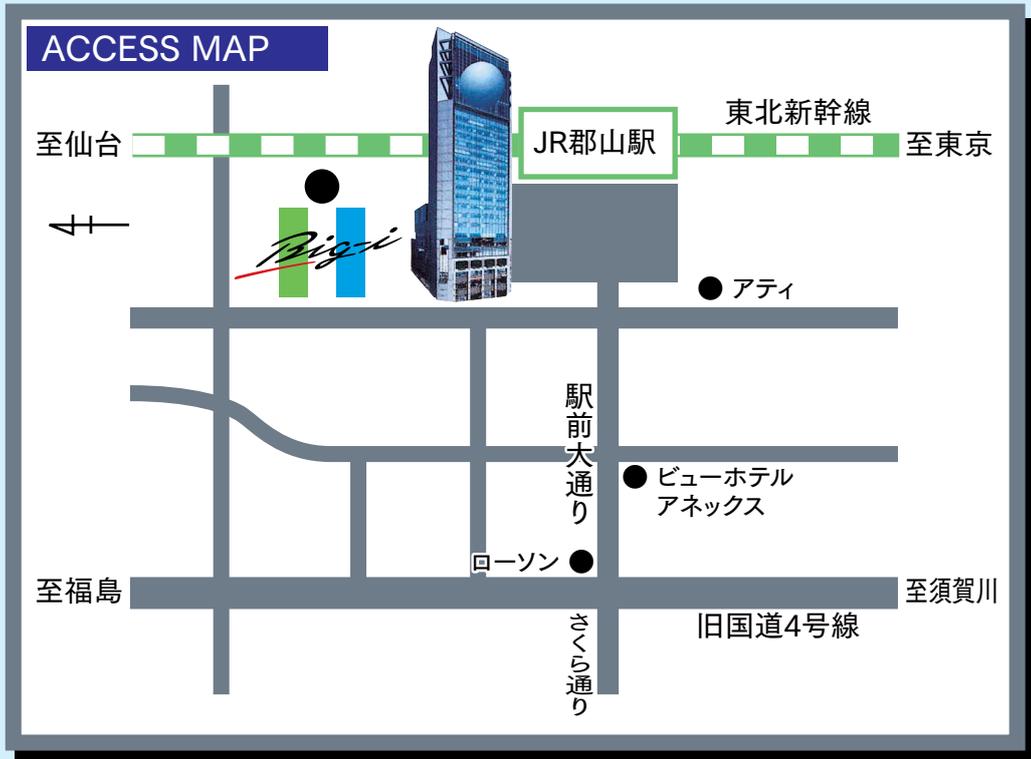
この会則は、平成 17 年 3 月 13 日から施行する。

この会則は、平成 18 年 3 月 5 日から施行する。

この会則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。



〈アクセスマップ〉



郡山市ふれあい科学館 スペースパーク

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11番1号(ビッグアイ20～24階)

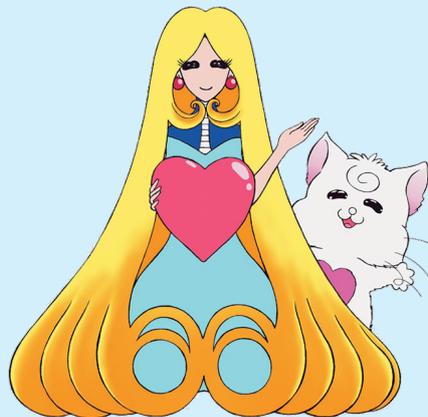
Tel 024-936-0201 Fax 024-936-0089

メールアドレス info@space-park.jp

ウェブサイト <http://www.space-park.jp>

スペースパーク

Facebook配信中!



エンゼルナ & ミーニャン

©松本零士/郡山市